Canon

Satera

LBP122 II / LBP121 II

ユーザーズガイド

USRMB-0961-00 2026-05 ja

Copyright CANON INC. 2026

もくじ

本機について 2

対応機能一覧 3

管理者 ID と管理者暗証番号 4

不正アクセス防止対策 5

各部の名称とはたらき 7

前面 8

背面 10

操作パネル 11

給紙カセット 13

使用可能な用紙 14

用紙を取り扱うときの注意事項 18

仕様 19

基本仕様 20

プリントの仕様 22

ネットワークの仕様 23

セキュリティー／管理機能の仕様 25

サポート環境 29

おすすめ機能 30

コスト削減 31

操作の効率化 32

セットアップ 34

初期設定をする - 設定ナビ 35

リモート UI/Web サービス利用の初期設定 37

ネットワークの設定 39

有線 LAN／Wi-Fi を選択する 41

有線 LAN に接続する 42

Wi-Fi に接続する 43

ルーターのボタン操作で Wi-Fi に接続する - プッシュボタン方式 45

PIN コードを入力して Wi-Fi に接続する - WPS PIN コード方式 47

ルーターを探索して Wi-Fi に接続する - アクセスポイント選択方式 49

詳細を設定して Wi-Fi に接続する - 手動入力方式 51

IPv4 アドレスを設定する 53

IPv6 アドレスを設定する 55

使用するネットワーク環境に合わせる 57

Ethernet を手動で設定する 58

DNS を設定する 59

SMB を設定する 62

WINS を設定する 63

SNMP を設定する 64

SNTP を設定する 67

ネットワークの接続状況や設定を確認する 69

パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール ... 72

基本操作 ... 74

電源を入れる／切る ... 75
電源を入れる ... 76
電源を切る ... 77
再起動する ... 78
消費電力を抑える - スリープモード ... 79
操作パネルの使用方法 ... 81
操作パネルに表示される画面 ... 82
［ホーム］画面 ... 84
［状況確認］画面 ... 85
操作パネルの操作方法 ... 87
文字を入力する ... 89
ログイン方法 ... 90
用紙のセット方法 ... 91
給紙カセットに用紙をセットする ... 92
封筒をセットする準備と向き ... 94
はがきをセットする向き ... 96
ロゴ入り用紙をセットする向き ... 98
用紙サイズと用紙種類の設定 ... 100
給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する ... 101
定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 ... 103
使用しない用紙サイズを非表示にする ... 104

プリントする ... 106

プリントの準備 ... 107
パソコンからプリントするための準備 ... 108
プリンターポートを設定する（Windows のみ） ... 109
プリントサーバーを利用するための準備 ... 112
パソコンからプリントする ... 115
パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 ... 118
プリントを中止する ... 120
プリント状況や履歴を確認する ... 122

モバイル／クラウド連携 ... 124

モバイル／クラウド連携の準備 ... 126
ダイレクト接続するための準備 ... 127
Universal Print を使用するための準備 ... 129
Microsoft Entra ID に本機を登録する ... 130
パソコンに本機を登録する ... 133
AirPrint を使用するための準備 ... 134
モバイル機器を本機に接続する ... 137
モバイル機器から Wi-Fi ルーターを介して接続する - LAN 接続 ... 138
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 ... 139

専用アプリを使用してプリントする - Canon PRINT ... 142
クラウド連携サービスを使用してプリントする ... 143
Universal Print を使用してプリントする ... 144
AirPrint を使用してプリントする ... 145
Android からプリントする ... 148
Chrome OS からプリントする ... 149

セキュリティー ... 151

管理者用の ID／暗証番号を設定する ... 152
ネットワークの保護 ... 154
ファイアウォールを設定する ... 155
ポート番号を変更する ... 158
プロキシーを使用する ... 159
TLS を使用する ... 160
IEEE 802.1X を使用する ... 162
鍵と証明書を管理／検証する ... 164
鍵と証明書を生成する ... 165
鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する ... 167
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する ... 170
受信した証明書を OCSP で検証する ... 172
不正使用の防止 ... 173
リモート UI の使用を制限する ... 174
モバイル機器からの使用を制限する ... 176
パソコンと USB 接続できないようにする ... 177
LPD/RAW/WSD を設定する ... 178
HTTP 通信を使用できないようにする ... 180

管理／設定 ... 182

日付／時刻を設定する ... 183
パソコンによる本機の管理 - リモート UI ... 184
リモート UI を起動する ... 185
リモート UI のポータル画面 ... 187
リモート UI で使用状況／履歴を確認する ... 189
使用状況の確認 ... 191
プリントページ数を確認する - カウンター確認 ... 192
レポート／リストをプリントして確認する ... 193
レポート／リストのプリント設定を変更する ... 195
Syslog プロトコルでログを送信する ... 196
ファームウェアをアップデートする ... 198
設定／データを初期化する ... 201

設定メニュー一覧 ... 205

［環境設定］ ... 206
［表示設定］ ... 207

［タイマー/電力設定］ 209
［ネットワーク］ 211
［Wi-Fi 設定］ 217
［TCP/IP 設定］ 219
［外部インターフェイス］ 226
［アクセシビリティー］ 227
［調整/メンテナンス］ 229
［画質調整］ 230
［特殊処理］ 231
［メンテナンス］ 236
［ファンクション設定］ 237
［共通］ 238
［給紙動作］ 239
［印刷動作］ 240
［プリンター］ 241
［プリンター設定］ 242
［管理設定］ 248
［ユーザー管理］ 250
［デバイス管理］ 251
［リモート UI 設定/ファームウェア更新］ 253
［リモート UI 設定］ 254
［データ管理］ 255
［セキュリティー設定］ 257
［認証/パスワード設定］ 259

メンテナンス 261

本機の清掃 263
本機の表面を清掃する 264
定着器を清掃する 265
ドラムを清掃する 266
消耗品の交換 267
トナーカートリッジの交換方法 268
消耗品の残量を確認する 273
消耗品一覧 274
画質の調整 276
プリント濃度を調整する 277
本機を移動する 278
無償保証／保守サービス 280
無償保証について 281

困ったときは 284

紙がつまった 285
給紙カセット／排紙トレイ／背面に用紙がつまった 286
紙づまりが繰り返し起こる 290

プリント結果のトラブル 291
トナーが飛び散ったような汚れが付く 293
すじ（線）が入る 294
印字ムラが出る 296
用紙の端が汚れる 298
文字や画像がにじむ 299
プリント結果に残像が現れる 301
プリント結果がかすれる 303
ページの端がプリントされない 305
下地が全体的に黒ずむ 306
部分的に白く抜ける 307
用紙のウラが汚れる 309
斜めにプリントされる 310
印刷したバーコードが読み取れない 311
用紙／給紙のトラブル 312
用紙がしわになる 313
用紙がカールする 314
用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる 315
プリントした用紙が貼り付く 316
セットアップ 317
ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない 318
Wi-Fi に接続できない 319
ネットワーク 320
Wi-Fi への切り替えができない 321
接続するプリントサーバーが見つからない 322
共有プリンターに接続できない 323
本機の IP アドレスがわからない 324
AirPrint できない 325
TLS 暗号化通信を使った接続ができない 326
プリント 327
プリントできない 328
プリントできない - Wi-Fi 329
プリントできない - 有線 LAN 331
プリントできない - USB 接続 333
プリントできない - プリントサーバー経由 334
プリント速度が遅い 335
管理／環境設定 336
リモート UI にアクセスできない 337
スリープモードになるまでの時間を変更したい 338
管理者用の ID／暗証番号がわからない 339
本機で設定できる項目と設定状況を確認したい 340
メッセージが表示された 341
エラーコードが表示された 352
トラブルが解決しないときは 355

付録 357
本機のマニュアル 358
ユーザーズガイドの使いかた 359
パソコンの操作例 362
環境情報／法規制／規格 372
おことわり 374
商標／著作権 375

本機について

本機について 2
- **対応機能一覧** 3
- **管理者 ID と管理者暗証番号** 4
- **不正アクセス防止対策** 5
- **各部の名称とはたらき** 7
  - 前面 8
  - 背面 10
  - 操作パネル 11
  - 給紙カセット 13
- **使用可能な用紙** 14
  - 用紙を取り扱うときの注意事項 18
- **仕様** 19
  - 基本仕様 20
  - プリントの仕様 22
  - ネットワークの仕様 23
  - セキュリティー／管理機能の仕様 25
  - サポート環境 29
- **おすすめ機能** 30
  - コスト削減 31
  - 操作の効率化 32

本機について

EALA-000

本機を使用する前に、対応している機能、各部の名称や各機能の仕様など、基本情報を確認します。本機の管理体制やセキュリティーリスクへの対策についても検討します。

基本情報

機種によって、対応している機能が異なります。これらを一覧で確認できます。

対応機能一覧(P. 3)

必要に応じて、本機の各部の名称、使用できる用紙、各機能の仕様を確認します。

各部の名称とはたらき(P. 7)
使用可能な用紙(P. 14)
仕様(P. 19)

管理／設定に必要な情報

本機の管理／設定を行う際には、管理者 ID と管理者暗証番号を使用してログインします。

管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)

本機をネットワーク環境で使用する場合は、不正アクセス防止対策の一例を確認し、検討／実施します。

不正アクセス防止対策(P. 5)

活用のヒント

文書の電子化やコストの削減、操作の効率化に役立つおすすめ機能を紹介しています。

おすすめ機能(P. 30)

対応機能一覧

EALA-001

ユーザーズガイド（本マニュアル）は、本機を含む機種シリーズすべての機能を説明しています。そのため、機種によっては、ユーザーズガイドに記載されている機能を使用できない場合があります。各機種がどの機能に対応しているか、以下の一覧で確認できます。

対応機能(P. 3)

対応機能

○：機能あり　×：機能なし

機能	LBP122 II	LBP121 II
プリント	○	○
両面プリント	○	○
有線 LAN 接続	○	○
Wi-Fi 接続	○	×
USB 接続	○	○
リモート UI	○	○
鍵と証明書	○	○
モバイル機器と連携	○	○
ディスプレー	モノクロ液晶	モノクロ液晶
管理者 ID の初期設定	未設定	未設定
管理者暗証番号の初期設定	未設定	未設定

MEMO

- 使用できるドライバーの種類については、キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトで確認してください。
  https://canon.jp/download/

管理者 ID と管理者暗証番号

EALA-004

本機には、重要な設定を閲覧／変更できる「管理者モード」が用意されています。
「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定すると、これらを知っているユーザーだけが、管理者モードにログインできるようになります。

初期設定では、管理者 ID と管理者暗証番号は設定されていません。
管理者モードが無効なため、誰でも重要な設定を閲覧／変更できてしまいます。情報保護のため、管理者 ID と管理者暗証番号を新しく設定して、特定の管理者だけがこれらを知っているようにします。

管理者 ID と管理者暗証番号を変更／設定する方法については、以下を参照してください。
管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)

不正アクセス防止対策

EALA-005

本機をネットワーク環境で使用する場合は、ご利用の前に必ずお読みください。

プリンターや複合機は、ネットワークに接続することでさまざまな機能が利用可能となります。その反面、外部からの不正アクセスや盗聴などネットワーク上の脅威にさらされるため、セキュリティーリスクへの対策が不可欠です。
ここでは、ネットワーク環境で本機を使用する場合に、セットアップ時に必ず検討／実施いただきたい不正アクセス防止対策の一例を説明します。

プライベート IP アドレスでの運用(P. 5)
パスワードや暗証番号による情報保護(P. 6)
リモート UI 使用時の注意(P. 6)

重要

- 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆 Wi-Fi を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください。

MEMO

- 上記以外にも、ファイアウォールによる通信の制限や、TLS 暗号化通信による盗聴／改ざんの防止など、本機でできるセキュリティーリスク対策があります。使用環境に合わせて必要な対策を行ってください。 **セキュリティー(P. 151)**

プライベート IP アドレスでの運用

IP アドレスには、インターネット接続に使用される「グローバル IP アドレス」と、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使用される「プライベート IP アドレス」があります。

本機にグローバル IP アドレスが設定されている場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーが本機へアクセス可能な状態になります。そのため、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクが高まります。
一方、プライベート IP アドレスが設定されている場合は、本機へのアクセスがローカルエリアネットワーク上のユーザーのみに限定されます。そのため、グローバル IP アドレス設定時よりも不正アクセスのリスクが軽減します。

基本的には、本機にプライベート IP アドレスを設定して運用してください。
プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスを使用します。

プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

IP アドレスを設定／確認する方法については、以下を参照してください。
IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
IPv6 アドレスを設定する(P. 55)

本機にグローバル IP アドレスを設定して運用したい場合は、ファイアウォールなどで外部からのアクセスを防御する環境を構築すると、不正アクセスのリスクは軽減されます。ネットワークセキュリティーの構築は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワードや暗証番号による情報保護

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、本機が持つ情報をパスワードや暗証番号で保護しておけば、情報漏えいや不正使用のリスクを軽減できます。
本機では、以下の機能でパスワードや暗証番号を設定できます。パスワードや暗証番号を知っているユーザーのみが、これらの機能を使用して情報にアクセスできるようにします。

リモート UI
リモート UI を使用する際に、リモート UI のパスワードの入力が必要になるようにします。
リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 174)

管理者 ID
重要な設定を変更する際に、管理者 ID と管理者暗証番号の入力が必要になるようにします。
管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)

リモート UI 使用時の注意

- リモート UI の使用中は、他の Web サイトにアクセスしないでください。
- リモート UI を使用したあとは、ログアウトし、Web ブラウザーを必ず閉じてください。

各部の名称とはたらき

EALA-006

外部前面

本機を使用するときは、おもに前面の各部を確認しながら操作します。

前面(P. 8)

- 本機の操作／設定は、操作パネルで行います。
  操作パネル(P. 11)
- プリントする用紙は、以下の給紙部にセットします。
  給紙カセット(P. 13)

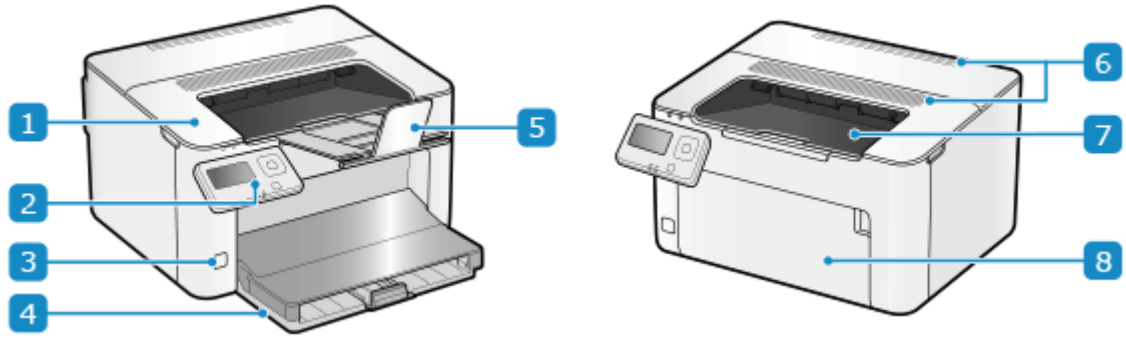
外部背面

本機を設置／接続するときや、用紙がつまったときは、背面の各部を確認しながら作業します。

背面(P. 10)

前面

EALA-007



1 トナーカバー

トナーカートリッジを交換するときに開けます。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 268)**

2 操作パネル

ディスプレーやキーを使用して、本機の操作や状況確認を行います。 **操作パネル(P. 11)**

3 電源スイッチ

本機の電源を入れたり切ったりします。 **電源を入れる／切る(P. 75)**

4 給紙カセット

普段よく使用する用紙をセットします。 **給紙カセット(P. 13)**

5 排紙ストッパー

排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、この部分を開けます。

6 通気口

本機内部を換気して冷却します。

換気の妨げになるため、通気口のそばには物を置かないようにご注意ください。

7 排紙トレイ

プリントされた用紙が排出されます。

8 前カバー

本機内部に用紙がつまったときに開けます。

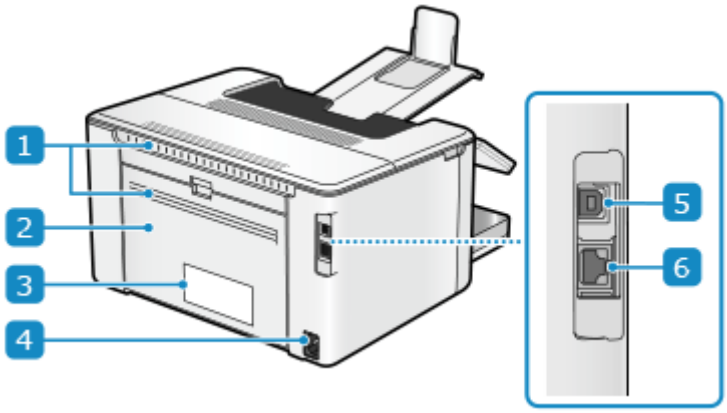
MEMO

- 本機を快適に使用するために、本機の表面は定期的に清掃します。

本機の表面を清掃する(P. 264)

背面

EALA-008



1 通気口

本機内部を換気して冷却します。
換気の妨げになるため、通気口のそばには物を置かないようにご注意ください。

2 後ろカバー

本機内部に用紙がつまったときに開けます。

3 定格銘板ラベル

お問い合わせの際に必要となるシリアルナンバーが記載されています。

4 電源ソケット

電源コードを接続します。

5 USB ポート（パソコン接続用）

市販の USB ケーブルを使用してパソコンを接続できます。

6 LAN ポート

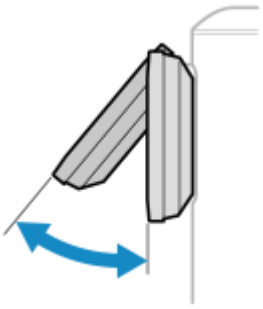
市販の LAN ケーブルを使用して有線 LAN に接続します。

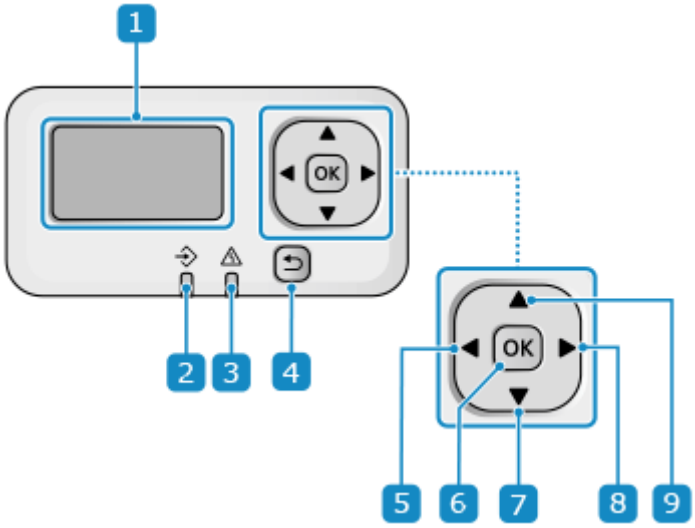
操作パネル

EALA-00A

本機の操作／設定を行う部分です。

ディスプレーが見づらいときは、右の図のように操作パネルの角度を調節します。





1 ディスプレー

各機能を操作する画面や使用状況、メッセージなどが表示されます。 **操作パネルの使用方法(P. 81)**

2 データランプ

プリント中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。
処理待ちのデータがあるときは点灯します。

3 エラーランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに、点滅または点灯します。

4 戻るキー（ ）

1 つ前の画面に戻ります。

5 方向キー（ ◀ ）

前の画面に戻ります。文字入力時に押すと、カーソルが左に移動します。

6 OK キー（ OK ）

設定や選択した内容を確定します。

7 方向キー（ ▼ ）

下の項目を選択したり、スライダーで数値を下げたりするときに押します。

8 方向キー（ ▶ ）

次の画面に進みます。文字入力時に押すと、カーソルが右に移動します。

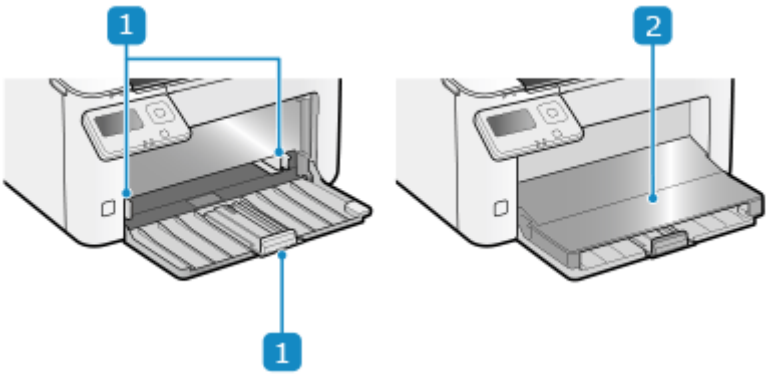
9 方向キー（ ▲ ）

上の項目を選択したり、スライダーで数値を上げたりするときに押します。

給紙カセット

EALA-00E

給紙カセットには、普段よく使用する用紙をセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 92)**



1 用紙ガイド

用紙を正しくセットするために、このガイドを用紙の幅に合わせます。

2 用紙カバー

給紙カセットに用紙をセットするときに開けます。

使用可能な用紙

EALA-00F

本機で使用できる用紙は以下のとおりです。

使用可能な用紙サイズ(P. 14)
使用可能な用紙種類(P. 15)
使用できない用紙(P. 17)

MEMO

- 用紙の取り扱い／保管には注意が必要です。 **用紙を取り扱うときの注意事項(P. 18)**

使用可能な用紙サイズ

○：使用可　×：使用不可

用紙サイズ	給紙カセット	自動両面プリント *1
A4 *2	○	○
B5	○	×
A5 *3	○	×
A6	○	×
リーガル（LGL）	○	○
レター（LTR） *2	○	○
ステートメント（STMT）	○	×
エグゼクティブ（EXEC）	○	×
Oficio	○	○
Oficio (Brazil)	○	○
Oficio (Mexico)	○	○
Letter (Government)	○	×

用紙サイズ	給紙カセット	自動両面プリント *1
Legal (Government)	○	×
Foolscap/Folio	○	○
Foolscap (Australia)	○	×
Legal (India)	○	○
はがき	○	×
往復はがき	○	×
4 面ハガキ	○	×
封筒 長形 3 号	○	×
封筒 長形 4 号	○	×
封筒 長形 40 号	○	×
封筒 洋形長 3 号	○	×
ユーザー設定サイズ	○ *4	○ *5

*1 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面にプリントすることができます。

*2 レポートやリストのプリントが可能です。

*3 タテ置き／ヨコ置きでセット可能です。

*4 76.0 × 127.0 mm ～ 216.0 × 356.0 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*5 210.0 × 279.0 mm ～ 216.0 × 356.0 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

使用可能な用紙種類

非塩素用紙を使用できます。

○：使用可　×：使用不可

用紙種類	坪量	給紙カセット	自動両面プリント *1
薄紙	60 g/m²	○	○
普通紙 1 *2	61 g/m² ～ 70 g/m²	○	○

用紙種類	坪量	給紙カセット	自動両面プリント *1
普通紙 2 *2	71 g/m² ～ 89 g/m²	○	○
普通紙 3 *2	90 g/m² ～ 105 g/m²	○	○
厚紙 1	106 g/m² ～ 120 g/m²	○	×
厚紙 2	121 g/m² ～ 163 g/m²	○	×
再生紙 1 *2	61 g/m² ～ 70 g/m²	○	○
再生紙 2 *2	71 g/m² ～ 89 g/m²	○	○
ラベル用紙	—	○	×
色紙 *2	61 g/m² ～ 70 g/m²	○	○
レターヘッド 1	61 g/m² ～ 70 g/m²	○	○
レターヘッド 2	71 g/m² ～ 89 g/m²	○	○
レターヘッド 3	90 g/m² ～ 105 g/m²	○	○
レターヘッド 4	106 g/m² ～ 120 g/m²	○	×
レターヘッド 5	121 g/m² ～ 163 g/m²	○	×
ボンド紙 1	60 g/m² ～ 104 g/m²	○	○
ボンド紙 2	105 g/m² ～ 163 g/m²	○	×
はがき *3	—	○	×
封筒	—	○	×

*1 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面にプリントすることができます。

*2 レポートやリストのプリントが可能です。

*3 インクジェット用の郵便はがき／郵便往復はがきを使用することはできません。

使用できない用紙

プリントする前に、使用する用紙が適切かどうかを確認します。紙づまりやプリント不良の原因になるため、以下の用紙は使用しないようにします。

- しわ／折り目がある紙、カールしている紙、破れている紙、湿っている紙[*1]
- 薄いわら半紙、非常に薄い紙、目の粗い紙、つるつるした紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙、プリントされた紙のウラ面
- のりなどの粘着剤がはみ出している用紙、裏紙が簡単にはがれるラベル用紙
- インクジェット専用の郵便はがき

[*1] 湿った用紙にプリントすると、排紙部周辺から湯気が出たり、排紙部に水滴が付いたりすることがありますが、異常ではありません。これは、トナーを定着するときの熱によって、用紙に含まれる水分が蒸発しているためです。室温が低い場合に発生しやすくなります。

用紙を取り扱うときの注意事項

EALA-00H

紙づまりなどのエラーを防止し、きれいにプリントするために、使用する用紙の取り扱い／保管には注意が必要です。
プリントした用紙の品質を保つためには、保管方法やのり付け方法に留意します。

■使用する用紙の取り扱い／保管

使用する環境に用紙を慣らす

本機が設置されている環境に十分慣らしてから、用紙を使用します。異なる温度／湿度で保管されていた用紙をすぐに使用すると、紙づまりやプリント不良の原因になることがあります。

使用前の用紙の保管方法

- 用紙は開封後すぐに使用することをおすすめします。残った用紙は入っていた包装紙に再度包み、平らな場所に保管します。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したまま保管します。
- 用紙が丸まったり折り目が付いたりするような置きかたで保管しないようにします。
- 用紙を立てたり多く積み重ねたりして保管しないようにします。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥した場所、使用環境との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないようにします。

■プリントした用紙の保管／のり付け

用紙の保管方法

- 平らな場所に保管します。
- クリアホルダーなど PVC（ポリ塩化ビニル）素材のものと一緒に保管しないようにします。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付くことがあります。
- 折れたりしわになったりしないように保管します。トナーがはがれることがあります。
- 高温の場所には保管しないようにします。
- 長期間（2 年以上）保管するときは、バインダーなどに入れて保管します。
- 長期間保管すると、用紙の変色によりプリントした画像が変色したように見えることがあります。

プリントした用紙にのり付けする場合の注意

- 必ず不溶性の接着剤を使用します。
- 不要になったプリント済み用紙で試してからのり付けします。
- のり付けした用紙は、完全に乾いてから重ねます。

仕様

EALA-00J

製品の改良により仕様が変更されたり、今後発売される製品によって内容が更新されたりすることがあります。製品に関する情報は、キヤノンホームページを参照してください。
https://global.canon/

本体の仕様
基本仕様(P. 20)

機能の仕様
プリントの仕様(P. 22)
ネットワークの仕様(P. 23)
セキュリティー／管理機能の仕様(P. 25)

動作環境や対応ソフトウェア／サーバー
サポート環境(P. 29)

基本仕様

EALA-00K

形式	デスクトップ
カラー対応	白黒
書き込み解像度	600 dpi × 400 dpi 600 dpi × 600 dpi（2/3 速）
階調	256 階調
用紙サイズ	最大：216.0 mm × 356.0 mm 最小：76 mm × 127 mm
用紙種類／坪量	**使用可能な用紙(P. 14)**
ウォームアップタイム *1	**主電源立ち上げ時** 7.5 秒以下 **スリープモードからの立ち上げ時** 3.2 秒以下
ファーストプリントタイム （A4）	5.4 秒以下
連続プリント速度 *2 （A4）	29 枚/分
給紙方式／給紙容量 *3	**カセット** 普通紙（64 g/m²、80 g/m²）：150 枚 はがき：50 枚 封筒：10 枚
排紙方式／排紙容量 *3	**排紙トレイ** 100 枚（68 g/m²）
電源	AC 100V、50/60Hz、5.3A
消費電力 *1	**最大消費電力** 1,130 W

	スリープモード時 1.0 W（Wi-Fi 接続） **電源スイッチ切断時** 0.3 W
エネルギー消費効率 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値	34 kWh/年（区分名：プリンター C）
大きさ （幅×奥行×高さ）	356 mm × 298 mm × 213 mm
質量 （トナーカートリッジ除く）	約 5.8 kg
機械占有寸法	356 mm × 598 mm × 458 mm ※周囲は 100 mm 以上のスペースをあけてください。
メモリー容量	RAM：256 MB
使用環境	温度：10 °C ～ 30 °C 湿度：20 % ～ 80 %（相対湿度・結露しないこと）

*1 使用環境や使用条件によって異なる場合があります。

*2 A4 片面等倍時。普通紙、同一データを連続印刷した場合の自社試験による速度です。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向などによっては印刷速度が低下します。また連続印刷時に、プリンター本体の温度調整や画質調整などのため動作を休止もしくは遅くさせる場合があります。

*3 設置環境や使用する用紙によって異なる場合があります。

プリントの仕様

EALA-00L

CARPS2 プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	**使用可能な用紙(P. 14)**
連続プリント速度	本体の「連続プリント速度」と同じ **基本仕様(P. 20)**
解像度	**データ処理** 600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	CARPS2
対応プロトコル	TCP/IP：LPD、Port9100、IPP、IPPS、WSD
内蔵フォント	なし
インターフェイス	**USB** USB 2.0 High-Speed **有線 LAN** 100Base-TX、10Base-T（IEEE 802.3 準拠） **Wi-Fi** IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n

ネットワークの仕様

EALA-00R

■共通

対応プロトコル	TCP/IP フレームタイプ：Ethernet II プリントアプリケーション：LPD、Raw、IPP、IPPS、WSD、Mopria、AirPrint、Windows10 Mobile Print、Windows11 Mobile Print

■有線 LAN

インターフェイス	10BASE-T、100BASE-TX 共用（RJ-45）

■Wi-Fi

準拠規格	IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
伝送方式	IEEE 802.11b（変調方式：DS-SS） IEEE 802.11g（変調方式：OFDM 方式） IEEE 802.11n（変調方式：OFDM 方式）
通信モード	インフラストラクチャーモード アクセスポイントモード
周波数帯域 *1	2.4GHz 帯、5GHz 帯
チャンネル	2.4GHz 帯：1-13 5GHz 帯：36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140
セキュリティー （暗号方式）	**インフラストラクチャーモード時** WPA-PSK（AES-CCMP） WPA2-PSK（AES-CCMP） WPA3-SAE（AES-CCMP） WPA-EAP（AES-CCMP）

	WPA2-EAP（AES-CCMP） WPA3-EAP（AES-CCMP） **アクセスポイントモード時** WPA2-PSK（AES-CCMP）
設定方法	WPS（Wi-Fi Protected Setup）、手動設定

*1 使用できる周波数帯域は、国や地域によって異なります

セキュリティー／管理機能の仕様

EALA-00S

ファイアウォール(P. 25)
鍵と証明書(P. 25)
「弱い暗号」の定義(P. 26)
TLS(P. 27)
ログの種類(P. 28)

ファイアウォール

- 指定できる IP アドレス（IP アドレスの範囲）は IPv4 と IPv6 とでそれぞれ最大 16 です。
- 指定できる MAC アドレスは最大 32 です。

鍵と証明書

本機が対応している鍵と証明書は以下のとおりです。

■自己生成鍵と自己署名証明書／CSR

公開鍵のアルゴリズム（および鍵長）	RSA（512 ビット、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット） DSA（1024 ビット、2048 ビット、3072 ビット） ECDSA（P256、P384、P521）
証明書の署名アルゴリズム	RSA：SHA-1[*1]、SHA-256、SHA-384[*2]、SHA-512[*2] DSA：SHA-1[*1] ECDSA：SHA-1[*1]、SHA-256、SHA-384、SHA-512
証明書の拇印アルゴリズム	SHA1

[*1] リモート UI からのインストール時のみ使用できます。

[*2] SHA384-RSA および SHA512-RSA は、RSA の鍵長が 1024 ビット以上の場合にのみ使用できます。

■インストールする場合の鍵と証明書／CA 証明書

形式	**鍵** PKCS#12[*1][*2] **CA 証明書** X.509 DER 形式／PEM 形式[*3]

ファイルの拡張子	**鍵** 「.p12」、「.pfx」 **CA 証明書** 「.cer」、「.pem」
公開鍵のアルゴリズム（および鍵長）	RSA（512 ビット、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット） DSA（1024 ビット、2048 ビット、3072 ビット） ECDSA（P256、P384、P521）
証明書の署名アルゴリズム	RSA：SHA-1[*4]、SHA-256、SHA-384[*5]、SHA-512[*5] DSA：SHA-1[*4] ECDSA：SHA-1[*4]、SHA-256、SHA-384、SHA-512
証明書の拇印アルゴリズム	SHA1

[*1] 鍵に含まれている証明書は、CA 証明書の動作条件に準じます。

[*2] 証明書はファイルサイズが 16 KB を越える場合は登録できません。

[*3] 証明書はファイルサイズが 4 KB を越える場合は登録できません。

[*4] リモート UI からのインストール時のみ使用できます。

[*5] SHA384-RSA および SHA512-RSA は、RSA の鍵長が 1024 ビット以上の場合にのみ使用できます。

MEMO

- 証明書失効リスト（CRL）には対応していません。

「弱い暗号」の定義

［暗号設定］の［弱い暗号の使用を禁止］を［ON］に設定した場合は、以下のアルゴリズムが使用禁止となります。**［暗号設定］(P. 257)**

ハッシュ	MD4、MD5、SHA-1
HMAC	HMAC-MD5
共通鍵暗号	RC2、RC4、DES
公開鍵暗号	RSA 暗号（512 ビット／1024 ビット） RSA 署名（512 ビット／1024 ビット） DSA（512 ビット／1024 ビット）

	DH（512 ビット／1024 ビット）

MEMO

- ［暗号設定］の［弱い暗号を用いた鍵/証明書の使用を禁止］を［ON］に設定しても、ルート証明書の署名に用いられるハッシュアルゴリズム SHA-1 は使用できます。

TLS

本機で使用できる TLS のバージョンとアルゴリズムの組み合わせは、以下のとおりです。

○：使用可　×：使用不可

アルゴリズム	TLS のバージョン			
	TLS 1.3	TLS 1.2	TLS 1.1	TLS 1.0
暗号化アルゴリズム				
AES-CBC (256bit)	×	○	○	○
AES-CBC (128bit)	×	○	○	○
AES-GCM (256bit)	○	○	×	×
AES-GCM (128bit)	○	○	×	×
3DES-CBC	×	○	○	○
CHACHA20-POLY1305	○	×	×	×
鍵交換アルゴリズム				
RSA	×	○	○	○
ECDHE	○	○	○	○
X25519	○	×	×	×
署名アルゴリズム				
RSA	○	○	○	○

アルゴリズム	TLS のバージョン			
	TLS 1.3	TLS 1.2	TLS 1.1	TLS 1.0
ECDSA	○	○	○	○
HMAC アルゴリズム				
SHA1	×	○	○	○
SHA256	○	○	×	×
SHA384	○	○	×	×

ログの種類

本機では以下のログを管理できます。収集したログは SIEM（セキュリティー情報・イベント管理）システムに Syslog 送信できます。

ログの種類	「ログの種類」として記載される番号	概要
ユーザー認証ログ	4098	ユーザー認証の認証状況（ログイン／ログアウト、認証成功／失敗）、User Authentication で管理されているユーザー情報の登録／変更／削除に関するログです。
本体管理ログ	8198	本機の起動／終了、［メニュー］による設定変更などに関するログです。販売店または担当サービスが点検や修理中に、ユーザー情報やセキュリティーに関わる設定が変更された場合も、本体管理ログに記録されます。

サポート環境

EALA-00U

動作環境

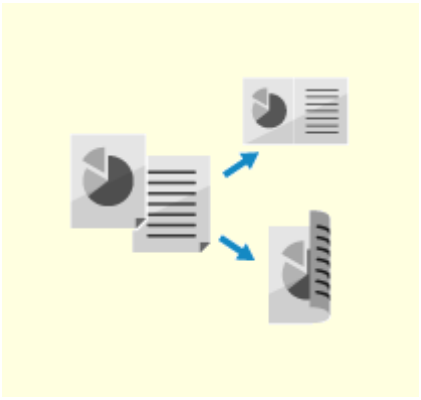
AirPrint の動作環境	**AirPrint を使用してプリントする(P. 145)**
リモート UI の動作環境 [*1]	**Windows** Microsoft Edge Google Chrome **macOS** Safari 11 Google Chrome **Android** Google Chrome UC Browser **iOS** Safari 11 UC Browser

[*1] Web ブラウザーで Cookie と JavaScript を利用できるように設定する必要があります。

おすすめ機能

EALA-00W

用紙／電力の節約や、操作性の向上など、目的や課題の解決に役立つおすすめの機能を紹介します。



コスト削減(P. 31)



操作の効率化(P. 32)

コスト削減

EALA-00X

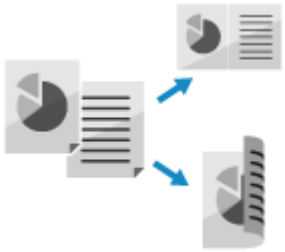
本機で使用する用紙や電力を節約します。

用紙の節約

プリントで節約

用紙の両面にプリントしたり、複数のページを 1 枚の用紙にプリントしたりできます。

パソコンからプリントする(P. 115)



節電

本機を使用しないときは、「スリープモード」にすることで、消費電力を抑えることができます。電源は切れていないため、すぐに操作を再開できます。

消費電力を抑える - スリープモード(P. 79)

操作の効率化

EALA-00Y

パソコンが使用できない環境でも、プリントができます。また、画面のカスタマイズによって操作を効率化し、本機の占有時間を短縮できます。

パソコンを介さずにプリント

スマートフォン／タブレットのデータをプリント

本機と接続したモバイル機器から、アプリを使ってデータをプリントできます。ダイレクト接続にも対応しているため、Wi-Fi ルーターを介することなく簡単な設定で接続できます。

モバイル／クラウド連携(P. 124)



セットアップ

セットアップ 34
初期設定をする - 設定ナビ 35
リモート UI/Web サービス利用の初期設定 37
ネットワークの設定 39
有線 LAN／Wi-Fi を選択する 41
有線 LAN に接続する 42
Wi-Fi に接続する 43
ルーターのボタン操作で Wi-Fi に接続する - プッシュボタン方式 45
PIN コードを入力して Wi-Fi に接続する - WPS PIN コード方式 47
ルーターを探索して Wi-Fi に接続する - アクセスポイント選択方式 49
詳細を設定して Wi-Fi に接続する - 手動入力方式 51
IPv4 アドレスを設定する 53
IPv6 アドレスを設定する 55
使用するネットワーク環境に合わせる 57
Ethernet を手動で設定する 58
DNS を設定する 59
SMB を設定する 62
WINS を設定する 63
SNMP を設定する 64
SNTP を設定する 67
ネットワークの接続状況や設定を確認する 69
パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール 72

セットアップ

EALA-010

本機を設置したあと、各機能を使用できる状態にするために必要な設定を行います。

本機の初期設定

初めて本機の電源を入れると、本機を使用するために必要な項目を設定する画面（設定ナビ）が操作パネルに表示されます。画面の案内に従って設定します。

初期設定をする - 設定ナビ(P. 35)

ネットワークの設定

パソコンから本機を操作したり、サーバーと連携したりするために、本機をネットワークに接続します。初期設定時にネットワークに接続しなかった場合は、ここで接続します。

ネットワークの設定(P. 39)

パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール

本機を使用するための各種ソフトウェアやドライバーをパソコンにインストールします。初期設定時にインストールしなかった場合や、追加でインストールしたい場合に参照してください。

パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 72)

■関連項目

不正アクセス防止対策の実施を検討する

本機をネットワーク環境で使用する場合、セキュリティーリスクへの対策が不可欠です。本機でできる対策の一例を確認します。

不正アクセス防止対策(P. 5)

利用できる機能を確認する

機種によって搭載されている機能が異なります。使用する機種で利用できる機能を確認しておきます。

対応機能一覧(P. 3)

本機の各機能を使用するために必要な設定をする

使用する機能によっては、上記以外にも設定が必要です。各機能で必要な設定については、以下を参照してください。

プリントの準備(P. 107)
モバイル／クラウド連携の準備(P. 126)

初期設定をする - 設定ナビ

EALA-011

初めて本機の電源を入れると、本機を使用するための項目を設定する画面（設定ナビ）が操作パネルに表示されます。画面の案内に従って、以下の手順で設定します。

Step 1：日付時刻を設定する(P. 35)
Step 2：本機をネットワークやパソコンに接続する(P. 35)
Step 3：ドライバーのインストールやリモート UI による初期設定をする(P. 35)

MEMO

- 設定ナビを使用して設定できるのは、初回起動時の 1 回のみです。設定ナビで設定した内容を、あとから変更したい場合などは、Step 1 ～ Step 3 の各項目を個別に設定します。各項目の設定の詳細については、以下を参照してください。
  日付／時刻を設定する(P. 183)
  管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)
  Wi-Fi に接続する(P. 43)

Step 1：日付時刻を設定する

日付／時刻情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

1 ［現在日時の設定］画面で、日付／時刻を入力し、 OK を押す

➠ 日付時刻が設定され、［接続方法選択］画面が表示されます。

Step 2：本機をネットワークやパソコンに接続する

1 ［接続方法選択］画面で、接続方法を選択して OK を押す

あとで設定する場合は［今は接続しない］▶ OK を押して、Step 3 に進みます。 **Step 3：ドライバーのインストールやリモート UI による初期設定をする(P. 35)**

2 画面の指示に従って、設定を行う

➠ 設定が完了すると、ドライバーインストールと初期設定の画面が表示されます。

Step 3：ドライバーのインストールやリモート UI による初期設定をする

1 本機の画面の指示に従って、パソコンでドライバーのインストールを行う

ドライバーのインストールをしない場合は、［終了］▶ OK を押し、手順 2 に進みます。

2 **ドライバーのインストールが完了したら、［終了］▶ OK を押す**

3 **リモート UI から初期設定を行う** **リモート UI/Web サービス利用の初期設定(P. 37)**

リモート UI/Web サービス利用の初期設定

EALA-012

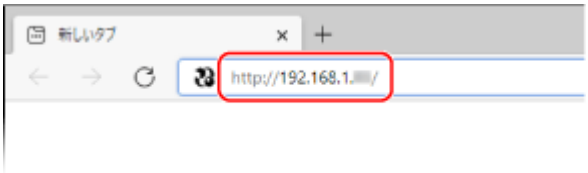
パソコンの Web ブラウザーから本機の IP アドレスにアクセスし、リモート UI や Web サービス利用の初期設定を行います。

必要な準備

- リモート UI の動作環境を確認します。 **サポート環境(P. 29)**
- リモート UI を起動するパソコンと本機をネットワーク接続します。 **ネットワークの設定(P. 39)**
- 本機の IP アドレスを確認します。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 69)**

1 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

http://<本機の IP アドレス>/



➡[パスワードの設定]画面が表示されます。

- 本機のネットワーク接続後、15 分以内にアクセスした場合のみ表示されます。
- リモート UI のログイン画面が表示された場合は、管理者モードでログインします。
  リモート UI のパスワードを設定していない場合は、本機でパスワードの設定をします。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)**

IPv6 アドレスを入力するときは、IP アドレスを [ ] で囲んで入力します。

入力例：
http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/

■リモート UI のログイン画面が表示されない場合

[リモート UI にアクセスできません。]などのメッセージが表示されて、ログイン画面が表示されない場合は、以下を参照してください。
リモート UI にアクセスできない(P. 337)

2 画面の指示に従ってログインに必要なパスワードを設定し、[OK]をクリックする

➡[初期設定]画面が表示されます。

※表示されない場合は、ポータル画面で[初期設定]をクリックします。

3 [Web サービス利用設定]をクリックして、Web サービスの利用設定をする

キヤノンのクラウド連携サービスを利用するかどうかを設定します。Web サービスの利用設定をしない場合は、手順 4 に進みます。

1. メッセージを確認して、[同意します]をクリックする
2. [次へ]をクリックする

3 ［設定完了］画面で、メッセージを確認して［終了］をクリックする

➡接続に失敗した場合は、本機とネットワークの設定を確認します。 **ネットワークの設定(P. 39)**

4 ［閉じる］をクリックする

➡リモート UI のポータル画面が表示されます。
※メッセージが表示された場合は、［OK］をクリックしたあと、本機を再起動します。 **再起動する(P. 78)**

ネットワークの設定

EALA-013

パソコンから本機を操作したり、サーバーと連携したりするために、本機をネットワークに接続します。
以下の流れで、本機をネットワークに接続し、使用するネットワーク環境に合わせて本機の設定をします。

ネットワークの設定を行うには、管理者権限が必要です。
「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定してください。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

重要

- 適切なセキュリティー対策が行われていないネットワークに接続すると、本機で扱う情報が第三者に漏えいするおそれがあります。 **ネットワークの保護(P. 154)**

■ネットワーク設定前の準備

- 本機の使用環境に応じて、LAN ケーブルやルーターを用意します。
- 本機を使用するネットワーク環境の情報や、必要なネットワークの設定を確認します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワーク内で使用するパソコンとルーターが正しく接続されていることを確認し、ネットワーク設定を完了させます。接続方法については、それぞれの機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

■ネットワーク設定の流れ

Step 1

有線 LAN／Wi-Fi のどちらを使用するか選択してから、ネットワークに接続します。

有線 LAN に接続する場合

有線 LAN／Wi-Fi を選択する(P. 41)
有線 LAN に接続する(P. 42)

Wi-Fi に接続する場合

有線 LAN／Wi-Fi を選択する(P. 41)
Wi-Fi に接続する(P. 43)

▼

Step 2

IP アドレスを設定します。

- 初期設定では、有線 LAN／Wi-Fi 接続時に自動的に設定されます。
- 特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
  IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
  IPv6 アドレスを設定する(P. 55)

※手動で設定する際、IPv6 アドレスの一部の項目は、操作パネルでは設定できません。操作パネルで IPv4 アドレスを設定してから、リモート UI で IPv6 アドレスを設定することをおすすめします。

▼

Step 3	必要に応じて、使用するネットワーク環境に合わせて本機の設定をします。 **使用するネットワーク環境に合わせる(P. 57)** ※一部の項目は、操作パネルでは設定できません。Step 3 はリモート UI から設定することをおすすめします。

■ネットワーク設定後の確認

ネットワークに適切に接続されているかどうかを確認します。
必要に応じて、本機の IP アドレスや MAC アドレスの情報なども確認します。
ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 69)

有線 LAN／Wi-Fi を選択する

EALA-014

有線 LAN／Wi-Fi のどちらを使用して本機をネットワークに接続するかを設定します。
有線 LAN を Wi-Fi に切り替える場合は、Wi-Fi に接続する手順内で設定することもできます。 **Wi-Fi に接続する(P. 43)**
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能一覧(P. 3)**
※有線 LAN と Wi-Fi は同時に使用できません。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ▶［ホーム］画面(P. 84)

2 ［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［有線 LAN/Wi-Fi 選択］▶ OK を押す

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。

3 ［有線 LAN］または［Wi-Fi］を選択し、OK を押す

➠［設定しました。］とメッセージが表示されます。
続いて、有線 LAN または Wi-Fi に接続します。
有線 LAN に接続する(P. 42)
Wi-Fi に接続する(P. 43)

重要

有線 LAN と Wi-Fi を切り替えた場合

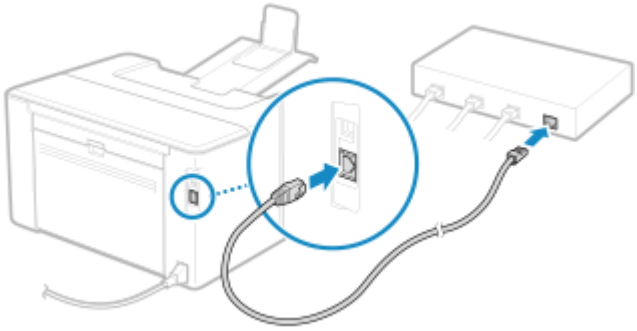
- すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおす必要があります。ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

有線 LAN に接続する

EALA-015

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。本機とルーターとの接続には LAN ケーブルを使用します。

1 LAN ケーブルを本機とルーターに接続する



有線 LAN 接続中は、［ホーム］画面に［ ］が表示されます。

コネクタがポートにしっかりと収まるよう、カチッと音がするまで差し込みます。

2 そのまま数分間待つ

初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
IPv6 アドレスを設定する(P. 55)

Wi-Fi に接続する

EALA-016

Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）を介して、本機とパソコンを接続します。
使用する Wi-Fi ルーターによって接続方式／セキュリティー規格が異なります。Wi-Fi ルーターと本機の両方が対応している接続方式／セキュリティー規格を確認し、接続方式に応じた手順で接続します。
接続方式によっては、Wi-Fi ルーターのセキュリティー情報などの入力が必要となります。

本機が対応している接続方式／セキュリティー規格の確認(P. 43)
接続時に必要な Wi-Fi ルーターの情報(P. 44)

重要

セキュリティーで保護されたネットワーク環境で接続する

- 無線通信に使用する電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物を越えてしまいます。そのため、適切なセキュリティーで保護されていないネットワークに接続した場合は、個人情報などが第三者に漏えいするおそれがあります。本機を Wi-Fi に接続する場合は、お客様ご自身の判断と責任において使用してください。 **ネットワークの保護(P. 154)**

MEMO

消費電力を抑える

- パワーセーブモードを設定すると、Wi-Fi ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。
  ［パワーセーブモード］(P. 218)

本機が対応している接続方式／セキュリティー規格の確認

■接続方式

使用する Wi-Fi ルーターが対応している方式で接続します。認証や暗号化などセキュリティー方式を詳細に指定する場合は、手動入力方式で接続します。
本機が対応している接続方式は以下のとおりです。

プッシュボタン方式 - WPS



Wi-Fi ルーターの外装箱、または機器本体のボタンに上記のマークが表記されている場合は、ボタン操作で簡単に接続できます。
ルーターのボタン操作で Wi-Fi に接続する - プッシュボタン方式(P. 45)

WPS PIN コード方式

プッシュボタン方式に対応していない WPS 対応ルーターを使用する場合は、PIN コードを入力して接続します。
PIN コードを入力して Wi-Fi に接続する - WPS PIN コード方式(P. 47)

アクセスポイント選択方式

Wi-Fi ルーターを本機から探索し、ネットワークキーを手動で入力して接続します。
ルーターを探索して Wi-Fi に接続する - アクセスポイント選択方式(P. 49)

アクセスポイント選択方式で接続すると、WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式は AES-CCMP に設定されます。
異なる暗号化方式を指定する場合は、手動入力方式で接続します。

手動入力方式

SSID やネットワークキーの情報のほか、暗号化方式など、Wi-Fi の設定をすべて手動で入力して接続します。
詳細を設定して Wi-Fi に接続する - 手動入力方式(P. 51)

■セキュリティー規格

本機の Wi-Fi は、以下のセキュリティー規格に対応しています。使用する Wi-Fi ルーターが対応しているかどうかについては、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPA3-SAE
- WPA-EAP
- WPA2-EAP

接続時に必要な Wi-Fi ルーターの情報

アクセスポイント選択方式または手動入力方式で接続する場合は、以下の情報を設定する必要があります。
これらの情報は Wi-Fi ルーター本体などに表記されています。詳しくは、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

SSID
Wi-Fi ルーターを識別するための名前です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」などと表記されることもあります。

ネットワークキー
データの暗号化に使用されるキーワード、またはネットワークの認証時に使用されるパスワードです。「暗号化キー」、「WPA/WPA2/WPA3 パスフレーズ」、「PSK」、「事前共有キー」などと表記されることもあります。

セキュリティー規格
手動入力方式で接続する場合に必要です。以下の情報を確認しておきます。

セキュリティー規格

- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPA3-SAE
- WPA-EAP
- WPA2-EAP

WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式

- AES-CCMP
- IEEE 802.1X 認証

ルーターのボタン操作で Wi-Fi に接続する - プッシュボタン方式

EALA-017

Wi-Fi ルーターが WPS のプッシュボタン方式に対応している場合は、本機の操作パネルでの操作と、Wi-Fi ルーターのボタン操作だけで簡単に接続できます。

Wi-Fi の接続には、管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［Wi-Fi 設定］▶ OK を押す

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］▶ OK を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりません。］というメッセージが表示された場合は、［閉じる］▶ OK を押します。

3 ［その他の接続］▶ OK を押す

4 ［WPS プッシュボタン方式］を選択し、 OK を押す

➡アクセスポイントの探索が開始されます。

5 探索開始後 2 分以内に、Wi-Fi ルーターのボタンを押す

Wi-Fi ルーターによってはボタンを長押しします。

※ボタンの操作方法については、使用している Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照してください。

6 操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、 OK を押す

➡Wi-Fi 接続中は、［ホーム］画面に［ ］が表示されます。

7 そのまま数分間待つ

➡初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
IPv6 アドレスを設定する(P. 55)

MEMO

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- OK を押し、手順 2 から操作しなおします。

PIN コードを入力して Wi-Fi に接続する - WPS PIN コード方式

EALA-018

Wi-Fi ルーターが WPS PIN コード方式に対応している場合は、本機で生成した PIN コードを Wi-Fi ルーターに登録して接続します。PIN コードの登録には、パソコンなどを使用します。

Wi-Fi の接続には、管理者権限が必要です。

必要な準備

- パソコンなどから Wi-Fi ルーターにアクセスし、WPS PIN コードを登録できる状態にします。
  ※WPS PIN コードの登録方法については、使用している Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照してください。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す** **［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［Wi-Fi 設定］▶ OK を押す**

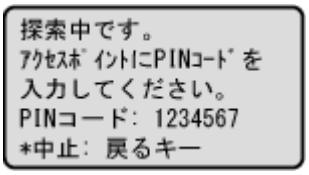
➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］▶ OK を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりません。］というメッセージが表示された場合は、［閉じる］▶ OK を押します。

3 **［その他の接続］▶ OK を押す**

4 **［WPS PIN コード方式］▶ OK を押す**

➡PIN コードが生成されます。



この画面が表示されてから 10 分以内に、WPS PIN コードを Wi-Fi ルーターに登録する必要があります。

5 **パソコンなどから Wi-Fi ルーターにアクセスし、WPS PIN コードを Wi-Fi ルーターに登録する**

6 **操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、OK を押す**

➡Wi-Fi 接続中は、［ホーム］画面に［ ］が表示されます。

7 そのまま数分間待つ

➠ 初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
IPv6 アドレスを設定する(P. 55)



操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- OK を押し、手順 2 から操作しなおします。

ルーターを探索して Wi-Fi に接続する - アクセスポイント選択方式

EALA-019

接続する Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）を本機から探索し、ネットワークキーを入力して接続します。
アクセスポイント選択方式で接続すると、WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式は AES-CCMP に設定されます。
異なる暗号化方式を指定する場合は、手動入力方式で接続します。 **詳細を設定して Wi-Fi に接続する - 手動入力方式(P. 51)**

Wi-Fi の接続には、管理者権限が必要です。

必要な準備

- 接続する Wi-Fi ルーターの情報（SSID やネットワークキー）を手元に用意します。 **接続時に必要な Wi-Fi ルーターの情報(P. 44)**
- セキュリティー規格が WPA-EAP または WPA2-EAP の Wi-Fi ルーターに接続する場合は、IEEE 802.1X を設定します。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 162)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す **［ホーム］画面(P. 84)**

2 ［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［Wi-Fi 設定］▶ OK を押す

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］▶ OK を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりません。］というメッセージが表示された場合は、Wi-Fi ルーターが探索できる状態かどうか確認します。 **Wi-Fi に接続できない(P. 319)**

3 接続する Wi-Fi ルーターの SSID を選択し、 OK を押す

➡ネットワークキーの入力画面が表示されます。
セキュリティー規格が WPA-EAP または WPA2-EAP の Wi-Fi ルーターの場合は、［接続には「IEEE 802.1X 設定」の設定値が適用されます。］というメッセージが表示されます。 OK を押し、手順 4 に進みます。

接続する Wi-Fi ルーターが見つからない場合は、Wi-Fi ルーターが探索できる状態かどうか確認します。 **Wi-Fi に接続できない(P. 319)**

4 ネットワークキーを入力し、［<確定>］▶ OK を押す

5 ［はい］▶ OK を押す

6 操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、 OK を押す

➡Wi-Fi 接続中は、［ホーム］画面に［ ］が表示されます。

7 そのまま数分間待つ

➡初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
IPv6 アドレスを設定する(P. 55)



操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- OK を押し、接続する Wi-Fi ルーターの情報（SSID やネットワークキー）を確認して、手順 2 から操作しなおします。

詳細を設定して Wi-Fi に接続する - 手動入力方式

EALA-01A

SSID／ネットワークキー／セキュリティー設定など、Wi-Fi ルーターの情報をすべて手動で入力して接続します。

Wi-Fi の接続には、管理者権限が必要です。

必要な準備

- 接続する Wi-Fi ルーターの情報を手元に用意します。 **接続時に必要な Wi-Fi ルーターの情報(P. 44)**
- セキュリティー規格が WPA-EAP または WPA2-EAP の Wi-Fi ルーターに接続する場合は、IEEE 802.1X を設定します。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 162)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］ ▶ OK を押す 「［ホーム］画面(P. 84)」

2 ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［Wi-Fi 設定］ ▶ OK を押す

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］ ▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］ ▶ OK を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりません。］というメッセージが表示された場合は、［閉じる］ ▶ OK を押します。

3 ［その他の接続］ ▶ OK を押す

4 ［ﾈｯﾄﾜｰｸ名手動入力］ ▶ OK を押す

➡SSID の入力画面が表示されます。

5 SSID を入力し、［<確定>］ ▶ OK を押す

➡［セキュリティー設定］画面が表示されます。

6 セキュリティー規格を選択し、認証や暗号化の設定をする

■WPA-PSK、WPA2-PSK または WPA3-SAE を使用する場合

1 Wi-Fi ルーターのセキュリティー設定に合わせて、［WPA/WPA2-PSK］、［WPA2-PSK/WPA3-SAE］または［WPA3-SAE］を選択し、 OK を押す

2 ネットワークキーを入力し、［<確定>］ ▶ OK を押す

■WPA-EAP または WPA2-EAP を使用する場合

［WPA/WPA2-EAP］▶ OK を押します。

■セキュリティーを設定しない場合

［なし］▶ OK を押します。

7 ［はい］▶ OK を押す

8 操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、OK を押す

➠Wi-Fi 接続中は、［ホーム］画面に［ ］が表示されます。

9 そのまま数分間待つ

➠初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
IPv6 アドレスを設定する(P. 55)

MEMO

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- OK を押し、接続する Wi-Fi ルーターの情報を確認して、手順 2 から操作しなおします。

IPv4 アドレスを設定する

EALA-01C

IPv4 アドレスの設定は、DHCP を使用して自動的に割り当てる方法と、手動で入力する方法があります。
初期設定では、有線 LAN／Wi-Fi に接続したときに、自動的に IPv4 アドレスが設定されますが、使用環境や用途によっては手動で設定／変更します。

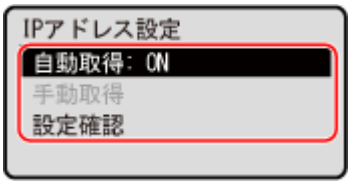
ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
IPv4 アドレスを設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す **［ホーム］画面(P. 84)**

2 ［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［TCP/IP 設定］▶ OK ▶［IPv4 設定］▶ OK ▶［IP アドレス設定］▶ OK を押す

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 IP アドレスを設定する



■IP アドレスを手動で設定する場合

1 ［自動取得］▶ OK を押す

➡［自動取得］画面が表示されます。

2 ［プロトコル選択］▶ OK ▶［OFF］▶ OK を押す

3 ［Auto IP］▶ OK ▶［OFF］▶ OK を押す

4 ［<確定>］▶ OK を押す

➡［IP アドレス設定］画面が表示されます。

5 ［手動取得］▶ OK を押す

➡IP アドレスの入力画面が表示されます。

6 IP アドレスを入力し、OK を押す

7 サブネットマスクを入力し、OK を押す

8 ゲートウェイアドレスを入力し、OK を押す

■IP アドレスを自動的に割り当てる場合

1 ［自動取得］▶ OK を押す

➠［自動取得］画面が表示されます。

2 必要に応じて、自動取得の設定をする

［プロトコル選択］

通常は［DHCP］に設定します。ただし、DHCP が使用できない環境で［DHCP］を設定すると、ネットワーク内で自動取得の確認を続けるため、不要な通信が発生します。DHCP を使用しない場合は、［OFF］に設定します

［Auto IP］

通常は［ON］に設定します。DHCP で取得された IP アドレスが優先されますが、DHCP から応答がない場合などに Auto IP が使用されます。

3 ［<確定>］▶ OK を押す

4 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➠設定が反映されます。
IPv4 アドレスが適切に設定されているか確認するために、接続テストをします。 **ネットワーク内の機器に接続できるか確認する(P. 69)**



現在設定されている IP アドレスを確認する

- 手順 3 の画面で［設定確認］▶ OK を押すと、現在の IP アドレスの設定を確認できます。IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、適切に設定されていません。

プリンタードライバーのインストール後に IP アドレスを変更した場合

- 新しいポートを追加する必要があります。 **プリンターポートを設定する（Windows のみ）(P. 109)**
使用しているポートがわからない場合は、以下を参照してください。
プリンターポートを確認する(P. 369)
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

IPv6 アドレスを設定する

EALA-01E

IPv6 環境では、以下の複数の IPv6 アドレスを設定して同時に使用することができます。

- **リンクローカルアドレス**
  同一リンク内のみ使用できるアドレスです。ルーターを越える範囲の通信には使用できません。
  IPv6 アドレスの使用を有効にすると、自動的に設定されます。
- **ステートレスアドレス**
  ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。
  本機の再起動または電源 ON 時に破棄されます。
- **手動アドレス**
  IP アドレス／プレフィックス長／デフォルトルーターアドレスを、手動で入力するアドレスです。
- **ステートフルアドレス**
  DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得するアドレスです。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、一部の項目は操作パネルでは設定できません。**［IPv6 設定］(P. 221)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 本機に IPv4 アドレスを設定します。**IPv4 アドレスを設定する(P. 53)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［IPv6 設定］▶［編集］をクリックする

➡［IPv6 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［IP アドレス設定］で、［IPv6 を使用する］にチェックマークを付ける

5 使用する IPv6 アドレスを設定する

■ステートレスアドレスを使用する場合

［ステートレスアドレスを使用する］にチェックマークを付けます。

■手動アドレスを使用する場合

［手動アドレスを使用する］にチェックマークを付け、IP アドレス／プレフィックス長／デフォルトルーターアドレスを入力します。

※マルチキャストアドレス（「ff」で始まるアドレス）は入力できません。

■ステートフルアドレスを使用する場合

［DHCPv6 を使用する］にチェックマークを付けます。

6 ［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➡ 設定が反映されます。

IPv6 アドレスが適切に設定されているか確認するために、接続テストをします。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 69)**

MEMO

プリンタードライバーのインストール後に IP アドレスを変更した場合

- 新しいポートを追加する必要があります。 **ポートを追加する(P. 109)**

使用するネットワーク環境に合わせる

EALA-01F

ネットワークの規模や形態は、目的／用途によってさまざまです。本機は多くの環境に適合するよう、多様な技術を採り入れています。
必要に応じて、使用するネットワーク環境に合わせて設定します。

Ethernet を手動で設定する(P. 58)
DNS を設定する(P. 59)
SMB を設定する(P. 62)
WINS を設定する(P. 63)
SNMP を設定する(P. 64)
SNTP を設定する(P. 67)

■関連項目

不正アクセスや盗聴などの脅威を低減するため、ネットワーク環境に合わせてセキュリティーに関する設定を行うことをおすすめします。
ネットワークの保護(P. 154)



IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境での利用

- IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境に本機を接続する場合は、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 162)**

Ethernet を手動で設定する

EALA-01H

有線 LAN に接続した場合、初期設定では、Ethernet の通信方式や種類が自動検出されるため、そのまま使用できます。使用環境によっては、周辺機器の設定などに合わせて、Ethernet の設定を変更する必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。［Ethernet ドライバー設定］(P. 214)
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［Ethernet ドライバー設定］▶［編集］をクリックする

➠［Ethernet ドライバー設定の編集］画面が表示されます。

4 ［自動検出する］のチェックマークを外す

5 通信方式を選択する

通常は［全二重］を選択します。接続するルーターが半二重通信に設定されている場合は、［半二重］を選択します。

6 Ethernet の種類を選択し、［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➠設定が反映されます。

DNS を設定する

EALA-01J

DNS（Domain Name System）を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS サーバーの情報や DHCP オプションを設定します。
DNS を導入していない場合でも、mDNS（multicast DNS）を設定することで、DNS の機能を使用できます。mDNS は Bonjour などで使用されています。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、一部の項目は操作パネルでは設定できません。**［TCP/IP 設定］(P. 219)**
管理者権限が必要です。設定する項目によっては、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- IPv6 の DNS を設定する場合は、IPv6 アドレスを使用するように設定します。**IPv6 アドレスを設定する(P. 55)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［IPv4 設定］または［IPv6 設定］▶［編集］をクリックする

➡［IPv4 設定の編集］画面または［IPv6 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［DHCP オプション設定］で、DHCP オプションの設定をする

DHCP オプションを設定しない場合は、手順 5 に進みます。

有効にする項目にチェックマークを付けます。

［ホスト名を取得する］（IPv4 のみ）
DHCP サーバーからホスト名（オプション 12）を取得します。

［DNS の動的更新をする］（IPv4 のみ）
本機に代わって DHCP サーバーがホスト名の対応付けの情報（オプション 81）を自動更新します。

［DNS サーバーアドレスを取得する］
DHCP サーバーから DNS サーバーアドレス（IPv4 はオプション 6／IPv6 はオプション 23）を取得します。

［ドメイン名を取得する］
DHCP サーバーからドメイン名（IPv4 はオプション 15／IPv6 はオプション 24）を取得します。

［WINS サーバーアドレスを取得する］（IPv4 のみ）
DHCP サーバーから WINS サーバーアドレス（オプション 44）を取得します。

5 [DNS 設定]で、DNS サーバーの情報を設定する

- 設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。パソコンの設定を参考にすることもできます。**パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 367)**
- DNS サーバーの情報を設定しない場合は、手順 6 に進みます。

[プライマリー DNS サーバーアドレス]
DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
※IPv6 の場合は、マルチキャストアドレス(「ff」で始まるアドレス)は入力できません。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]
セカンダリー DNS サーバーを使用している場合は、その IP アドレスを入力します。
※IPv6 の場合は、マルチキャストアドレス(「ff」で始まるアドレス)は入力できません。

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する](IPv6 のみ)
IPv4 で設定したホスト名とドメイン名を IPv6 でも使用する場合は、チェックマークを付けます。
IPv6 のホスト名とドメイン名を個別に設定する場合は、チェックマークを外し、[ホスト名]と[ドメイン名]を入力します。

[ホスト名]
DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]
本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します。
入力例:
example.com

[DNS の動的更新をする]
DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新する場合は、チェックマークを付けます。

DNS サーバーに登録したいアドレスの種類を指定する場合(IPv6 のみ)

登録したいアドレスの種類に応じて、[手動アドレスを登録する]/[ステートフルアドレスを登録する]/[ステートレスアドレスを登録する]にチェックマークを付けます。

更新間隔を指定する場合

[DNS の動的更新間隔]に、自動更新する間隔を入力します。

6 [mDNS 設定]で、mDNS の設定をする

mDNS を設定しない場合は、手順 7 に進みます。

IPv4 の場合

mDNS を使用する場合は、[mDNS を使用する]にチェックマークを付け、mDNS 名を入力します。

IPv6 の場合

mDNS を使用する場合は、[mDNS を使用する]にチェックマークを付け、IPv4 と同じ mDNS 名を使用するかどうかを設定します。

- IPv4 で設定した mDNS 名を IPv6 でも使用する場合は、[IPv4 と同じ mDNS 名を使用する]にチェックマークを付けます。

- IPv6 の mDNS 名を個別に設定する場合は、［IPv4 と同じ mDNS 名を使用する］のチェックマークを外し、mDNS 名を入力します。

7 **［OK］をクリックする**

8 **本機を再起動する 再起動する(P. 78)**

➡ 設定が反映されます。

SMB を設定する

EALA-01K

本機をネットワークの共有プリンターにする場合に、通信プロトコルの SMB を使用します。ネットワーク環境によっては、本機のコンピューター名とワークグループ名を設定する必要があります。

コンピューター名とワークグループ名を設定する

ネットワーク上で本機を識別するための名前であるコンピューター名と、本機が所属するワークグループ名を設定します。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［コンピューター名/ワークグループ名設定］▶［編集］をクリックする

➠［コンピューター名/ワークグループ名設定の編集］画面が表示されます。

4 本機のコンピューター名とワークグループ名を入力し、［OK］をクリックする

半角英数字で入力します。

■WINS を導入している環境の場合

- ［NetBIOS を使用する］にチェックマークを付けます。
- アスタリスク（*）で始まる名前は WINS サーバーに登録できません。

5 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➠設定が反映されます。

WINS を設定する

EALA-01L

NetBIOS と TCP/IP を併用しているネットワーク環境で使用する場合は、NetBIOS 名を IP アドレスに変換する WINS（Windows Internet Name Service）を設定します。
WINS を使用するには、WINS サーバーを指定します。IPv6 環境では使用できません。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［WINS 設定］(P. 223)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- コンピューター名とワークグループ名を設定します。 **コンピューター名とワークグループ名を設定する(P. 62)**
- WINS サーバーの IPv4 アドレスを手元に用意します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 185)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 187)**

3 ［ネットワーク設定］▶［WINS 設定］▶［編集］をクリックする

➠［WINS 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［WINS による名前解決する］にチェックマークを付ける

5 WINS サーバーの IPv4 アドレスを入力し、［OK］をクリックする

DHCP サーバーから WINS サーバーの IPv4 アドレスを取得した場合は、取得したアドレスが優先されます。 **DNS を設定する(P. 59)**

6 本機を再起動する **再起動する(P. 78)**

➠設定が反映されます。

SNMP を設定する

EALA-01R

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、MIB と呼ばれる管理情報データベースにアクセスして、ネットワーク上の通信機器を監視／制御するためのプロトコルです。本機の使用目的や環境に合わせて設定します。
本機は SNMPv1 と SNMPv3 に対応しています。両方を併用することもできます。Trap 通知には対応していません。
SNMP 管理ソフトウェアを導入している環境の場合は、そのソフトウェアを使用してパソコンから本機の設定／監視／制御ができます。詳細については、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

SNMPv1
コミュニティー名と呼ばれる情報で通信範囲を決定します。コミュニティー名は平文でネットワークに送信されるため、セキュリティー面では脆弱です。セキュリティーを優先する場合は、SNMPv1 を無効にして SNMPv3 を使用します。SNMPv1 を無効にすると、プリンタードライバーによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

SNMPv3
SNMPv3 用のユーザー情報を使用して通信します。ユーザー情報には、認証や暗号化の設定ができるため、強固なセキュリティー体制でネットワーク上の通信機器を監視／制御できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、SNMPv1/SNMPv3 の使用を有効にするかどうかのみです。**［SNMP 設定］(P. 212)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- SNMPv3 の設定をする場合は、TLS を有効にします。**TLS を使用する(P. 160)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［SNMP 設定］▶［編集］をクリックする

➠［SNMP 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［SNMPv1 設定］で、SNMPv1 の設定をする

■SNMPv1 を使用する場合

1 ［SNMPv1 を使用する］にチェックマークを付ける

2 コミュニティーの設定をする

- コミュニティーごとに、MIB アクセス権限（MIB のオブジェクトへの読み込み／書き込みの権限）を設定できます。

- SNMPv1 と SNMPv3 を併用する場合は、MIB アクセス権限を［読込のみ］に設定することをおすすめします。SNMPv1 で［読込/書込］（フルアクセス権限）を設定するとほぼすべての操作が可能となるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティー機能を有効利用できなくなります。

コミュニティー名の設定をする場合

［コミュニティー名 1 を使用する］または［コミュニティー名 2 を使用する］にチェックマークを付け、コミュニティー名と MIB アクセス権限を設定します。
コミュニティー名は半角英数字で入力します。

専用コミュニティーの設定をする場合

専用コミュニティーとは、キヤノンのデバイス管理ソフトウェア用に用意されたコミュニティーです。
専用コミュニティーを使用する場合は、［専用コミュニティーを使用する］にチェックマークを付け、MIB アクセス権限を設定します。
※詳細については、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

■SNMPv1 を使用しない場合

［SNMPv1 を使用する］のチェックマークを外します。

5 ［SNMPv3 設定］で、SNMPv3 を設定する

■SNMPv3 を使用する場合

1. ［SNMPv3 を使用する］にチェックマークを付ける
2. ［ユーザー設定 1］／［ユーザー設定 2］／［ユーザー設定 3］で、［このユーザーを有効にする］にチェックマークを付ける
3. ユーザーの設定をする

［ユーザー名 ］

ユーザー名を半角英数字で入力します。

［MIB アクセス権限 ］

指定したユーザーごとに、MIB のオブジェクトへの読み込み／書き込みの権限を設定します。
読み込み／書き込みの両方を許可する場合は、［読込/書込］を選択します。

［セキュリティー設定 ］

認証と暗号化の有無の組み合わせを選択します。

［認証アルゴリズム ］

［セキュリティー設定 ］で、［認証あり/暗号化あり］／［認証あり/暗号化なし］を選択した場合は、使用環境に合わせて認証アルゴリズムを選択します。
パスワードを設定する場合は［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、［認証パスワード ］と［確認入力 ］の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

［暗号化アルゴリズム ］

［セキュリティー設定 ］で、［認証あり/暗号化あり］を選択した場合は、使用環境に合わせて暗号化アルゴリズムを選択します。
パスワードを設定する場合は［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、［暗号化パスワード ］と［確認入力 ］の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

■SNMPv3 を使用しない場合

［SNMPv3 を使用する］のチェックマークを外します。

6 ［プリンター管理情報取得設定］で、情報を取得するか設定する

プロトコルやポートなど、本機のプリンター管理情報を定期的に取得する場合は、［ホストからプリンター管理情報を取得する］にチェックマークを付けます。

7 ［OK］をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➡設定が反映されます。

MEMO

ポート番号を変更する

- SNMP のポート番号を変更したい場合は、以下を参照してください。
  ポート番号を変更する(P. 158)

SNTP を設定する

EALA-01S

ネットワーク上のタイムサーバーから時刻情報を取得する場合は、SNTP（Simple Network Time Protocol）を設定します。SNTP を設定すると、一定間隔でタイムサーバーを確認して時刻を調整するため、本機の時刻を正確に保つことができます。本機は、NTP サーバー（NTPv3）と SNTP サーバー（SNTPv3 および v4）の両方に対応しています。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 協定世界時（UTC）を基準に時刻を調整するため、タイムゾーンを設定します。 **日付／時刻を設定する(P. 183)**
- NTP/SNTP サーバーの IP アドレスを手元に用意します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］ ［SNTP 設定］ ［編集］をクリックする

➡［SNTP 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［SNTP を使用する］にチェックマークを付ける

5 ［NTP サーバー名 ］に、NTP/SNTP サーバーの IP アドレスを入力する

DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスの代わりにホスト名または FQDN を入力することもできます。

入力例：
ntp.example.com

6 ［ポーリング間隔 ］に、サーバーを確認して時刻を調整する間隔を入力する

7 ［OK］をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

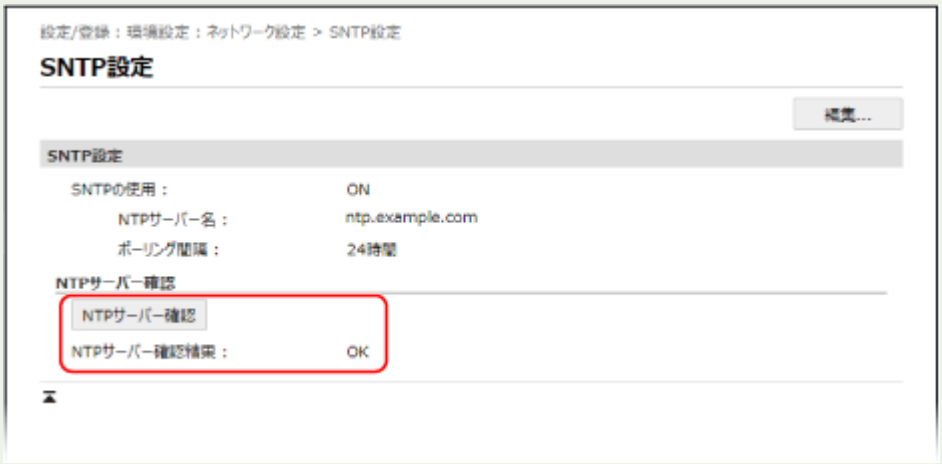
➡設定が反映されます。

MEMO

NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認する

- 以下の手順で確認します。正しく通信できている場合は、［NTP サーバー確認結果 ］に［OK］と表示されます。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ネットワーク設定］ ▶ ［SNTP 設定］ ▶ ［NTP サーバー確認］ をクリック



※通信状況を確認するのみで、時刻は調整されません。

ネットワークの接続状況や設定を確認する

EALA-01W

ネットワークに適切に接続されているか確認するために、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをします。
リモート UI を使用する場合や、ファイアウォールを設定する場合などは、本機の IP アドレスや MAC アドレスの情報が必要です。これらの現在の設定内容を確認します。

ネットワーク内の機器に接続できるか確認する(P. 69)
本機の IP アドレスを確認する(P. 70)
有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 70)
Wi-Fi の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 71)

MEMO

- IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、適切に設定されていません。IP アドレスを設定しなおします。
  IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
  IPv6 アドレスを設定する(P. 55)
- IP アドレスが適切に設定されていても、本機をスイッチングハブなどに接続していると、ネットワークに接続できないことがあります。その場合は、通信開始までの待機時間を設定して接続しなおします。**［起動時の接続待機時間］(P. 214)**
- 管理者データリストをプリントして、ネットワークの設定内容を確認することもできます。**レポート／リストをプリントして確認する(P. 193)**

ネットワーク内の機器に接続できるか確認する

ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。**リモート UI を起動する(P. 185)**

IPv4 アドレスの場合は、以下の手順で操作パネルから PING コマンドを実行して、ネットワーク内の機器に接続できるか確認することもできます。

必要な準備

- 接続するネットワーク内の機器の IPv4 アドレスを手元に用意します。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す****［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［TCP/IP 設定］▶ OK ▶［IPv4 設定］▶ OK ▶［PING コマンド］▶ OK を押す**

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。**管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 **ネットワーク内の機器の IPv4 アドレスを入力し、OK を押す**

➠ 正しく接続できた場合は、［ホストから応答がありました。］と表示されます。

本機の IP アドレスを確認する

本機の IPv4/IPv6 アドレスなどの設定内容を確認します。

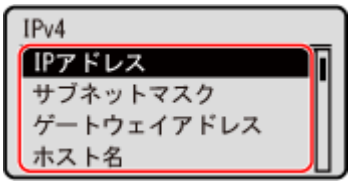
ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［状況確認］▶ OK を押す** **［ホーム］画面(P. 84)**

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 **［ネットワーク情報］▶ OK ▶［IPv4］または［IPv6］▶ OK を押す**

3 **設定を確認し、 OK を押す**



有線 LAN の MAC アドレスを確認する

有線 LAN 接続時の本機の MAC アドレスを確認します。

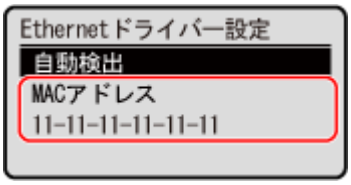
ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
管理者権限が必要です。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す** **［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［Ethernet ドライバー設定］▶ OK を押す**

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 **MAC アドレスを確認する**



Wi-Fi の MAC アドレスや接続情報を確認する

Wi-Fi 接続時の本機の MAC アドレスや接続情報のほか、セキュリティーに関する設定なども確認できます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［環境設定］▶ OK ▶ ［ネットワーク］▶ OK ▶ ［Wi-Fi 設定］▶ OK を押す

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 ［接続設定］▶ OK ▶ ［接続情報］▶ OK を押す

4 MAC アドレスや設定内容を確認する

- ［最新のエラー情報］を押すと、Wi-Fi 接続に関するエラー情報が表示されます。
- ［セキュリティー設定］を押すと、暗号化方式や暗号化キーが表示されます。

MEMO

［状況確認］画面から確認する

- Wi-Fi の状態と最新のエラー情報は、以下の手順で確認することもできます。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［状況確認］▶ OK ▶ ［ネットワーク情報］▶ OK ▶ ［ネットワーク接続方式］▶ OK ▶ ［接続情報］▶ OK

パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール

EALA-01X

本機の機能を使用するパソコンに、関連ソフトウェアや各種ドライバーをインストールします。

インストール方法

キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトで動作環境などを確認の上、最新版のソフトウェア／ドライバーをダウンロードしてインストールします。
https://canon.jp/download/

※CD/DVD-ROM が付属する場合は、CD/DVD-ROM を使用してインストールすることもできます。

インストール方法の詳細については、オンラインマニュアルサイトでソフトウェア／ドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

注意／制限事項

動作環境について

- OS によっては、一部対応していないソフトウェア／ドライバーがあります。最新の OS の対応状況については、キヤノンホームページで確認できます。
  https://canon.jp/download/
- 機種や使用環境によっては、ソフトウェア／ドライバーの一部の機能が使用できないことがあります。

本機のファイアウォールが設定されている場合

本機を使用するパソコンは、本機との通信が許可されている必要があります。通信が許可されていないパソコンの場合は、ソフトウェア／ドライバーをインストールすることや、本機の機能を使用することができません。 **ファイアウォールを設定する(P. 155)**

プリンタードライバーのインストール後に本機の IP アドレスが変更された場合

- 新しいポートを追加する必要があります。 **プリンターポートを設定する（Windows のみ）(P. 109)**
  使用しているポートがわからない場合は、以下を参照してください。
  プリンターポートを確認する(P. 369)
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

MEMO

ソフトウェア／ドライバーをインストールせずに本機の機能を使用する（macOS のみ）

- macOS に標準搭載されている AirPrint 機能を使用して、ソフトウェアやドライバーをインストールせずに、パソコンからプリントすることもできます。 **AirPrint を使用してプリントする(P. 145)**

基本操作

基本操作 74
電源を入れる／切る 75
電源を入れる 76
電源を切る 77
再起動する 78
消費電力を抑える - スリープモード 79
操作パネルの使用方法 81
操作パネルに表示される画面 82
［ホーム］画面 84
［状況確認］画面 85
操作パネルの操作方法 87
文字を入力する 89
ログイン方法 90
用紙のセット方法 91
給紙カセットに用紙をセットする 92
封筒をセットする準備と向き 94
はがきをセットする向き 96
ロゴ入り用紙をセットする向き 98
用紙サイズと用紙種類の設定 100
給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する 101
定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 103
使用しない用紙サイズを非表示にする 104

基本操作

EALA-01Y

本機を使用するときの基本となる、各機能に共通する操作や画面の見かたについて説明します。

電源の管理／節電

節電や清掃のために電源を切ったり、設定の反映のために再起動したりします。
消費電力を抑えるスリープモードも利用できます。

電源を入れる／切る(P. 75)
消費電力を抑える - スリープモード(P. 79)

操作パネルの操作

モバイル機器と接続する場合や、本機の設定を変更する場合は、操作パネルを使用して実行／設定します。

操作パネルの使用方法(P. 81)

ログイン画面が表示された場合は、操作を続けるために、必要な情報を入力してログインします。

ログイン方法(P. 90)

用紙のセット

プリントで使用する用紙は、用途に応じて給紙カセットにセットします。

用紙のセット方法(P. 91)

電源を入れる／切る

EALA-020

本機の電源は、電源スイッチを使用して手動で操作します。
本機を使用しない曜日／時刻に合わせて、自動的に電源を切ることもできます。

電源を入れる(P. 76)
電源を切る(P. 77)
再起動する(P. 78)

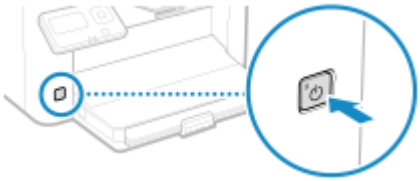
電源を入れる

EALA-021

本機の電源を入れる場合は、本機前面にある電源スイッチを押します。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

2 電源スイッチを押す



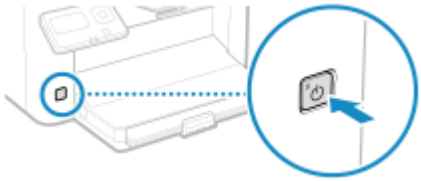
➠ 操作パネルに起動画面が表示されます。

電源を切る

EALA-022

本機の電源を切る場合は、本機前面にある電源スイッチを押します。
電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

1 電源スイッチを押す



➠操作パネルが消灯し、電源が切れます。
電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。電源が切れるまで、電源プラグを抜かないようにします。

MEMO

再度電源を入れる

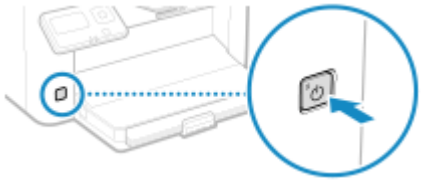
- 電源が切れたあと、10 秒以上経過してから電源を入れなおします。

再起動する

EALA-023

本機の設定を変更した場合は、設定項目によっては変更を反映するために、本機を再起動する必要があります。
操作パネル／リモート UI のどちらで設定を変更した場合も、電源スイッチを使用して、その場で再起動できます。
再起動すると、待機中のプリントデータは消去されます。

1 電源スイッチを押す



➠操作パネルが消灯し、電源が切れます。
電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

2 電源が切れたあと、10 秒以上経過してから電源スイッチを押す

➠本機が起動します。

消費電力を抑える - スリープモード

EALA-024

スリープモードとは、本機内部の動作を一部休止して消費電力を抑える機能です。
手動でスリープモードにすることはできません。操作がない状態で一定時間が経過すると、自動的にスリープモードになります。 **オートスリープの設定をする(P. 79)**
スリープモードのときは、ディスプレーが消灯します。

■スリープモードを解除する

操作パネルのいずれかのキーを押すと解除されます。

■オートスリープの設定をする

操作がない状態で一定時間が経過したときや、指定した時刻になったときに、自動的にスリープモードにする機能を「オートスリープ」といいます。オートスリープのタイミングを設定できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［タイマー/電力設定］(P. 209)**

1 リモート UI にログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［タイマー設定］▶［編集］をクリックする

➡［タイマー設定の編集］画面が表示されます。

4 オートスリープやスリープモード解除の設定をする

■スリープモードになるまでの時間を設定する場合

［オートスリープ移行時間 ］に時間を入力します。

※効果的な節電のために、初期設定で使用することをおすすめします。 **［オートスリープ移行時間］(P. 210)**

5 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

MEMO

- 本機が以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
  - 操作パネルのデータランプが点灯または点滅している **操作パネル(P. 11)**
  - 操作パネルに［メニュー］画面、紙づまりなどのエラーメッセージ[*1]、ダイレクト接続の SSID やネットワークキー表示画面が表示されている
  - 本機が調整やクリーニングなどで動作している
  - データの処理など、本機が外部機器（パソコンなど）と通信している

[*1] メッセージによっては、スリープモードに移行します。

操作パネルの使用方法

EALA-025

本機の設定を変更する場合や、モバイル機器と接続する場合は、操作パネルを使用して操作します。

おもな操作方法

操作パネルに表示されるボタンや項目、文字の入力方法など、表示内容や操作方法を確認します。

操作パネルに表示される画面(P. 82)
操作パネルの操作方法(P. 87)
文字を入力する(P. 89)



- 液晶パネルは高精度な技術でつくられておりますが、ごくまれに点灯しない画素（ドット抜け）が見られることがあります。これは製品の仕様であり、故障ではありません。

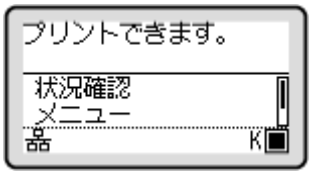
操作パネルに表示される画面

EALA-026

操作パネルを使用するときは、おもに以下の画面が表示されます。

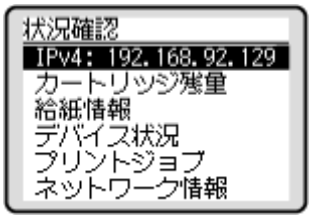
［ホーム］画面

電源を入れて起動画面が終了した直後や、ログインした直後に表示される画面です。 **［ホーム］画面(P. 84)**



［状況確認］画面

操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］▶ OK を押したときに表示される画面です。本機の情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。 **［状況確認］画面(P. 85)**

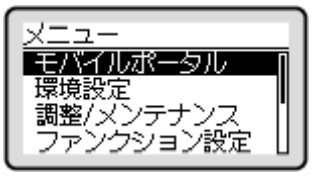


［メニュー］画面

［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押したときに表示される画面です。本機の各種設定を行うことができます。

設定メニュー一覧(P. 205)

管理者 ID が設定されている場合は、一部の項目を選択するとログイン画面が表示されます。管理者 ID と管理者暗証番号を知っているユーザーだけが、ログインしてこれらの設定を変更できます。



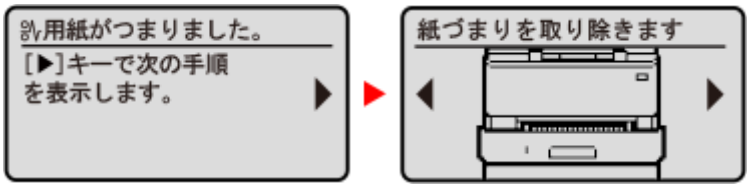
メッセージ表示

エラーが発生した場合や、トナーカートリッジ残量や用紙がなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。
対処方法が表示された場合は、メッセージの指示に従って対処します。
対処方法が表示されない場合は、メッセージや番号から原因や対処方法を確認します。

メッセージが表示された(P. 341)
エラーコードが表示された(P. 352)

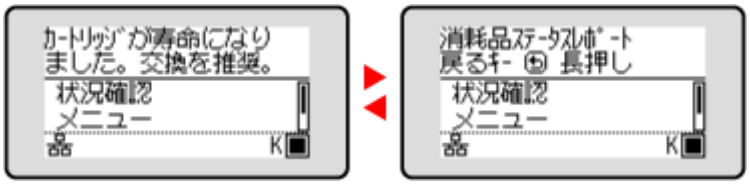
表示例：

- **エラーが発生した場合**



- **メッセージが画面に表示された場合**

  メッセージが長い場合は、表示が一定間隔で交互に切り替わります。



ヘルプ表示

［ホーム］画面で［ヘルプ］▶ OK ▶［マニュアルへの QR コード表示］▶ OK を押すと、QR コードが表示されます。

この QR コードをスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器で読み取ることで、本機のユーザーズガイドにアクセスすることができます。



MEMO

画面の表示を変更する

- 言語や単位、メッセージの表示／非表示など、操作パネルの表示を変更できます。 **［表示設定］(P. 207)**
- 画面の色を反転させたり画面コントラストを調整したりすることで、画面を見やすくすることができます。 **［アクセシビリティー］(P. 227)**

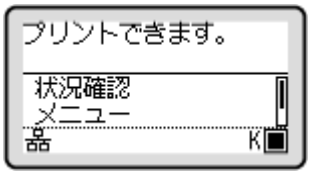
設定を自動的にクリアする

- 初期設定では、操作がない状態で一定時間が経過すると、各画面で設定していた内容がクリアされ、［ホーム］画面が表示されます。クリアされるまでの時間や、クリア後に表示される画面を変更できます。
  ［オートクリア移行時間］(P. 210)

［ホーム］画面

EALA-027

電源を入れて起動画面が表示されたあとに表示される画面です。
画面の上下には、本機の状況に関する項目やメッセージが表示され、必要なときにすぐに確認／操作できます。



■本機の状況に関する項目

[品] ／ [((•))]

有線 LAN に接続しているときは［品］、Wi-Fi に接続しているときは［((•))］が表示されます。

[K■]

トナーカートリッジの残量が表示されます。残量の詳細を確認することもできます。 **消耗品の残量を確認する(P. 273)**

■機能や設定のボタン

[状況確認]

本機の情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。 **［状況確認］画面(P. 85)**

[メニュー]

本機の各種設定を行います。 **設定メニュー一覧(P. 205)**

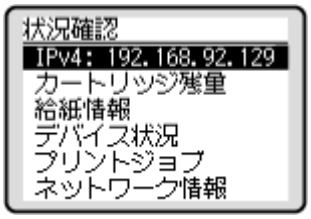
[ヘルプ]

本機のマニュアルにアクセスする QR コードや URL を表示します。 **ヘルプ表示(P. 83)**

［状況確認］画面

EALA-0C7

［ホーム］画面などで、［状況確認］を押したときに表示される画面です。
本機の情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。



［IPv4］
初期設定では、本機の IPv4 アドレスが表示されます。非表示にすることもできます。 **［IP アドレスの表示設定］(P. 208)**

［エラー情報/お知らせ］
本機で発生しているエラーの情報を確認できます。エラーの内容に応じて対処します。
メッセージが表示された(P. 341)
エラーコードが表示された(P. 352)

［カートリッジ残量］
トナーカートリッジの残量を確認できます。
トナーがなくなる前に、他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

［給紙情報］
給紙部ごとの用紙の残量を確認できます。

［デバイス状況］

［カートリッジ型番確認］
トナーカートリッジの型番を確認できます。

［カウンター確認］
プリントを実行した総ページ数を確認できます。 **プリントページ数を確認する - カウンター確認(P. 192)**

［バージョン情報］
本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。

［シリアル No.］
本機のシリアルナンバーが表示されます。

［プリントジョブ］
プリントの処理状況と履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 122)**

［ネットワーク情報］

［IPv4］
IPv4 アドレスなどの設定内容を確認できます。 **IPv4 アドレスを設定する(P. 53)**

［IPv6］
IPv6 アドレスなどの設定内容を確認できます。 **IPv6 アドレスを設定する(P. 55)**

［ネットワーク接続方式］
有線／無線どちらで接続されているかを確認できます。
Wi-Fi で接続されている場合は、通信状況やエラー情報も確認できます。

［ダイレクト接続情報］
ダイレクト接続しているときに接続状態などを確認できます。

［IEEE 802.1X エラー情報］
IEEE 802.1X 認証でエラーが発生しているときにエラーの内容を確認できます。

操作パネルの操作方法

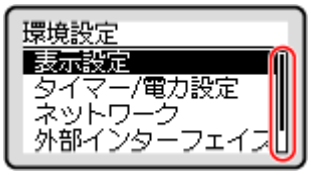
EALA-029

各種機能の設定や設定内容の確認するときは、操作パネルのキーを押して操作します。

画面をスクロールする(P. 87)
次の画面に進む／前の画面に戻る(P. 87)
確定する(P. 87)
スライダーで値を設定する(P. 87)

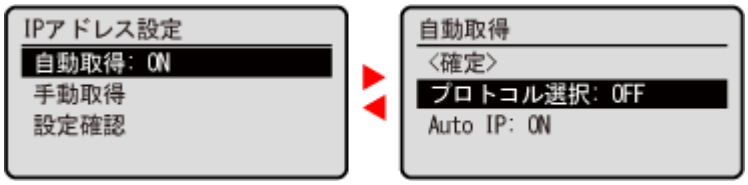
画面をスクロールする

画面にスクロールバーが表示された場合は、画面に表示しきれない項目や情報があることを示しています。▲／▼を押すと、押した方向に画面がスクロールします。現在選択されている項目は反転して表示されます。



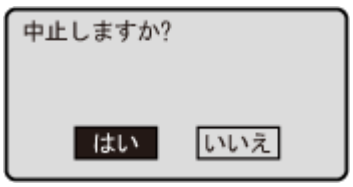
次の画面に進む／前の画面に戻る

次の画面に進むときは、OK または ▶ を押します。前の画面に戻るときは ↩ または ◀ を押します。



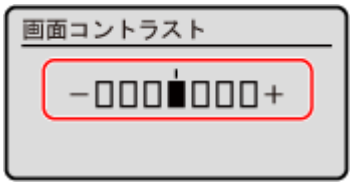
確定する

選択した項目を確定するときは、OK を押します。



スライダーで値を設定する

◀／▶ を押して値を調節します。


画面コントラスト
−+

文字を入力する

EALA-02A

画面上のキーで、入力したい文字や数字を選択し、[OK]を押して入力します。
入力できる文字の種類は、英字／数字／記号です。



文字の種類を切り替える

［入力モード切替］▶[OK]を押し、文字の種類を選択して、[OK]を押します。



カーソルを移動する

画面の［◀］／［▶］を選択し、[OK]を押します。

文字を削除する

画面の［C］▶[OK]を押すと、1文字削除されます。
［◀］／［▶］が表示されない場合に、［C］▶[OK]を押すと、文字がすべて削除されます。

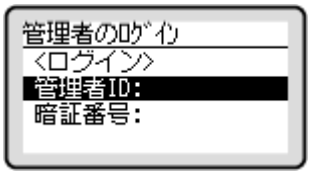
空白を入力する

［スペース］▶[OK]を押します。
文字の最後にカーソルを合わせて、［▶］▶[OK]を押しても、空白が入力されます。

ログイン方法

EALA-02E

管理者 ID を設定している場合は、管理者権限が必要な操作をするときに、ログイン画面が表示されます。認証が成功すると画面が切り替わり、操作を続けることができます。



1 **[管理者 ID] ▶ OK を押す**

2 **管理者 ID を入力し、OK を押す**

3 **[暗証番号] ▶ OK を押す**

管理者暗証番号が設定されていない場合、この手順は不要です。手順 5 に進みます。

4 **管理者暗証番号を入力し、OK を押す**

5 **[<ログイン>] ▶ OK を押す**

➠ 認証が成功すると、[ホーム] 画面などに切り替わります。

用紙のセット方法

EALA-02F

プリント品質を保つために、使用できる用紙や、用紙の取り扱い／保管方法について確認し、適切な用紙を準備します。 **使用可能な用紙(P. 14)** ／ **用紙を取り扱うときの注意事項(P. 18)**

準備した用紙を本機にセットしたら、用紙サイズと用紙種類を設定します。

用紙のセット

用紙は給紙カセットにセットします。

給紙カセットに用紙をセットする(P. 92)

封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。

封筒をセットする準備と向き(P. 94)
はがきをセットする向き(P. 96)
ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 98)

用紙の設定

きれいにプリントしたり、紙づまりを防いだりするために、セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定する必要があります。

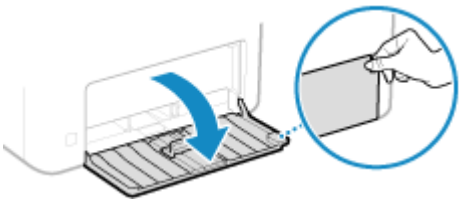
用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)

給紙カセットに用紙をセットする

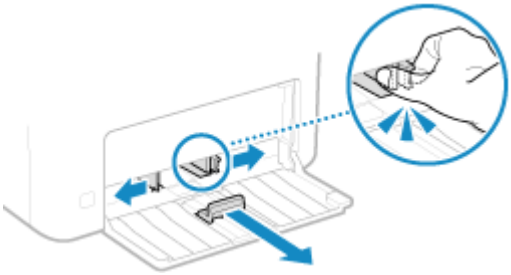
EALA-02H

給紙カセットの用紙ガイドを用紙に合わせることで、正しくセットできます。
封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。
封筒をセットする準備と向き(P. 94)
はがきをセットする向き(P. 96)
ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 98)

1 前カバーを開ける



2 用紙ガイドを外側に広げる



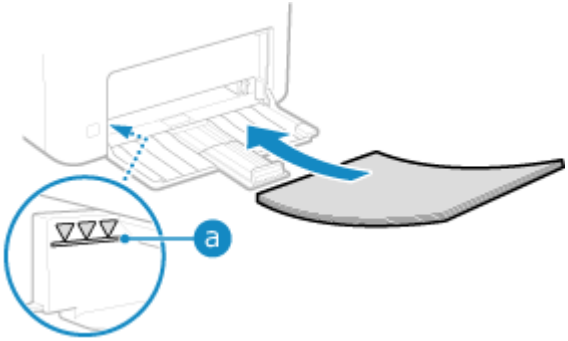
3 用紙をさばいて、端をそろえる



少量ずつよくさばき、平らな場所で数回たたいて端をそろえます。

4 プリント面を上にして、用紙をセットする

➠ 初期設定では、用紙設定の確認画面が表示されます。 **［用紙設定の確認表示］(P. 252)**



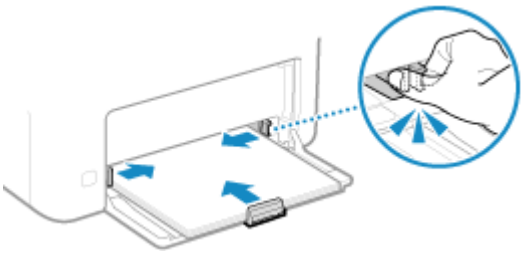
- 給紙カセットの後端に用紙を突き当ててセットします。
- 用紙が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の用紙をセットすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

■プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合（手動両面プリント）

用紙の端を伸ばしてカールを取り、ウラ面（プリントされていない面）を上にしてセットします。

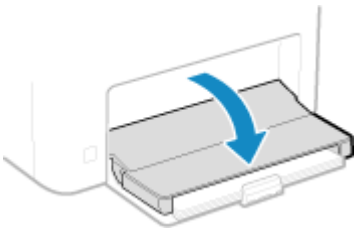
- 本機でプリントした用紙のみ使用できます。
- プリントされている面の上に重ねてプリントすることはできません。
- 薄くプリントされる場合は、画質を調整します。［両面 2 面目］(P. 231)

5 用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる

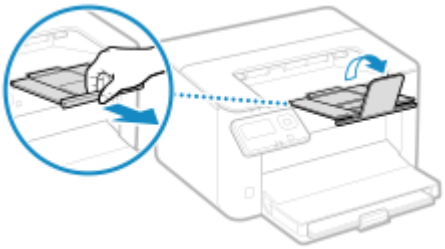


用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

6 用紙カバーを閉める



7 排紙ストッパーを開く



8 用紙サイズと用紙種類を設定する 給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 101)

初期設定では、給紙カセットの用紙サイズと用紙種類は、A4 サイズの普通紙 1 に設定されています。サイズや種類が異なる用紙をセットした場合は、用紙設定を変更します。

封筒をセットする準備と向き

EALA-02K

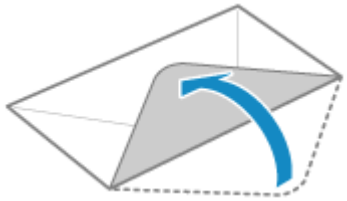
封筒は形状や厚みが普通紙とは異なるため、セットする前に必ず準備作業をします。
封筒はオモテ面（ふたの貼り合わせがない面）のみプリントできます。封筒をセットするときは、封筒の向きと面に注意します。

封筒をセットする前の準備(P. 94)
封筒の向き(P. 95)

封筒をセットする前の準備

セットする封筒の枚数にかかわらず、形状を整える作業を行います。

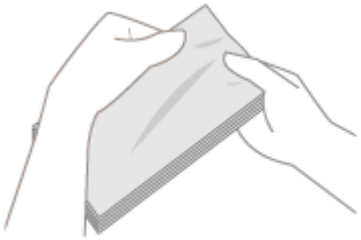
1 封筒のふたを閉じる



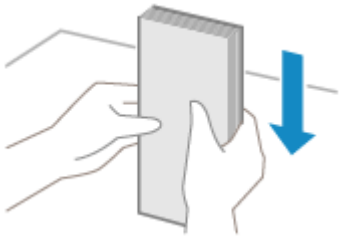
2 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと付け、平らにならす



3 四隅の固い部分をほぐすようにして、カールを取る



4 平らな場所で封筒の端をそろえる



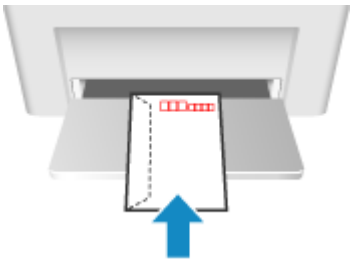
➠封筒をセットする前の準備ができました。

封筒の向き

オモテ面（ふたの貼り合わせがない面）を上にして、封筒の短辺から差し込みます。
ふたの向きと開閉の状態は、封筒のサイズによって異なります。
プリントする向きは、プリンタードライバーの［印刷の向き］で設定できます。詳しくは、［印刷設定］画面の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを参照してください。

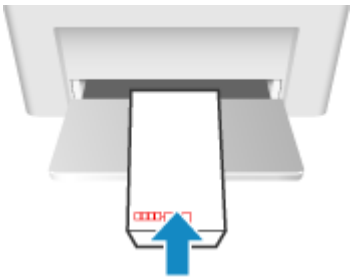
洋形長 3 号

封筒のふたを左側にして、閉じた状態で差し込みます。



長形 3 号／長形 4 号／長形 40 号

封筒のふたを手前にして、開いた状態で差し込みます。



はがきをセットする向き

EALA-02L

プリントする面を上にして、はがきの短辺から給紙カセットに差し込みます。差し込むときのはがきの向きは、はがきの種類によって異なります。
はがきの両面にプリントしたい場合は、片面をプリントしてからセットしなおし、反対面をプリントします（手動両面プリント）。

重要

カールを取ってからセットする

- カールしたはがきを使用すると、斜めにプリントされたり、画像がゆがんでプリントされたりすることがあります。

MEMO

- はがきをセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
  給紙カセットに用紙をセットする(P. 92)

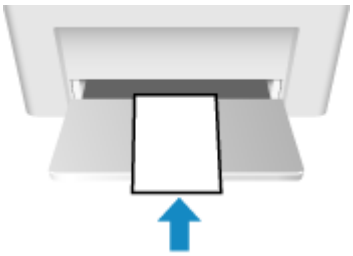
通常はがき

プリントする面（宛名面または通信面）を上にして、はがきの上端から差し込みます。

宛名面にプリントする場合



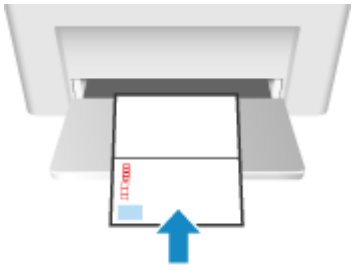
通信面にプリントする場合



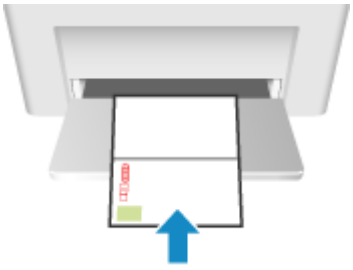
往復はがき

プリントする面（往信面または返信面）を上にして、はがきを広げて上端を左側にした状態で差し込みます。

往信面にプリントする場合



返信面にプリントする場合

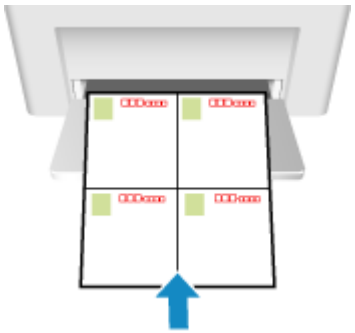


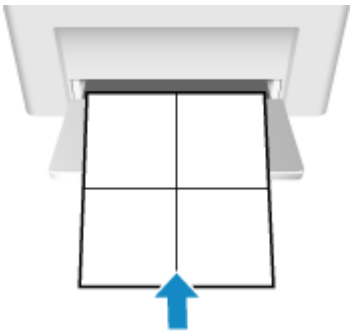
4 面はがき

プリントする面（宛名面または通信面）を上にして、はがきの上端から差し込みます。

宛名面にプリントする場合

通信面にプリントする場合





ロゴ入り用紙をセットする向き

EALA-02R

ロゴなどが入った用紙をセットするときは、用紙の向きと面に注意します。
初期設定では、片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面が異なります。

ロゴ入り用紙に片面プリントする場合(P. 98)
ロゴ入り用紙に両面プリントする場合(P. 98)

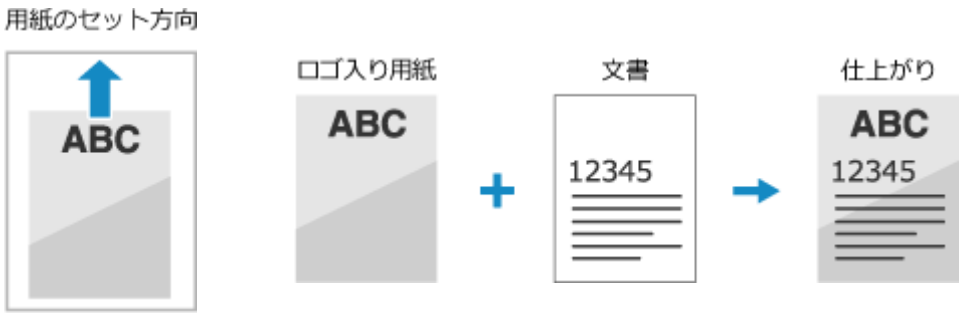
MEMO

- 用紙をセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
  給紙カセットに用紙をセットする(P. 92)
- 片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面を変更しなくてもよいように設定できます。この設定にしている場合は、常に両面プリントの方法で用紙をセットします。 **［給紙方法切替］(P. 239)**

ロゴ入り用紙に片面プリントする場合

ロゴ入りの面（プリントする面）を上にしてセットします。

タテ向きのロゴ入り用紙



ヨコ向きのロゴ入り用紙



ロゴ入り用紙に両面プリントする場合

ロゴ入りの面（1 ページ目をプリントする面）を下にしてセットします。

タテ向きのロゴ入り用紙



ヨコ向きのロゴ入り用紙



用紙サイズと用紙種類の設定

EALA-02S

きれいにプリントしたり、紙づまりを防いだりするために、セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定する必要があります。
よく使用する用紙を登録したり、不要な用紙を非表示にしたりして、用紙の設定を簡略化することもできます。

用紙をセットしたあとに必要な設定

セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。

給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 101)

用紙の設定の簡略化

用紙サイズを登録／設定しておくと、設定がスムーズになります。

定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙(P. 103)
使用しない用紙サイズを非表示にする(P. 104)

給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する

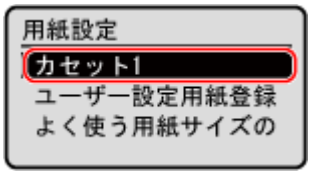
EALA-02U

初期設定では、給紙カセットの用紙サイズと用紙種類は、A4 サイズの普通紙 1 に設定されています。サイズや種類が異なる用紙をセットした場合は、用紙設定を変更します。

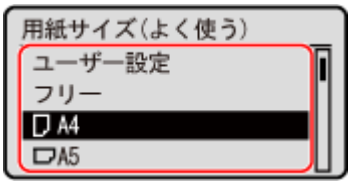
ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［用紙設定］▶ OK ▶ ［カセット 1］▶ OK を押す



3 給紙カセットにセットした用紙のサイズを選択し、OK を押す



aaaa

- 画面をスクロールすると、画面に表示しきれない用紙サイズを確認できます。
- ［フリー］に設定しておくと、セットする用紙をひんぱんに変更する場合に、設定を変更する手間が省けます。プリンタードライバー側で設定した用紙サイズと、セットされている用紙のサイズが大きく異なる場合にエラーメッセージを表示させることもできます。 **［ﾌﾘｰ用紙ｻｲｽﾞ不一致時の動作］(P. 242)**

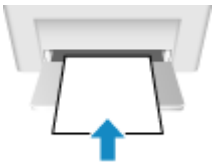
■A5 サイズの用紙をセットした場合

ヨコ置きでセットした場合は［A5］を、タテ置きでセットした場合は［A5R］を選択します。

ヨコ置き（A5）



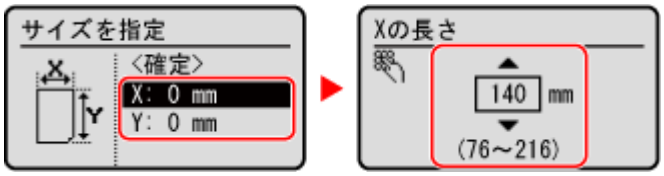
タテ置き（A5R）



■定形外サイズの用紙（ユーザー設定用紙）をセットした場合

1 ［ユーザー設定］▶ OK を押す

2 ［X］▶ OK ▶ ［X］辺の長さを入力し、OK を押す



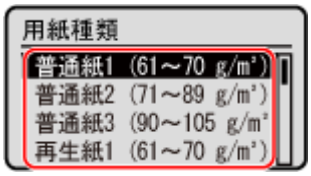
3 ［Y］辺の長さを同様に入力する

4 ［<確定>］▶ OK を押す

■セットした用紙のサイズが表示されない場合

［<その他のサイズ>］▶ OK を押し、表示された一覧から用紙サイズを選択します。

4 給紙カセットにセットした用紙の種類を選択し、OK を押す



［フリー］に設定しておくと、セットする用紙をひんぱんに変更する場合に、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙種類と、実際にセットされた用紙種類が異なっていても印刷が行われるため、注意が必要です。プリンタードライバーで設定した用紙種類が［自動］の場合は、［普通紙 1］として動作します。

➠用紙サイズと用紙種類が設定されます。

MEMO

- 手順 3 の画面に表示される用紙サイズは変更することができます。**使用しない用紙サイズを非表示にする (P. 104)**

定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙

EALA-02Y

ユーザー設定用紙とは、本機が対応している範囲内で、自由に辺の長さを定義できる定形外サイズの用紙のことです。
特定の定形外サイズの用紙をよく使用する場合は、サイズを登録しておきます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。
ユーザー設定用紙は 3 つまで登録できます。

ここでは、操作パネルを使用して登録する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して登録することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］ ▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

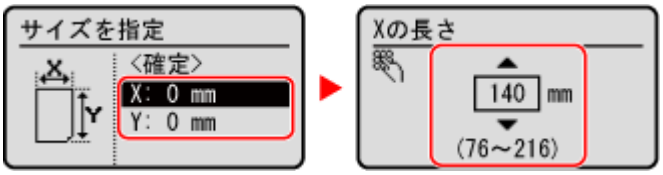
2 ［用紙設定］ ▶ OK ▶ ［ユーザー設定用紙登録］ ▶ OK を押す

➠［ユーザー設定用紙登録］画面が表示されます。

3 登録する番号を選択し、 OK を押す

サイズを登録済みの番号を選択した場合は、続けて［編集］ ▶ OK を押します。

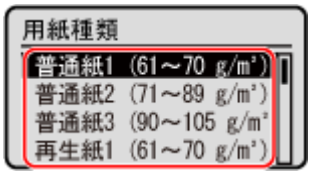
4 ［X］ ▶ OK ▶ ［X］辺の長さを入力し、 OK を押す



5 ［Y］辺の長さを同様に入力する

6 ［<確定>］ ▶ OK を押す

7 登録する用紙種類を選択し、 OK を押す



［フリー］に設定しておくと、セットする用紙をひんぱんに変更する場合に、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙種類と、実際にセットされた用紙種類が異なっていても印刷が行われるため、注意が必要です。プリンタードライバーで設定した用紙種類が［自動］の場合は、［普通紙 1］として動作します。

➠ユーザー設定用紙が登録されます。

使用しない用紙サイズを非表示にする

EALA-030

用紙設定時の画面には、「よく使う用紙サイズ」として設定されている用紙サイズが表示されます。使用しない用紙サイズが表示されている場合は、それらを非表示にすることで、用紙サイズを選択しやすくします。
非表示にした用紙サイズは、用紙設定時の画面で［<その他のサイズ>］を押すと、選択できます。

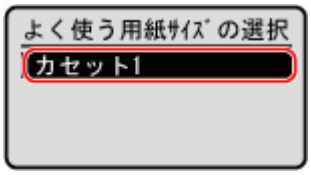
この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)**

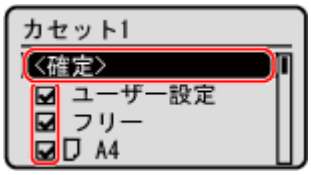
2 **［用紙設定］▶ OK ▶［よく使う用紙サイズの選択］▶ OK を押す**

➠［よく使う用紙ｻｲｽﾞの選択］画面が表示されます。

3 **対象の給紙部を選択し、OK を押す**



4 **非表示にする用紙サイズのチェックマークを外し、［<確定>］▶ OK を押す**



➠チェックマークを外した用紙サイズは、用紙設定時の画面に表示されなくなります。

プリントする

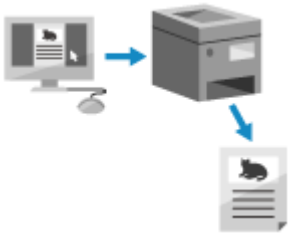
プリントする 106
プリントの準備 107
パソコンからプリントするための準備 108
プリンターポートを設定する（Windows のみ） 109
プリントサーバーを利用するための準備 112
パソコンからプリントする 115
パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 118
プリントを中止する 120
プリント状況や履歴を確認する 122

プリントする

EALA-036

パソコンから文書や写真をプリントできます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能一覧(P. 3)**

パソコンからプリントする



パソコンにインストールされたプリンタードライバーを介して、文書や写真を本機でプリントします。
パソコンからプリントするための準備(P. 108)
パソコンからプリントする(P. 115)

プリントサーバーを用意する

ネットワーク上にプリントサーバーを用意しておくと、プリント時にかかる各パソコンへの負荷を軽減できます。また、Windows の場合は、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールできるようになるため、各パソコンでプリンタードライバーをダウンロードしたり CD/DVD-ROM を用意したりする手間も省けます。
プリントサーバーを利用するための準備(P. 112)

OS の標準機能やクラウドサービスでプリント

専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、プリントできます。

Windows

Microsoft のクラウドサービスである「Universal Print」を利用してプリントできます。インターネットに接続されていれば、離れた場所からでもプリントできます。
Universal Print を使用するための準備(P. 129)
Universal Print を使用してプリントする(P. 144)

macOS

AirPrint を使用してプリントできます。 **AirPrint を使用してプリントする(P. 145)**

Chrome OS

OS 標準のプリント機能を使用します。 **Chrome OS からプリントする(P. 149)**

■関連項目

モバイル機器からプリントする

本機は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からも使用できます。本機が対応しているアプリやサービスを介して、モバイル機器から写真や文書を手軽にプリントできます。
モバイル／クラウド連携(P. 124)

期待どおりの結果にならない場合

プリント結果が濃くなったり、薄くなったりする場合に、プリント濃度を調整します。
プリント濃度を調整する(P. 277)

プリントの準備

EALA-037

プリントするときは、プリント方法や使用環境に応じた準備が必要です。

パソコンからプリントするための準備(P. 108)
プリントサーバーを利用するための準備(P. 112)
Universal Print を使用するための準備(P. 129)

パソコンからプリントするための準備

EALA-038

プリントするパソコンごとに、以下の準備をします。

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする(P. 108)

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする

プリントするパソコンに、プリンタードライバーをインストールします。 **パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 72)**

Windows でプリントサーバーを利用する場合

プリントサーバーを介してインストールします。

プリントサーバー内の共有プリンターをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールします。 **プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 364)**

MEMO

ポートの種類や番号を変更する（Windows のみ）

- 本機側で、LPD または RAW が使用できないように設定されている場合や、ポート番号が変更されている場合は、パソコン側の設定も同様に変更する必要があります。 **ポートの種類や番号を変更する(P. 110)**

プリンタードライバーのインストール後に本機の IP アドレスが変更された場合

- 新しいポートを追加する必要があります。 **プリンターポートを設定する（Windows のみ）(P. 109)**
  使用しているポートがわからない場合は、以下を参照してください。
  プリンターポートを確認する(P. 369)
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

プリンターポートを設定する（Windows のみ）

EALA-039

本機の IP アドレスが変更されたり、Windows でプリンターを追加したりすると、パソコンからプリントできないことがあります。そのような場合は、プリンタードライバーで新しいポートを追加します。
また、プリンタードライバーのポート番号が本機の設定と異なっている場合も、パソコンからプリントできません。その場合は、プリンタードライバーの設定を、本機の設定に合わせて変更します。

ポートを追加する(P. 109)
ポートの種類や番号を変更する(P. 110)

ポートを追加する

各パソコンの管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機の IP アドレスまたは DNS 名（ホスト名）の情報を手元に用意します。**ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 69)**

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➡ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

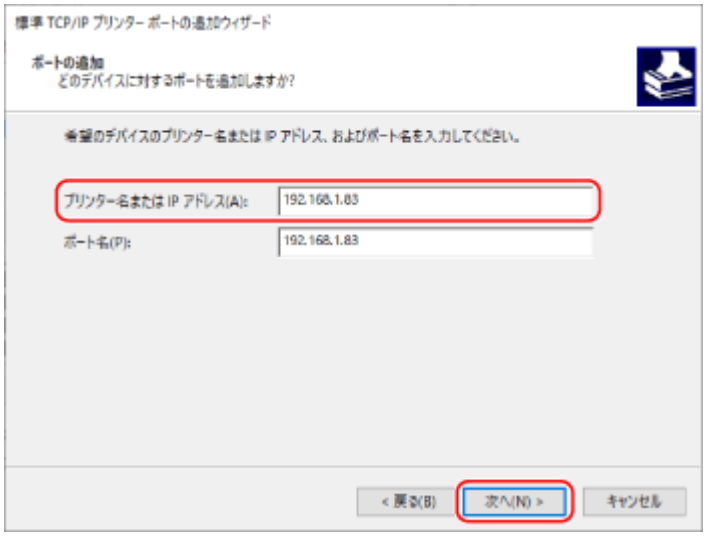
➡ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 [ポート] タブで、[ポートの追加] をクリックする

➡ [プリンターポート] 画面が表示されます。

5 新しいポートを追加する

1. [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックする
   ➡ [標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード] 画面が表示されます。
2. [次へ] をクリックする
3. 本機の IP アドレスまたは DNS 名（ホスト名）を入力し、[次へ] をクリックする



ポート名は自動的に入力されるため、必要に応じて変更します。

［追加のポート情報が必要です］が表示された場合

画面の指示に従って対処します。［デバイスの種類］を設定する場合は、［標準］の［Canon Network Printing Device with P9100］を選択します。

6 ［完了］をクリックする

➠新しいポートが追加されて、［プリンターポート］画面に戻ります。

7 ［閉じる］▶［閉じる］をクリックする

ポートの種類や番号を変更する

本機側で、LPD または RAW が使用できないように設定されている場合は、パソコン側のポートの種類を、本機で使用できるプロトコルに変更する必要があります。
また、LPD または RAW のポート番号が変更されている場合も、パソコン側の設定を本機の設定に合わせて変更する必要があります。
※WSD ポートの場合は、パソコン側でポートの種類や番号を変更する必要はありません。

各パソコンの管理者権限が必要です。

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 ［］（スタート）▶［］（設定）▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］をクリックする

➠［プリンターとスキャナー］画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー▶［プリンターのプロパティ］をクリックする

➠プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 ［ポート］タブで、［ポートの構成］をクリックする

➠［ポートの構成］画面または［標準 TCP/IP ポートモニターの構成］画面が表示されます。

5 ポートの種類や番号を設定する

［プロトコル］で［Raw］または［LPR］を選択します。

- ［Raw］を選択した場合は、ポート番号を変更します。
- ［LPR］を選択した場合は、［キュー名］に「lp」と入力します。

6 ［OK］▶［閉じる］をクリックする

➠設定が反映されます。

プリントサーバーを利用するための準備

EALA-03A

ネットワーク上にプリントサーバーを用意しておくと、プリント時に各パソコンで行う処理が早く終わるようになるため、各パソコンの負荷を軽減できます。
また、Windows の場合は、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールできるようになるため、各パソコンでプリンタードライバーをダウンロードしたり CD/DVD-ROM を用意したりする手間も省けます。

プリントサーバーを用意するには、プリントサーバーが本機でプリントできるようにしたあと、プリンターの共有設定を行います。
ドメイン環境でプリントサーバーを利用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

プリントサーバーが本機でプリントできるようにする(P. 112)
プリンターの共有設定をする(P. 112)

プリントサーバーが本機でプリントできるようにする

プリントサーバーにするパソコンにプリンタードライバーをインストールし、使用環境に応じた設定をします。**パソコンからプリントするための準備(P. 108)**

プリンターの共有設定をする

プリントサーバーにするパソコンで、プリンターの共有設定をして、ネットワーク上の他のパソコンがプリントサーバーを利用できるようにします。

Windows の場合(P. 112)
macOS の場合(P. 113)

■Windows の場合

プリントサーバーにするパソコンの管理者権限が必要です。

必要な準備

- プリントサーバーにするパソコンの OS と、プリントサーバーを利用するパソコンの OS のプロセッサバージョン（32 ビット／64 ビット）を確認します。**パソコンのシステム情報を確認する(P. 365)**

1 プリントサーバーにするパソコンに、管理者のアカウントでログオンする

2 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

➠ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 [共有] タブで、[このプリンターを共有する] にチェックマークを付け、共有名を入力する



5 必要に応じて、追加ドライバーをインストールする

プリントサーバーの OS と異なるプロセッサバージョンのパソコンがプリントサーバーを利用する場合は、追加ドライバーをインストールします。

1 [追加ドライバー] をクリックする

➠ [追加ドライバー] 画面が表示されます。

2 追加するドライバーにチェックマークを付け、[OK] をクリックする

- プリントサーバーの OS が 32 ビット版の場合は、[x64]（64 ビット版用ドライバー）にチェックマークを付けます。
- プリントサーバーの OS が 64 ビット版の場合は、[x86]（32 ビット版用ドライバー）にチェックマークを付けます。

3 [参照] をクリックし、ドライバーが収録されているフォルダーを指定して、[OK] をクリックする

ダウンロードしたドライバーのフォルダーを指定する場合

- プリントサーバーの OS が 32 ビット版の場合は、解凍したドライバーのフォルダーの [x64] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。
- プリントサーバーの OS が 64 ビット版の場合は、解凍したドライバーのフォルダーの [32BIT] ▶ [Driver] フォルダーを指定します。

4 画面の指示に従って追加ドライバーをインストールする

6 [OK] をクリックする

➠ 設定が反映されます。

■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [共有] をクリックする

➠ [共有] 画面が表示されます。

2 ［プリンタ共有］にチェックマークを付ける

3 ［プリンタ］で、本機にチェックマークを付ける

4 必要に応じて、プリントサーバーを利用できるユーザーを制限する

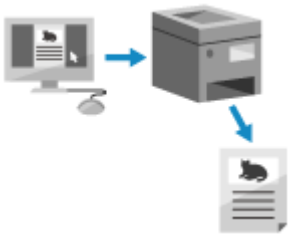
初期設定では、すべてのユーザーがプリントサーバーを利用できるようになっています。
特定のユーザーのみがプリントサーバーを利用できるようにする場合は、［ユーザ］の下にある［+］をクリックし、利用できるユーザーを選択します。

5 ［共有］画面を閉じる

➠ 設定が反映されます。

パソコンからプリントする

EALA-03E



パソコンからプリンタードライバーを使用して、文書をプリントします。
プリント時にプリンタードライバーの設定を変更することで、両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じたプリントができます。

MEMO

- キヤノンの専用アプリである「Canon PRINT」を使用して、プリントとスキャンができます。 **専用アプリを使用してプリントする - Canon PRINT(P. 142)**

ここでは、一般的な手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- パソコンにプリンタードライバーをインストールし、使用環境に応じた設定をします。 **パソコンからプリントするための準備(P. 108)**
- プリントする文書や用紙が定形外サイズの場合は、プリンタードライバーにそのサイズを登録します。 **パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙(P. 118)**

Windows の場合(P. 115)
macOS の場合(P. 116)

■Windows の場合

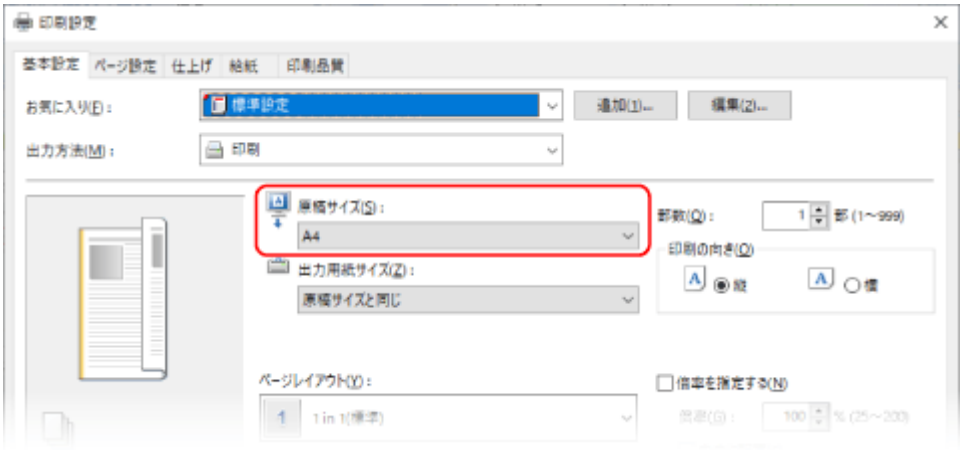
1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する

3 本機のプリンタードライバーを選択し、［その他の設定］または［プロパティ］をクリックする

➠ プリンタードライバーの［印刷設定］画面が表示されます。

4 ［基本設定］タブの［原稿サイズ］で、文書の用紙サイズを選択する



■［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙にプリントする場合

［出力用紙サイズ］で、プリントする用紙サイズを選択します。［出力用紙サイズ］に合わせて文書が拡大／縮小されます。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、［印刷設定］画面の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを参照してください。

6 ［OK］をクリックし、［印刷］または［OK］をクリックする

➠ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合、プリント中の画面やタスクトレイのプリンターアイコンから中止できます。**パソコンからプリントを中止する(P. 120)**
- ［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。**プリント状況や履歴を確認する(P. 122)**

■macOS の場合

1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、［プリント］をクリックする

➠ プリントダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ］で、本機のプリンタードライバーを選択する

4 プリントオプションの［用紙サイズ］で、文書の用紙サイズを選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、プリントダイアログの［詳細を表示］をクリックします。

■［用紙サイズ］と異なるサイズの用紙にプリントする場合

1 プリントオプションのポップアップメニューから［用紙処理］を選択する



2 ［用紙サイズに合わせる］にチェックマークを付け、［出力用紙サイズ］でプリントする用紙サイズを選択する
［出力用紙サイズ］に合わせて文書が拡大／縮小されます。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、プリントダイアログの［ ? ］をクリックしてヘルプを参照してください。

6 ［プリント］をクリックする

➠ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合は、Dock のプリンターアイコンから中止できます。**パソコンからプリントを中止する(P. 120)**
- ［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。**プリント状況や履歴を確認する(P. 122)**

パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙

EALA-03F

ユーザー設定用紙とは、自由に辺の長さを定義できる定形外サイズの用紙のことです。
プリントする文書や用紙が定形外サイズの場合は、あらかじめプリンタードライバーにそのサイズを登録しておく必要があります。

Windows の場合(P. 118)
macOS の場合(P. 119)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

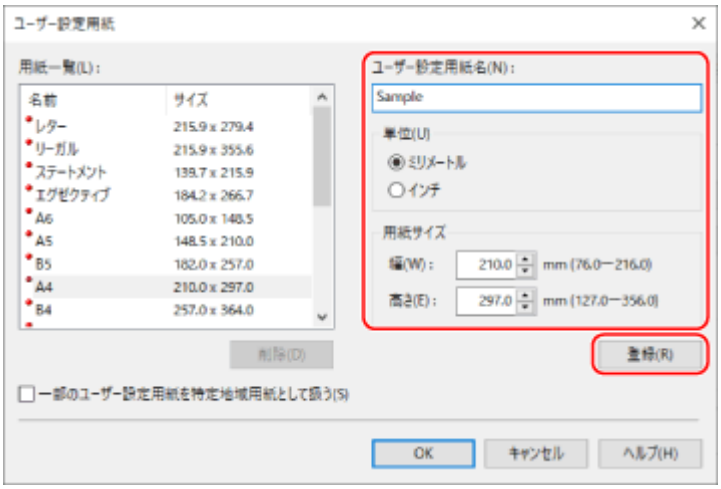
➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー ▶ [印刷設定] をクリックする

➠ プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。

3 [ページ設定] タブで、[ユーザー設定用紙] をクリックする

4 ユーザー設定用紙名と用紙サイズを入力し、[登録] をクリックする



5 [OK] ▶ [OK] をクリックする

➠ ユーザー設定用紙が登録されます。

■macOS の場合

1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、［プリント］をクリックする

➠ プリントダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ］で、本機のプリンタードライバーを選択する

4 プリントオプションの［用紙サイズ］で、［カスタムサイズを管理］を選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、プリントダイアログの［詳細を表示］をクリックします。

5 左下にある［+］をクリックし、［名称未設定］をダブルクリックしてユーザー設定用紙名を入力する



6 用紙サイズを入力し、［OK］をクリックする

➠ ユーザー設定用紙が登録されます。

プリントを中止する

EALA-03S

パソコンからプリントした場合は、そのままパソコンから中止できます。プリントデータが本機に送信されたあとは、操作パネルやリモート UI からプリントを中止できます。

パソコンからプリントを中止する(P. 120)
操作パネルからプリントを中止する(P. 121)
リモート UI からプリントを中止する(P. 121)

パソコンからプリントを中止する

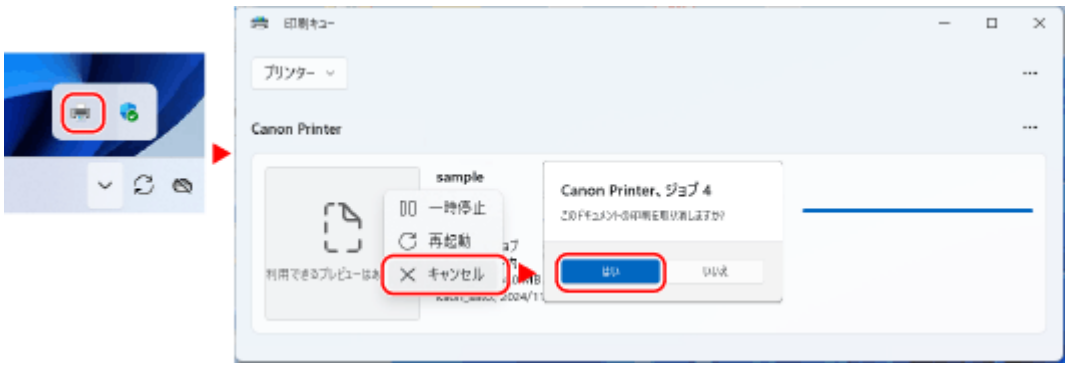
Windows の場合(P. 120)
macOS の場合(P. 120)

■Windows の場合

プリント中の画面が表示されている場合は、［キャンセル］をクリックします。



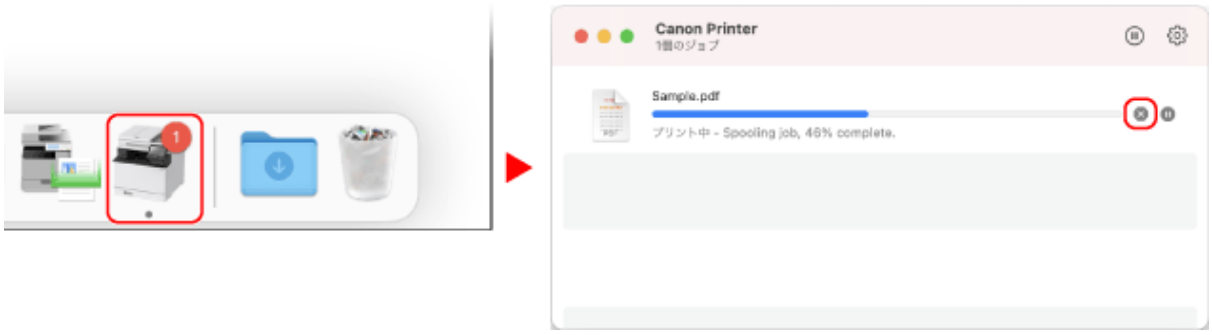
上記の画面が表示されていない場合は、タスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックし、中止する文書を選択して、［ドキュメント］▶［キャンセル］▶［はい］をクリックします。



タスクトレイにプリンターアイコンが表示されていない場合や、中止する文書が表示されていない場合は、パソコンでの処理が終わってプリントデータが本機に送信されています。
その場合は、本機の操作パネルまたはリモート UI からプリントを中止します。 **操作パネルからプリントを中止する(P. 121)**

■macOS の場合

Dock のプリンターアイコンをクリックし、中止する文書を選択して、［ ⊗ ］をクリックします。



操作パネルからプリントを中止する

以下の手順でプリントを中止できます。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［状況確認］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［プリントジョブ］▶ OK ▶［ジョブ状況］▶ OK を押す**

3 **［プリントジョブ状況］で中止するジョブを選択し、 OK を押す**

4 **［<中止>］▶ OK ▶［はい］▶ OK を押す**

リモート UI からプリントを中止する

リモート UI の［状況確認/中止］▶［プリント］の［ジョブ状況］画面で、プリントを中止できます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)**

プリント状況や履歴を確認する

EALA-03U

プリントをはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しくプリントできたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。
※履歴を表示しないように設定されている場合は、プリント状況のみ確認できます。 **［ジョブ履歴表示の ON/OFF］(P. 251)**

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［状況確認］ ▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［プリントジョブ］ ▶ OK を押す

3 状況や履歴を確認する

■プリント状況を確認する場合

1 ［ジョブ状況］ ▶ OK を押す

2 詳細を確認したいジョブを選択して、 OK を押す

➠ ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ファイル名やユーザー名などを確認する
ファイル名やユーザー名は、使用されている文字によっては正しく表示されないことがあります。

■プリント履歴を確認する場合

1 ［ジョブ履歴］ ▶ OK を押す
※プリント履歴は最大 50 件まで表示されます。

2 詳細を確認したいジョブを選択して、 OK を押す

➠ ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ファイル名やユーザー名などを確認する
ファイル名やユーザー名は、使用されている文字によっては正しく表示されないことがあります。

プリント履歴に［NG］が表示されている場合

プリントが中止されたか、エラーが発生しました。
「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。 **エラーコードが表示された(P. 352)**

モバイル／クラウド連携

モバイル／クラウド連携 124
モバイル／クラウド連携の準備 126
ダイレクト接続するための準備 127
Universal Print を使用するための準備 129
Microsoft Entra ID に本機を登録する 130
パソコンに本機を登録する 133
AirPrint を使用するための準備 134
モバイル機器を本機に接続する 137
モバイル機器から Wi-Fi ルーターを介して接続する - LAN 接続 138
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 139
専用アプリを使用してプリントする - Canon PRINT 142
クラウド連携サービスを使用してプリントする 143
Universal Print を使用してプリントする 144
AirPrint を使用してプリントする 145
Android からプリントする 148
Chrome OS からプリントする 149

モバイル／クラウド連携

EALA-03W

本機は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器やクラウドサービスからも利用できます。
本機が対応しているアプリやサービスを介して、写真や文書を手軽にプリントできます。

Canon PRINT

キヤノンの専用アプリです。
専用アプリを使用してプリントする - Canon PRINT(P. 142)

クラウド連携サービス

キヤノンのクラウド連携サービスを使用して、モバイル機器からもプリントができます。
クラウド連携サービスを使用してプリントする(P. 143)

Universal Print

Windows 搭載機器から Microsoft のクラウド経由で文書をプリントできます。インターネットに接続されていれば、離れた場所からでもプリントできます。
Universal Print を使用するための準備(P. 129)
Universal Print を使用してプリントする(P. 144)

AirPrint

iPhone/iPad/iPod touch/Mac に標準搭載されている機能です。専用アプリやドライバーをインストールすることなく、AirPrint 対応アプリからプリントできます。
AirPrint を使用するための準備(P. 134)
AirPrint を使用してプリントする(P. 145)

Canon Print Service

キヤノンが提供する、Android 搭載機器専用のプラグインです。任意のアプリからプリントできます。
専用プラグインを使用してプリントする - Canon Print Service(P. 148)

Mopria® Print Service

Mopria®認証プリンター／複合機の共通プラグインです。メーカーごとの専用アプリや専用プラグインをインストールすることなく、Android 搭載機器の任意のアプリからプリントできます。
メーカー共通のプラグインを使用してプリントする - Mopria® Print Service(P. 148)

Chrome OS

専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、Chrome OS に標準搭載されている機能でプリントします。
Chrome OS からプリントする(P. 149)

IPP Everywhere

Chromebook が IPP Everywhere に対応している場合は、IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接プリントできます。
IPP Everywhere で印刷する(P. 149)

■関連項目

モバイル機器から本機を管理する - リモート UI

モバイル機器の Web ブラウザーからリモート UI を使用できます。リモート UI を使用すると、本機の稼働状況／状態を確認したり、設定の変更を行ったりできます。リモート UI の起動や操作方法については、パソコン版のリモート UI の説明を参照してください。

パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)

※モバイル版のリモート UI では、表示項目の一部が省略されています。すべての項目を確認したい場合は、画面の一番下にある［PC 版はこちら］をタップすると、パソコン版のリモート UI に切り替えることができます。

モバイル／クラウド連携の準備

EALA-03X

モバイル機器と本機をダイレクト接続する場合や、Universal Print および AirPrint を使用する場合は、あらかじめ本機側の設定が必要です。

ダイレクト接続するための準備(P. 127)
Universal Print を使用するための準備(P. 129)
AirPrint を使用するための準備(P. 134)

ダイレクト接続するための準備

EALA-03Y

本機のダイレクト接続機能を有効にします。本機をネットワークに接続していない場合は、ネットワーク接続方式の設定を確認しておく必要もあります。

ダイレクト接続機能を有効にする(P. 127)
本機のネットワーク接続方式を確認する(P. 128)

ダイレクト接続機能を有効にする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［ダイレクト接続設定］(P. 211)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［ダイレクト接続設定］▶［編集］をクリックする

➡［ダイレクト接続設定の編集］画面が表示されます。

4 ［ダイレクト接続を使用する］にチェックマークを付ける

5 必要に応じて、ダイレクト接続機能の設定をする

同時に複数のモバイル機器を接続する場合は、固定の SSID とネットワークキーを設定しておく必要があります。

■接続を自動的に切断する場合

［ダイレクト接続を自動切断する］にチェックマークを付け、ダイレクト接続を開始してから切断するまでの時間を入力します。複数のモバイル機器を接続した場合は、最後に接続を開始したときからこの時間が経過すると、切断されます。

■接続用の IP アドレスを変更する場合

［ダイレクト接続時の IP アドレス］に任意の IP アドレスを入力します。

■ダイレクト接続時の周波数を変更する場合

［ダイレクト接続時の周波数］で［2.4GHz］または［5GHz］を選択します。

※使用できる周波数帯域は、国や地域によって異なります。

■固定の SSID／ネットワークキーを設定する場合（同時に複数のモバイル機器を接続する場合）

初期設定では、ダイレクト接続するたびに、本機の SSID とネットワークキーがランダムな文字列で自動生成されます。

固定の SSID／ネットワークキーを手動設定する場合は、［アクセスポイントモード設定］で、［任意の SSID を使用する］／［任意のネットワークキーを使用する］にチェックマークを付け、任意の SSID／ネットワークキーを半角英数字で入力します。

■モバイル機器が常に接続できるようにする場合

初期設定では、ダイレクト接続するたびに、操作パネルを使用して本機を待機状態にする必要があります。
モバイル機器が常に接続できるようにする場合は、［アクセスポイントモード設定］で固定の SSID とネットワークキーを設定し、［常時接続］の［SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する］にチェックマークを付けます。

- この機能を有効にすると、［ダイレクト接続を自動切断する］の設定は無効になります。
- この機能を有効にしている場合、本機は完全なスリープ状態には移行しません。

6 ［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➠ 設定が反映されます。

本機のネットワーク接続方式を確認する

本機をネットワーク（有線 LAN または Wi-Fi）に接続していない場合は、ネットワーク接続方式が有線 LAN に設定されていることを確認します。
本機をネットワークに接続している場合は、確認不要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］ ▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

➠ ［状況確認］画面が表示されます。

2 ［ネットワーク情報］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク接続方式］ ▶ OK を押す

➠ ［ネットワーク接続方式］画面が表示されます。

3 ［有線 LAN］と表示されていることを確認する

接続方式が有線 LAN に設定されている場合は、本機がネットワークに接続されていなくても、ダイレクト接続できます。

■［ネットワーク接続方式］が［Wi-Fi］と表示されている場合

本機が Wi-Fi に接続されていないと、ダイレクト接続できません。本機を Wi-Fi に接続するか、接続方式を有線 LAN に切り替えます。
Wi-Fi に接続する(P. 43)
有線 LAN／Wi-Fi を選択する(P. 41)

Universal Print を使用するための準備

EALA-040

Microsoft のクラウドサービスである「Universal Print」を使用できるように本機を設定し、プリントするパソコンごとに本機を登録します。
Microsoft 365 サービスのユーザー登録と Microsoft Entra ID サービスの利用が必要です。

Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 130)
パソコンに本機を登録する(P. 133)

Microsoft Entra ID に本機を登録する

EALA-041

クラウドベースの認証／管理サービス「Microsoft Entra ID」に本機を登録し、本機を使用するメンバーやグループを設定します。

Step 1：Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 130)
Step 2：本機を使用するメンバーやグループを設定する(P. 132)

Step 1：Microsoft Entra ID に本機を登録する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［Universal Print 設定］をクリックする

➡［Universal Print 設定］画面が表示されます。

4 ［基本設定］の［編集］をクリックする

5 ［Universal Print を使用する］にチェックマークを付け、プリンター名を入力する

- プリンター名には、本機を識別するための名前を半角英数字で入力します。
- サーバーから送られてきた証明書を検証する場合は、［サーバー証明書を検証する］にチェックマークを付けます。検証項目に CN（Common Name）を追加する場合は、［CN を検証項目に追加する］にもチェックマークを付けます。
- ［アプリケーション ID ］／［Microsoft Entra ID 認証 URL ］／［Microsoft Entra ID 登録 URL ］の変更が必要かどうかは、ご使用のクラウド環境によりますのでご注意ください。
- ［アプリケーション ID ］／［Microsoft Entra ID 認証 URL ］／［Microsoft Entra ID 登録 URL ］を誤って変更した場合は、［初期値に戻す］をクリックしてください。

6 ［OK］をクリックする

➡［Universal Print 設定］画面に戻ります。

7 ［登録状況］の［登録］をクリックする

➡［登録用情報］画面が表示されます。

8 数秒待ってから、[ ]をクリックする



9 [登録用 URL]に表示されているリンクをクリックする

10 画面の指示に従って本機を登録する

11 リモート UI の画面上部の［Universal Print 設定］をクリックする



➠［Universal Print 設定］画面が表示されます。

12 数分待ってから、[ ]をクリックする

➠登録が完了すると、［登録状況］に［登録済み］と表示されます。

13 リモート UI からログアウトする

MEMO

登録を解除する

- ［Universal Print 設定］画面の［登録解除］▶［OK］をクリックします。表示された Microsoft Entra ID のデバイス管理画面で、本機を選択し、［削除］をクリックします。

Step 2：本機を使用するメンバーやグループを設定する

1 **パソコンの Web ブラウザーで、Microsoft Entra ID の Universal Print 管理画面を表示する**

2 **本機を選択し、［プリンターの共有］をクリックする**

パソコンに表示する本機の名前を変更したい場合は、［プリンター共有名］を変更します。

3 **［メンバー］▶［追加］をクリックする**

4 **本機を使用するメンバーやグループをリストから選択する**

パソコンに本機を登録する

EALA-042

Universal Print を使用するパソコンごとに、Microsoft Entra ID に登録した本機を登録します。

必要な準備

- Microsoft Entra ID に本機を登録します。 **Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 130)**

1 **［ ］（スタート）▶［ ］（設定）▶［アカウント］をクリックする**

➡［アカウント］画面が表示されます。

2 **［職場または学校にアクセスする］▶［接続］をクリックする**

3 **画面の指示に従って、Microsoft365 アカウントでサインインする**

4 **［ホーム］▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］をクリックする**

➡［プリンターとスキャナー］画面が表示されます。

5 **［デバイスの追加］をクリックする**

➡プリンターの一覧が表示されます。

6 **本機を選択し、［デバイスの追加］をクリックする**

➡パソコンに本機が登録されます。

MEMO

プロキシーサーバーを使用している場合

- プロキシーサーバーを経由して Universal Print を使用する場合は、各パソコンでプロキシーの設定を行う必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

AirPrint を使用するための準備

EALA-043

AirPrint を使用するために必要な基本情報を設定します。利用状況／使用環境に応じて、使用する機能やセキュリティーに関する設定も行います。

AirPrint の基本情報を設定する(P. 134)
AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する(P. 135)

AirPrint の基本情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［AirPrint 設定］▶［編集］をクリックする

➡［AirPrint 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［AirPrint を使用する］にチェックマークを付け、プリンター名を入力する

- プリンター名には、本機を識別するための名前を半角英数字で入力します。
- IPv4 の mDNS が設定されている場合は、mDNS 名と同じ名前がプリンター名に入力されています。プリンター名を変更すると、mDNS 名も連動して変更されます。

※一度設定したプリンター名や mDNS 名を変更すると、それまで本機に接続できていた Mac が、本機に接続できなくなることがあります。その場合は、Mac で本機を登録しなおす必要があります。

5 必要に応じて、本機の設置場所や緯度／経度を入力する

［設定/登録］▶［デバイス管理］▶［デバイス情報設定］で設置場所が設定されている場合は、同じ文字列が設置場所に入力されています。AirPrint 設定の設置場所を変更すると、デバイス情報設定の設置場所も連動して変更されます。

6 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

MEMO

- AirPrint 機能を有効にすると、HTTP/IPP 印刷/mDNS（IPv4/IPv6）のネットワーク設定も連動して有効になります。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
  ［TCP/IP 設定］(P. 219)

AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する

AirPrint では IPP のプロトコルを使用します。

プロトコル使用時の通信を TLS で暗号化するように設定したり、IPP 認証を設定したりすることもできます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- 通信を TLS で暗号化する場合は、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定します。 TLS を使用する(P. 160)

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［IPP 印刷設定］▶［編集］をクリックする

➡［IPP 印刷設定の編集］画面が表示されます。

4 IPP の設定をする

■使用する機能を制限する場合

［IPP 印刷を使用する］のチェックマークを外します。
チェックマークを外すと、AirPrint でプリントできなくなります。

■通信を TLS で暗号化する場合

［TLS 使用時のみ許可する］／［TLS を使用する］にチェックマークを付けます。

■IPP 認証を設定する場合

［認証を使用する］にチェックマークを付け、IPP 認証のユーザー名を半角英数字で設定します。
パスワードを設定する場合は、［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、［パスワード］と［確認入力］の両方に同じ半角英数字を入力します。
AirPrint でプリントするときに認証が必要となり、IPP 認証のユーザー名とパスワードを知っているユーザーだけがこれらの機能を使用できるようになります。

5 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

モバイル機器を本機に接続する

EALA-044

モバイル機器から本機を利用するには、以下のどちらかの方法で本機に接続する必要があります。

Wi-Fi ルーターを介して本機に接続する - LAN 接続

パソコンと本機を接続するのと同じように、Wi-Fi ルーターを介して本機に接続します。モバイル機器を Wi-Fi ルーターに自動接続するように設定しておけば、次からは接続操作は不要です。

モバイル機器から Wi-Fi ルーターを介して接続する - LAN 接続(P. 138)



本機に直接接続する - ダイレクト接続

モバイル機器と本機を Wi-Fi で直接接続します。Wi-Fi ルーターがない環境でも、本機に接続することができます。本機を利用するたびに接続操作が必要です。

ダイレクト接続するための準備(P. 127)
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続(P. 139)



モバイル機器から Wi-Fi ルーターを介して接続する - LAN 接続

EALA-045

パソコンと本機を接続するのと同じように、Wi-Fi ルーターを介してモバイル機器を本機に接続します。モバイル機器を Wi-Fi ルーターに自動接続するように設定しておけば、次からは接続操作は不要です。



必要な準備

- 本機を Wi-Fi または有線 LAN でネットワークに接続します。 **ネットワークの設定(P. 39)**
  ※有線 LAN 接続の場合は、同じネットワーク上に Wi-Fi ルーターがつながっていることを確認します。
- IPv4 アドレスを本機に設定します。 **IPv4 アドレスを設定する(P. 53)**

以下のいずれかの Wi-Fi ルーターに、モバイル機器を接続します。

- 本機を接続している Wi-Fi ルーター
- 本機を有線 LAN に接続している場合は、本機を接続しているネットワーク上の Wi-Fi ルーター

Wi-Fi ルーターにモバイル機器を接続する方法については、モバイル機器のマニュアルを参照してください。

モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続

EALA-046

モバイル機器と本機を Wi-Fi で直接接続します。Wi-Fi ルーターがない環境でも、本機に接続することができます。本機を利用するたびに接続操作が必要です。
ダイレクト接続するには、操作パネルを使用して本機を待機状態にしてから、本機をモバイル機器から探索し、ネットワークキーを入力して接続します。
同時にダイレクト接続できるモバイル機器は、初期設定では 1 台のみです。固定の SSID とネットワークキーが設定されていると、最大で 5 台まで同時に接続できます。



ダイレクト接続するには、操作パネルを使用して本機を待機状態にしてから、以下のどちらかの方法で接続操作をします。

手動で Wi-Fi 設定をする



本機をモバイル機器から探索し、ネットワークキーを手動で入力して接続します。

Canon PRINT で QR コードを読み取る



Canon PRINT を使用して、本機の画面に表示された QR コードをモバイル機器で読み取るだけで簡単に接続できます。

必要な準備

- 本機のダイレクト接続機能を有効にするなどの準備をします。 **ダイレクト接続するための準備(P. 127)**
- QR コードを読み取って接続する場合は、モバイル機器に Canon PRINT をインストールします。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK ▶［モバイルポータル］▶ OK を押す
［ホーム］画面(P. 84)

➡［モバイルポータル］画面が表示されます。

2 ［<開始>］▶ OK を押す

➡ダイレクト接続の待機状態になります。

- ［<開始>］を押してから 5 分以内に、モバイル機器をダイレクト接続する必要があります。
- 画面に［対応デバイスから接続操作を行ってください。］と表示されている場合は、この手順は不要です。 OK を押して、手順 3 に進みます。

- 画面に［ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。］と表示されている場合は、現在接続中のモバイル機器が切断されるまで接続できません。接続中のモバイル機器を切断する場合は、OK ▶［<停止>］▶ OK を押します。
※同時にダイレクト接続できるモバイル機器は、初期設定では 1 台のみです。

3 モバイル機器をダイレクト接続する

■手動で Wi-Fi 設定をして接続する場合

1 ［SSID/ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰを表示］▶ OK を押して、本機の SSID とネットワークキーを確認する

2 モバイル機器の Wi-Fi 設定で、本機の SSID を選択し、ネットワークキーを入力する

➠［モバイルポータル］画面に戻ります。
初期設定では、同時にダイレクト接続できるモバイル機器は 1 台のみのため、画面に［ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。］と表示されます。

Wi-Fi の設定方法については、モバイル機器のマニュアルを参照してください。

■Canon PRINT で QR コードを読み取って接続する場合

1 ［QR コード表示］▶ OK を押す

➠QR コードが表示されます。

2 モバイル機器で Canon PRINT を起動し、QR コードを読み取る

➠［モバイルポータル］画面に戻ります。
初期設定では、同時にダイレクト接続できるモバイル機器は 1 台のみのため、画面に［ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。］と表示されます。

QR コードの読み取り方法については、Canon PRINT のヘルプを参照してください。

4 モバイル機器で目的の操作が終わったら、［<停止>］▶ OK を押す

➠ダイレクト接続が切断されます。
複数のモバイル機器を接続している場合は、すべての機器の接続が切断されます。

重要

- モバイル機器によっては、ダイレクト接続中はインターネットに接続できません。
- ダイレクト接続中は本機のスリープモードの節電効果が下がります。
- モバイル機器の IP アドレスは自動的に設定されます。IP アドレスを手動で設定すると、ダイレクト接続の通信が正しく行えなくなることがあります。

MEMO

本機に接続中のモバイル機器を確認する

- ダイレクト接続中の画面の［接続情報］を押すと、ダイレクト接続で本機に接続中のモバイル機器の情報を確認できます。

ダイレクト接続が自動的に切断される場合

- 以下の場合は、ダイレクト接続が自動的に切断されます。
  - ダイレクト接続の自動切断が設定されている場合
  - 本機とモバイル機器とでデータの送受信がない状態が続いた場合
  - 本機を Wi-Fi 接続で使用時に、その接続が切断された場合

専用アプリを使用してプリントする - Canon PRINT

EALA-047

キヤノンの専用アプリである「Canon PRINT」を使用して、プリントができます。

パソコン（Windows）をご使用の場合(P. 142)
モバイル端末をご使用の場合(P. 142)

パソコン（Windows）をご使用の場合

Canon PRINT は、以下からダウンロードできます。
画面の指示に従ってインストールしてください。

Microsoft Store からダウンロード

モバイル端末をご使用の場合

対応 OS/ダウンロード

- iOS/iPadOS をご使用の場合
  Canon PRINT は、以下からダウンロードできます。
  画面の指示に従ってインストールしてください。

  App Store からダウンロード

- Android をご使用の場合
  Canon PRINT は、以下からダウンロードできます。
  画面の指示に従ってインストールしてください。

  Google Play で手に入れよう

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 137)**
- Canon PRINT に本機を登録します。
  モバイル機器と本機を LAN で接続している場合は、本機を登録する際に、本機の IP アドレスの情報や、QR コードの表示が必要です。IP アドレスや、QR コードの表示は、操作パネルの [ホーム] 画面で、[メニュー] ▶ OK ▶ [モバイルポータル] ▶ OK ▶ [ﾃﾞﾊﾞｲｽ名/IPｱﾄﾞﾚｽを表示] ▶ OK で確認できます。
- 本機の登録方法やプリントの方法については、アプリのメニューからヘルプを参照してください。

クラウド連携サービスを使用してプリントする

EALA-048

キヤノンのクラウド連携サービスを使用して、各種クラウドサービスに保存されている文書や写真をプリントできます。

使用方法

- 利用には本機の登録が必要です。
- 本機の登録に使用する登録コードは、以下の手順で発行します。
  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［Web サービス設定］ ▶ OK ▶ ［登録コードの発行］ **［Web サービス設定］(P. 215)**
- 本機の登録方法やプリントの方法については、 **こちら** を参照してください。
  ※国または地域によっては、サービスを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

Universal Print を使用してプリントする

EALA-049

Universal Print とは、Microsoft のクラウド経由で文書をプリントできるサービスです。プリンタードライバーをインストールすることなくプリントが可能です。インターネットに接続されていれば、離れた場所からでもプリントできます。

Universal Print を使用するには、Microsoft365 サービスのユーザー登録と Microsoft Entra ID サービスの利用が必要です。

必要な準備

- Microsoft Entra ID に本機を登録し、本機を使用するメンバーやグループを設定します。 **Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 130)**
- Universal Print を使用するパソコンごとに、Microsoft Entra ID に登録した本機を登録します。 **パソコンに本機を登録する(P. 133)**

Universal Print を使用したプリント方法や対応 OS については、Microsoft のホームページを参照してください。
https://docs.microsoft.com/ja-jp/universal-print/

AirPrint を使用してプリントする

EALA-04A

AirPrint とは、Apple 製機器の OS に標準搭載されているプリント機能です。専用アプリやドライバーをインストールすることなく、AirPrint 対応アプリからプリントできます。
また、Mac からも AirPrint を使用してプリントできます。

iPhone/iPad/iPod touch の場合(P. 145)
Mac の場合(P. 146)

iPhone/iPad/iPod touch の場合

本機と LAN 接続またはダイレクト接続されている iPhone/iPad/iPod touch から、AirPrint を使用してプリントします。

動作環境

AirPrint は、以下の iPhone/iPad/iPod touch で使用できます。

- iPhone：3GS 以降
- iPad：すべてのモデル
- iPod touch：第 3 世代以降

必要な準備

- AirPrint を使用できるように本機を設定します。 **AirPrint を使用するための準備(P. 134)**
- iPhone/iPad/iPod touch と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 137)**

1 iPhone/iPad/iPod touch で、プリントするデータを開く

2 プリントするデータを開いたアプリの［ ］をタップする

➡ メニューオプションが表示されます。

3 ［プリント］をタップする

➡ プリントオプションが表示されます。
プリントオプションが表示されない場合は、アプリが AirPrint に対応していません。その場合は、AirPrint を使用してプリントできません。

4 ［プリンタ］をタップし、本機を選択する

5 プリントの設定をする

設定できる項目や使用できる用紙サイズは、使用するアプリによって異なります。

6 [プリント] をタップする

➡ プリントが開始されます。

[状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 122)**

Mac の場合

本機と同一の LAN にネットワーク接続されている Mac や、本機と USB 接続されている Mac から、AirPrint を使用してプリントします。

動作環境

AirPrint は、OS X 10.7 以降[*1] の OS がインストールされている Mac で使用できます。

[*1] 本機と USB 接続してプリントする場合は、OS X 10.9 以降

必要な準備

- AirPrint を使用できるように本機を設定します。 **AirPrint を使用するための準備(P. 134)**
- Mac と本機を接続します。 **ネットワークの設定(P. 39)**
  USB 接続の場合は、本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。 **背面(P. 10)**
- Mac の [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] で、[+] をクリックして本機を登録します。

AirPrint を使用してプリントする(P. 146)

■AirPrint を使用してプリントする

1 Mac で、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、[プリント] をクリックする

➡ プリントダイアログが表示されます。

3 [プリンタ] で本機を選択する

4 プリントの設定をする

設定できる項目や使用できる用紙サイズは、使用するアプリケーションによって異なります。

5 [プリント] をクリックする

➠ プリントが開始されます。

［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 122)**

Android からプリントする

EALA-04C

モバイル機器にプラグインをインストールすることで、プリント機能がある任意のアプリからプリントできます。
本機は、キヤノンの専用プラグインのほか、メーカー共通で使用できる Mopria®のプラグインにも対応しています。

専用プラグインを使用してプリントする - Canon Print Service(P. 148)
メーカー共通のプラグインを使用してプリントする - Mopria® Print Service(P. 148)

専用プラグインを使用してプリントする - Canon Print Service

キヤノンの専用プラグインである「Canon Print Service」を使用して、任意のアプリからプリントできます。

対応 OS／ダウンロード
キヤノンホームページを参照してください。
https://global.canon/psmp/

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 137)**
- Canon Print Service に本機を登録します。
  モバイル機器と本機を LAN で接続している場合は、本機を登録する際に、本機の IP アドレスの情報が必要です。
  IP アドレスは、操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］ ▶ OK ▶［モバイルポータル］ ▶ OK ▶［ﾃﾞﾊﾞｲｽ名/IPｱﾄﾞﾚｽを表示］ ▶ OK で確認できます。
- 本機の登録方法やプリント方法については、オンラインマニュアルサイトの「モバイルアプリ」から、Canon Print Service のマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

メーカー共通のプラグインを使用してプリントする - Mopria® Print Service

Mopria®認証プリンター／複合機の共通プラグインである「Mopria® Print Service」を使用して、任意のアプリからプリントできます。
複数のメーカーの Mopria®認証プリンターを使用している場合や、外出先に Mopria®認証プリンターがあった場合などに、メーカーごとの専用アプリや専用プラグインをインストールすることなくプリントが可能です。

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 137)**
- プリント方法や Mopria®認証プリンターについては、以下のホームページを参照してください。
  https://mopria.org/

Chrome OS からプリントする

EALA-04E

Chromebook など、Chrome OS を搭載している機器では、専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、プリントできます。

使用方法

- Chrome OS 搭載機器と本機を接続します。 **ネットワークの設定(P. 39)**
  USB 接続の場合は、本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。 **背面(P. 10)**
- プリント方法については、Chromebook のヘルプページを参照してください。
  https://support.google.com/chromebook/answer/7225252/

■IPP Everywhere で印刷する

本機は IPP Everywhere にも対応しています。お使いの Chromebook が IPP Everywhere に対応している場合は、IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接印刷することができます。

1. **リモート UI に管理者モードでログインする** **リモート UI を起動する(P. 185)**
2. **リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする** **リモート UI のポータル画面(P. 187)**
3. **［ネットワーク設定］▶［IPP Everywhere 設定］▶［編集］をクリックする**
   ➠［IPP Everywhere 設定の編集］画面が表示されます。
4. **［IPP Everywhere を使用する］にチェックマークを付け、［OK］をクリックする**
   IPP Everywhere を使用すると、［IPP Everywhere を使用する］にある以下の設定値も［ON］になります。
   - HTTP を使用する
   - IPP 印刷設定
   - mDNS を使用する

セキュリティー

セキュリティー 151
管理者用の ID／暗証番号を設定する 152
ネットワークの保護 154
ファイアウォールを設定する 155
ポート番号を変更する 158
プロキシーを使用する 159
TLS を使用する 160
IEEE 802.1X を使用する 162
鍵と証明書を管理／検証する 164
鍵と証明書を生成する 165
鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する 167
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する 170
受信した証明書を OCSP で検証する 172
不正使用の防止 173
リモート UI の使用を制限する 174
モバイル機器からの使用を制限する 176
パソコンと USB 接続できないようにする 177
LPD/RAW/WSD を設定する 178
HTTP 通信を使用できないようにする 180

セキュリティー

EALA-04F

本機は、通信を伴う機能やさまざまなデータを扱う情報機器です。ネットワーク環境で使用する場合の不正アクセス防止対策をはじめ、情報の漏えいなどのセキュリティーリスクへの対策が不可欠です。
本機には、こうした脅威や脆弱性を低減するための機能や設定が用意されています。使用環境や利用状況に合わせて適切に設定／運用することで、より安全に本機を使用できます。

管理体制の整備

本機の管理／設定を行う際には、管理者専用のアカウントを使用します。特定の管理者だけがこのアカウントの ID と暗証番号を知っている体制で、本機を運用します。

管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)

ネットワーク環境に応じた設定

ネットワークセキュリティーに関する設定を、使用環境に合わせて適用することで、不正アクセスや盗聴などの脅威を低減できます。

ネットワークの保護(P. 154)

利用状況に応じた対策

たとえば、リモート UI の不正使用を防ぐには、暗証番号による保護や使用制限の設定などが有効です。本機の利用状況に合わせ、運用も含めた対策を実施することで、セキュリティーを向上させます。

不正使用の防止(P. 173)

プリンターの挙動監視

EDR（Endpoint Detection Response）機能を用いてお使いのプリンターの挙動を監視し、検知機能が外部からの攻撃を検知して通知します。

［プリンター EDR］(P. 258)

管理者用の ID／暗証番号を設定する

EALA-04H

「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定して、管理者専用のアカウントを作成します。
管理者専用のアカウントを作成することで、上記を知っているユーザーだけが、重要な設定を閲覧／変更できる「管理者モード」にログインできるようにします。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す **［ホーム］画面(P. 84)**

2 ［管理設定］▶ OK ▶［ユーザー管理］▶ OK ▶［管理者情報の設定］▶ OK を押す

➡［管理者情報の設定］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 ［管理者 ID と管理者暗証番号］▶ OK を押し、管理者 ID を入力して、 OK を押す

「00」や「0000000」など、0 だけの管理者 ID は設定できません。

4 管理者暗証番号を入力し、 OK を押す

「00」や「0000000」など、0 だけの管理者暗証番号は設定できません。「7654321」以外の番号を設定します。

5 同じ暗証番号を入力し、 OK を押す

➡設定が反映されます。

重要

- 管理者 ID と管理者暗証番号は忘れないようにしてください。管理者 ID と管理者暗証番号を忘れた場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください（有償）。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

MEMO

管理者情報を設定する

- ［管理者情報の設定］画面で、［管理者名］を押すと、管理者の名前を設定できます。
- パソコンからリモート UI を使用して設定すると、メールアドレスなど他の管理者情報も設定できます。
  - 設定した情報は、リモート UI の［状況確認/中止］▶［デバイス情報］に表示されます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)**

- 設定したメールアドレスは、リモート UI のポータル画面で、［管理者へメール］をクリックした場合の宛先となります。 **リモート UI のポータル画面(P. 187)**

管理者 ID や管理者暗証番号の設定を解除する

- 管理者 ID と管理者暗証番号の入力内容を消去し、空欄の状態で［確定］を押します。

ネットワークの保護

EALA-04W

本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイルなどの機器と連携し、より便利に使用できるようになります。その反面、ネットワーク上では、不正アクセスや盗聴による脅威にさらされるリスクがあります。
ネットワーク環境に合わせてセキュリティーに関する設定を行うことで、こうしたリスクを低減し、より安全に本機を使用できるようにします。

ファイアウォール設定によるフィルタリング
特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器との通信のみを許可することで、不正なアクセスを防ぎます。
ファイアウォールを設定する(P. 155)

ポート制御
パソコンやサーバーなど通信を行う機器側で、使用するポート番号が変更された場合は、本機の設定も変更します。また、不要なプロトコルが明らかな場合は、本機での使用を禁止することで該当するポートを閉じ、外部からの侵入を防ぎます。
ポート番号を変更する(P. 158)

プロキシーサーバーの利用
プロキシーサーバーを経由してネットワークに接続することで、外部との通信が管理しやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティーを強化できます。
プロキシーを使用する(P. 159)

TLS による通信の暗号化
リモート UI 使用時の通信を TLS により暗号化できます。通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを低減します。
TLS を使用する(P. 160)

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境での利用
IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境に本機を接続する場合は、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。
IEEE 802.1X を使用する(P. 162)

鍵と証明書の管理／検証
暗号化通信に使用する鍵と証明書を本機で生成したり、発行機関から取得した鍵と証明書を登録したりできます。証明書失効確認（OCSP）を設定すると、通信相手から受信した証明書が失効していないかを検証できます。
鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)

■関連項目

セットアップ時のネットワーク設定については、以下を参照してください。
使用するネットワーク環境に合わせる(P. 57)

ファイアウォールを設定する

EALA-04X

パケットフィルタリング型のファイアウォールを設定して、不正なアクセスを防ぎます。
まず前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを設定します。次に、その条件の例外として通信を拒否または許可する機器を、IP アドレスや MAC アドレスで指定します。
指定できるアドレスの数や、通信制限可能なプロトコルについては、ファイアウォールの仕様を参照してください。 **ファイアウォール(P. 25)**

IP アドレスフィルターを設定する(P. 155)
MAC アドレスフィルターを設定する(P. 156)

重要

- 本機を Wi-Fi に接続している場合、MAC アドレスフィルターは設定できません。
- 本機から他機へのデータ送信を拒否するように設定しても、マルチキャストおよびブロードキャストアドレスは制限されません。

IP アドレスフィルターを設定する

使用環境に合わせて、IPv4 アドレスフィルターまたは IPv6 アドレスフィルターを設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、[ホーム] 画面の [メニュー] ▶ [環境設定] から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、フィルターを有効にするかどうかのみです。 **[ファイアウォール設定] (P. 215)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

重要

- IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI にアクセスできなくなることがあります。その場合は、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI で IP アドレスを設定しなおします。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 185)**

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 187)**

3 [ネットワーク設定] ▶ [ファイアウォール設定] をクリックする

➠ [ファイアウォール設定] 画面が表示されます。

4 IP アドレスの送信フィルターまたは受信フィルターの [編集] をクリックする

- 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、送信フィルターの [編集] をクリックします。
- 他機からのデータ受信を制限する場合は、受信フィルターの [編集] をクリックします。

5 ［フィルターを使用する］にチェックマークを付ける

➡IP アドレスフィルターが有効になります。

6 ［デフォルトポリシー ］で、フィルターの前提条件を設定する

フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

7 ［例外アドレス］を登録する

- ［登録するアドレス ］に IP アドレスを入力し、［追加］をクリックします。
- 「-」（ハイフン）またはプレフィックス表記を使用して、IP アドレスを範囲で指定することもできます。

入力例：

- **単一の IPv4 アドレス**
  192.168.0.10
- **単一の IPv6 アドレス**
  fe80::10
- **範囲指定**
  192.168.0.10-192.168.0.20
  192.168.0.32/27
  fe80::1234/64

8 ［OK］をクリックする

9 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➡設定が反映されます。

MAC アドレスフィルターを設定する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、一部の項目は操作パネルでは設定できません。 ［ファイアウォール設定］(P. 215)
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

重要

- MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI にアクセスできなくなることがあります。その場合は、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI で MAC アドレスを設定しなおします。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［ファイアウォール設定］をクリックする

➡［ファイアウォール設定］画面が表示されます。

4 MAC アドレスの送信フィルターまたは受信フィルターの［編集］をクリックする

- 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、送信フィルターの［編集］をクリックします。
- 他機からのデータ受信を制限する場合は、受信フィルターの［編集］をクリックします。

5 ［フィルターを使用する］にチェックマークを付ける

➡MAC アドレスフィルターが有効になります。

6 ［デフォルトポリシー ］で、フィルターの前提条件を設定する

フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

7 ［例外アドレス ］を登録する

- ［登録するアドレス ］に MAC アドレスを入力し、［追加］をクリックします。
- MAC アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）などで区切らずに入力します。

入力例：
123A456B789C

8 ［OK］をクリックする

9 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➡設定が反映されます。

ポート番号を変更する

EALA-04Y

通常はおもなプロトコルに決まったポート番号を使用しますが、セキュリティー向上を図るために、使用するポート番号を変更することがあります。ポート番号はパソコンやサーバーなどの通信機器間で同じ設定にする必要があるため、ポート番号が変更された場合は本機側でも設定を変更します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［ポート番号設定］(P. 224)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［ポート番号設定］▶［編集］をクリックする

➡［ポート番号設定の編集］画面が表示されます。

4 対象のプロトコルのポート番号を変更し、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➡設定が反映されます。

MEMO

プロトコルの設定

- 各プロトコルの設定、またはプロトコルを使用する機能の設定は、以下を参照してください。
  LPD/RAW/WSD **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 178)**
  HTTP **HTTP 通信を使用できないようにする(P. 180)**
  SNMP **SNMP を設定する(P. 64)**

プロキシーサーバーのポート番号を変更する

- プロキシーサーバーのポート番号を変更したい場合は、以下を参照してください。
  プロキシーを使用する(P. 159)

プリンタードライバーのポート番号の設定を変更する（Windows のみ）

- 本機側でプリントのプロトコル（LPD または RAW）のポート番号を変更した場合は、パソコン側の設定も同様に変更します。 **プリンターポートを設定する（Windows のみ）(P. 109)**

プロキシーを使用する

EALA-050

プロキシーサーバーを経由してネットワークに接続することで、外部との通信が管理しやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティーを強化できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- プロキシーサーバーのアドレス、ポート番号、認証情報を手元に用意します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］ ［プロキシー設定］ ［編集］をクリックする

➠［プロキシー設定の編集］画面が表示されます。

4 ［プロキシーを使用する］にチェックマークを付ける

5 プロキシーサーバーのアドレスとポート番号を入力する

- ［HTTP プロキシーサーバーのアドレス ］に、IP アドレスやホスト名などを入力します。
- ［HTTP プロキシーサーバーのポート番号 ］に、ポート番号を入力します。

6 使用環境に合わせて、適用範囲や認証情報などの設定をする

■同じドメインの機器との通信にも指定したプロキシーサーバーを使用する場合

［同一ドメインにもプロキシーを使用する］にチェックマークを付けます。

■プロキシーサーバー接続時に認証が必要な場合

［プロキシー認証を使用する］にチェックマークを付け、認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。
認証で使用するパスワードを設定する場合は、［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、パスワードを半角英数字で入力します。

7 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

TLS を使用する

EALA-051

TLS（Transport Layer Security）とは、ネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI 使用時の通信などを TLS により暗号化することで、通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを低減します。
リモート UI 使用時の通信を TLS により暗号化するには、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書（サーバー証明書）を指定してから、リモート UI での TLS の使用を有効にします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、リモート UI での TLS の使用を有効にするかどうかのみです。**［リモート UI を使用］(P. 254)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を用意します。**鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［TLS 設定］をクリックする

➡［TLS 設定］画面が表示されます。

4 TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定する

1 ［鍵と証明書設定］の［鍵と証明書］をクリックする

➡［鍵と証明書設定］画面が表示されます。

2 使用する鍵と証明書の右側にある［使用鍵登録］をクリックする

- 鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

5 TLS のバージョンとアルゴリズムを設定する

1 ［TLS 詳細設定］の［編集］をクリックする

➡［TLS 詳細設定の編集］画面が表示されます。

2 使用可能なバージョンとアルゴリズムを設定し、［OK］をクリックする
バージョンとアルゴリズムには、使用できない組み合わせがあります。バージョンとアルゴリズムの組み合わせについては、TLS の仕様を参照してください。**TLS(P. 27)**

［使用可能なバージョンの指定］

TLS の上限バージョンと下限バージョンを指定します。

[アルゴリズム設定]

TLS で使用するアルゴリズムにチェックマークを付けます。

6 リモート UI での TLS の使用を有効にする

1 [ライセンス/その他] ▶ [リモート UI 設定] ▶ [編集] をクリックする

➡ [リモート UI 設定の編集] 画面が表示されます。

2 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➡ 設定が反映されます。

MEMO

リモート UI 起動時に警告メッセージが表示された場合

- TLS を有効にしてリモート UI を起動すると、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がなければ操作を続行します。

IEEE 802.1X を使用する

EALA-053

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境では、認証サーバー（RADIUS サーバー）に認証されたクライアント機器（サプリカント）だけが LAN スイッチ（オーセンティケーター）にネットワーク接続を許可されているため、不正なアクセスが遮断されています。この IEEE 802.1X 認証が導入されているネットワークに本機を接続するには、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。

IEEE 802.1X の認証方式(P. 162)
IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

IEEE 802.1X の認証方式

本機が対応している IEEE 802.1X の認証方式は以下のとおりです。

TLS
本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。他の認証方式と併用することはできません。

TTLS
本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択でき、PEAP との併用も可能です。

PEAP
必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルは MSCHAPv2 を使用します。

IEEE 802.1X を設定する

IEEE 802.1X の使用を有効にしてから、認証方式を設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、IEEE 802.1X の使用を有効にするかどうかのみです。**［IEEE 802.1X 設定］(P. 214)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 認証方式に TLS を使用する場合は、本機の認証に使用する認証局発行の鍵と証明書を用意します。**鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)**
  ※サーバーの認証には、プリインストールされた CA 証明書、またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。
- 認証方式に TTLS/PEAP を使用する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS 暗号化通信にします。**TLS を使用する(P. 160)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］▶［IEEE 802.1X 設定］▶［編集］をクリックする

➡［IEEE 802.1X 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［IEEE 802.1X を使用する］にチェックマークを付け、ログイン名を入力する

ログイン名には、ユーザーを識別するための名前（EAP Identity）を半角英数字で入力します。

■認証サーバーの証明書を検証する場合

［認証サーバーの証明書を検証する］にチェックマークを付けます。
証明書の共通名（Common Name）を検証する場合は、［認証サーバー名を検証する］にチェックマークを付け、ユーザーが登録されている認証サーバーの名前を入力します。

5 使用する認証方式に応じた設定をする

■TLS を使用する場合

1 ［TLS を使用する］にチェックマークを付ける

2 ［使用する鍵の名前 ］の［鍵と証明書］をクリックする

➡［鍵と証明書設定］画面が表示されます。

3 使用する鍵と証明書の右側にある［使用鍵登録］をクリックする

- 鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

■TTLS/PEAP を使用する場合

1 ［TTLS を使用する］または［PEAP を使用する］にチェックマークを付ける
TTLS を使用する場合は、使用する内部プロトコルを選択します。

2 ［ユーザー名にログイン名を使用する］で、ユーザー名に IEEE 802.1X 認証のログイン名を使用するかどうかを設定する

3 ［ユーザー名/パスワード設定 ］の［ユーザー名/パスワード変更］をクリックする

➡［ユーザー名/パスワードの変更］画面が表示されます。

4 ユーザー名やパスワードを設定し、［OK］をクリックする

- ユーザー名は半角英数字で入力します。
- パスワードを設定する場合は、［パスワードを変更する］にチェックマークを付け、［パスワード ］と［確認入力 ］の両方に同じパスワードを半角英数字や記号で入力します。

6 ［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➡設定が反映されます。

鍵と証明書を管理／検証する

EALA-054

リモート UI 使用時の通信を TLS により暗号化する場合や、IEEE 802.1X の認証方式に TLS を使用する場合は、鍵と証明書が必要になります。また、通信先によっては、指定された証明書による暗号化通信を要求されることがあり、その場合にも鍵と証明書が必要です。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能一覧(P. 3)**

鍵と証明書の管理

本機では、以下の方法で鍵と証明書を準備できます。

鍵と証明書を自己生成する

TLS で必要となる鍵と証明書を本機で生成します。自己署名証明書が許可されている通信をすぐに実行することができます。

鍵と証明書を生成する(P. 165)

自己生成した鍵に認証局で発行された証明書を登録する

本機で鍵を生成するときに、CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）を生成して認証局に申請し、認証局で発行された証明書を登録します。

鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する(P. 167)

発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

鍵と証明書を自己生成せず、発行機関から入手した鍵と証明書や、認証局から発行された CA 証明書を登録します。通信先や認証レベルに合わせた電子証明書を使用することができます。

発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 170)

証明書の検証

本機が通信相手から証明書を受信したときに、OCSP（Online Certificate Status Protocol）を使用して、証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

受信した証明書を OCSP で検証する(P. 172)

鍵と証明書を生成する

EALA-055

TLS を使用した暗号化通信に必要な鍵と証明書を本機で生成します。自己生成した鍵には自己署名証明書が使われます。
本機で生成可能な鍵と証明書のアルゴリズムについては、自己生成鍵と自己署名証明書の仕様を参照してください。 **鍵と証明書(P. 25)**

鍵と証明書は、パソコンからリモート UI を使用して生成します。操作パネルを使用して生成することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] ▶ [鍵生成] をクリックする

➠ [鍵生成] 画面が表示されます。

4 [ネットワーク通信用] を選択し、[OK] をクリックする

➠ [ネットワーク通信用の鍵生成] 画面が表示されます。

5 [鍵の設定] で、鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する

- 鍵の名前は半角英数字で入力します。
- 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

6 [証明書の設定] で、証明書の情報を設定する

[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)] ／ **[有効期限終了日(YYYY/MM/DD)]**

証明書の有効期間の開始日と終了日を入力します。

[国/地域名]

[国/地域名で選択] を選択してプルダウンメニューから国／地域名を選択するか、[インターネット国コードで入力] を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] ／ **[市町村]** ／ **[組織]** ／ **[組織単位]**

必要に応じて、各項目を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」（CN）または「一般名」に該当します。

7 [OK] をクリックする

➠［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］に、生成した鍵と証明書が追加されます。

8 リモート UI からログアウトする



生成した証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する

EALA-056

本機で生成した証明書には認証局の署名がないため、通信相手によっては通信できないことがあります。その場合、認証局が発行した署名付きの証明書を鍵に登録することで、自己生成した鍵でも通信できるようになります。
署名付きの証明書を認証局に発行してもらうには、CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）のファイルを添付して申請する必要があります。本機では、鍵の生成と同時に CSR を生成します。
本機で生成可能な鍵と CSR のアルゴリズムについては、自己生成鍵と CSR の仕様を参照してください。 **鍵と証明書(P. 25)**

鍵と CSR を生成する(P. 167)
認証局から発行された証明書を鍵に登録する(P. 168)

鍵と CSR を生成する

鍵と CSR は、パソコンからリモート UI を使用して生成します。操作パネルを使用して生成することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［デバイス管理］ ▶ ［鍵と証明書設定］ ▶ ［鍵生成］をクリックする

➡［鍵生成］画面が表示されます。

4 ［鍵と証明書署名要求(CSR)］を選択し、［OK］をクリックする

➡［鍵と証明書署名要求(CSR)の生成］画面が表示されます。

5 ［鍵の設定］で、鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する

- 鍵の名前は半角英数字で入力します。
- 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを［RSA］または［ECDSA］から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

6 ［証明書署名要求(CSR)の設定］で、CSR の情報を設定する

［国/地域名］

［国/地域名で選択］を選択してプルダウンメニューから国／地域名を選択するか、［インターネット国コードで入力］を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

［都道府県］／［市町村］／［組織］／［組織単位］

必要に応じて各項目を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」（CN）または「一般名」に該当します。

7 [OK] をクリックする

➠ [鍵と証明書署名要求(CSR)詳細情報] 画面が表示されます。

8 [ファイルに保存] をクリックし、CSR のファイルをパソコンに保存する

9 リモート UI からログアウトする

10 CSR のファイルを添付して認証局に申請する

MEMO

- CSR を生成した時点で、鍵は本機に登録されますが、認証局から発行された証明書を登録するまで使用できません。

認証局から発行された証明書を鍵に登録する

証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする

➠ [鍵と証明書設定] 画面が表示されます。

4 証明書を登録する鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックする



➠[鍵と証明書署名要求(CSR)詳細情報］画面が表示されます。

5 ［証明書の登録］をクリックする

6 ［ファイルの指定］の［参照］をクリックし、認証局から発行された証明書のファイルを指定する

登録可能な認証局から発行された証明書のファイルサイズは 4 キロバイト以内です。

7 ［登録］をクリックする

➠[鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］に表示される証明書のアイコンが、[ ] ▶ [ ] に変わります。

8 リモート UI からログアウトする

MEMO

登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

EALA-059

電子証明書の発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書のファイルは、本機にインストールして登録することで使用できるようになります。

鍵と証明書／CA 証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機で使用できる鍵と証明書／CA 証明書の条件を確認します。 **鍵と証明書(P. 25)**
- 鍵と証明書を登録する場合は、ファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを確認します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［デバイス管理］▶［鍵と証明書設定］または［CA 証明書設定］をクリックする

➡［鍵と証明書設定］画面または［CA 証明書設定］画面が表示されます。

4 ［鍵と証明書の登録］または［CA 証明書登録］をクリックする

➡［鍵と証明書の登録］画面または［CA 証明書登録］画面が表示されます。

5 鍵と証明書／CA 証明書のファイルをインストールする

- インストール可能な鍵のファイルサイズは 16 キロバイト以内です。
- インストール可能な CA 証明書のファイルサイズは 4 キロバイト以内です。

1 ［インストール］をクリックする

2 ［ファイルの指定］の［参照］をクリックし、インストールするファイルを指定する

3 ［インストール開始］をクリックする

➡［鍵と証明書の登録］画面の［インストールされている鍵と証明書］、または［CA 証明書登録］画面の［インストールされている CA 証明書］に、インストールしたファイルが追加されます。

6 鍵と証明書／CA 証明書を登録する

■鍵と証明書を登録する場合

1 登録する鍵と証明書ファイルの右側にある［登録］をクリックする

➡[秘密鍵パスワードの入力]画面が表示されます。

2 鍵の名前とパスワードを半角英数字で入力し、[OK]をクリックする

➡[鍵と証明書設定]画面の[登録されている鍵と証明書]に、登録した鍵と証明書が追加されます。

■CA 証明書を登録する場合

登録する CA 証明書ファイルの右側にある[登録]をクリックします。

➡[CA 証明書設定]画面の[登録されている CA 証明書]に、登録した CA 証明書が追加されます。

7 リモート UI からログアウトする



登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定]画面の[登録されている鍵と証明書]で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証]をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

登録した CA 証明書の詳細情報を確認／検証する

- [CA 証明書設定]画面の[登録されている CA 証明書]で、発行先をクリックすると、CA 証明書の詳細情報を確認できます。
- CA 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証]をクリックすると、CA 証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書／CA 証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。
- プリインストールされている CA 証明書は削除できません。プリインストールされている CA 証明書が不要な場合は、CA 証明書の右側にある[無効]をクリックします。

受信した証明書を OCSP で検証する

EALA-05A

OCSP（Online Certificate Status Protocol）とは、認証局が発行した証明書が失効していないかを、OCSP レスポンダー（OCSP に対応したサーバー）に問い合わせるためのプロトコルです。
本機が通信相手から証明書を受信したときに、OCSP を使用して証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［デバイス管理］▶［証明書失効確認(OCSP)設定］▶［編集］をクリックする

➠［証明書失効確認(OCSP)設定の編集］画面が表示されます。

4 ［証明書失効確認(OCSP)を使用する］にチェックマークを付ける

5 検証レベルと OCSP レスポンダーの設定をする

［証明書検証レベル］

OCSP レスポンダーに接続できない場合など、証明書失効確認ができなかったときに、証明書を有効とするかどうかを設定します。

［OCSP レスポンダー設定］

使用する OCSP レスポンダーの URL を選択します。

［任意の URL］

［任意の URL を使用する］または［証明書記載の URL、任意の URL の順に使用する］を選択した場合、OCSP レスポンダーの URL を入力します。

［通信タイムアウト］

通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

6 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

不正使用の防止

EALA-05K

本機には、効率的に管理／操作するための各種設定が用意されています。便利な反面、情報や設定に誰もがアクセスできると、情報漏えいやトラブルの原因につながります。
各機能の利用状況に応じて、アクセス制限や機能の無効化の対策を行い、安全に本機を使用できるようにします。

情報／設定へのアクセス制限

本機の情報／設定にアクセスするユーザーや操作を制限することで、不正使用を防ぎ、機密情報を保護します。

リモート UI の使用を制限する(P. 174)

モバイル機器からの使用を制限する(P. 176)

使用しない機能の無効化

使用しない機能が明らかな場合は、その機能を無効にすることで、外部からの侵入を防ぐことができます。

パソコンと USB 接続できないようにする(P. 177)
LPD/RAW/WSD を設定する(P. 178)
HTTP 通信を使用できないようにする(P. 180)

■関連項目

管理者用のアカウントについては、以下を参照してください。

管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)

リモート UI の使用を制限する

EALA-05L

リモート UI はパソコンから本機を操作できる利便性がある反面、第三者がリモート UI を介して本機へアクセスするリスクを伴います。
リモート UI の使用時に、パスワードの入力が必要になるように設定することで、第三者による不正使用を防ぎます。
リモート UI を使用しない場合は、リモート UI の機能自体を無効にすることをおすすめします。

リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 174)
リモート UI を使用できないようにする(P. 175)

リモート UI 使用時のパスワードを設定する

リモート UI のパスワードを知っているユーザーだけが、リモート UI を使用できるようにします。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
「パスワード」を設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
管理者権限が必要です。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す** **［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［管理設定］▶ OK ▶［リモート UI 設定/ファームウェア更新］▶ OK ▶［リモート UI 設定］▶ OK ▶［パスワードの使用］▶ OK を押す**

➡［パスワードの使用］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 **［パスワードの使用］を［ON］に設定し、リモート UI のパスワードを入力して、OK を押す**

4 **同じパスワードを入力し、OK を押す**

➡設定が反映されます。

MEMO

設定メニューの［管理設定］を初期化した場合

- 操作パネルの設定メニューで、新しいリモート UI のパスワードを再設定します。 **［パスワードの使用］(P. 254)**

リモート UI を使用できないようにする

リモート UI 自体を使用できないようにすることで、ネットワークを介した本機への不正アクセスのリスクを減らします。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す** **［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［管理設定］▶ OK ▶［リモート UI 設定/ファームウェア更新］▶ OK ▶［リモート UI 設定］▶ OK を押す**

➡［リモート UI 設定］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 **［リモート UI を使用］▶ OK ▶［OFF］▶ OK を押す**

4 **本機を再起動する** **再起動する(P. 78)**

➡設定が反映されます。

モバイル機器からの使用を制限する

EALA-05F

本機は、メーカー共通で使用可能な Mopria®のプラグインに対応しています。
Mopria®を使用することで、キヤノンの専用プラグインをインストールすることなく、スマートフォンなどの任意のアプリや、Chrome OS 搭載機器からプリントできます。
モバイル機器からの使用は、便利な反面、情報漏えいの要因となるおそれがあります。Mopria®の使用を禁止できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 [ネットワーク設定] [Mopria 設定] [編集] をクリックする

[Mopria 設定の編集] 画面が表示されます。

4 [Mopria を使用する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする

設定が反映されます。

5 リモート UI からログアウトする

MEMO

- Mopria®の設定が有効な場合、以下のネットワーク設定も連動して有効になります。
  - HTTP **[HTTP を使用] (P. 224)**
  - IPP 印刷 **[IPP 印刷の設定] (P. 224)**
  - mDNS（IPv4） **[mDNS 設定] (P. 220)**
  - mDNS（IPv6） **[mDNS 設定] (P. 222)**

パソコンと USB 接続できないようにする

EALA-05R

本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートを使用できないようにすることで、セキュリティー対策が講じられたネットワークを介さずに本機が利用されるリスクを低減します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［USB 設定］(P. 226)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインするリモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックするリモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［外部インターフェイス設定］▶［編集］をクリックする

➠［外部インターフェイス設定の編集］画面が表示されます。

4 ［USB デバイスとして使用する］のチェックマークを外し、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する再起動する(P. 78)

➠設定が反映されます。

LPD/RAW/WSD を設定する

EALA-05S

パソコンから文書をプリントするときに使用する以下のプロトコルを、本機で使用するかどうかを設定します。
使用しないプロトコルが明らかな場合は、そのプロトコルを無効にすることをおすすめします。
LPD と RAW を使用する場合は、プリントデータの受信を中止するまでの時間を設定できます。

LPD
ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しないプロトコルです。TCP/IP のネットワーク環境で、広く使用されています。

RAW
Windows 独自のプリントデータ形式のプロトコルです。Windows 環境では、標準的に使用されています。

WSD
Windows からネットワーク上のプリンターを自動検出することができるプロトコルです。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［TCP/IP 設定］(P. 219)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［ネットワーク設定］をクリックする

4 LPD/RAW/WSD の設定をする

■LPD の設定をする場合

1 ［LPD 設定］▶［編集］をクリックする
➡［LPD 設定の編集］画面が表示されます。

2 LPD を使用するかどうかを設定する
LPD を使用しない場合は、［LPD 印刷を使用する］のチェックマークを外し、手順 5 に進みます。

3 ［受信タイムアウト ］に時間を入力する
プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を分単位で入力します。

■RAW の設定をする場合

1 ［RAW 設定］▶［編集］をクリックする
➡［RAW 設定の編集］画面が表示されます。

2 RAW を使用するかどうかを設定する

RAW を使用しない場合は、［RAW 印刷を使用する］のチェックマークを外し、手順 5 に進みます。

3 ［受信タイムアウト ］に時間を入力する
プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を分単位で入力します。

■WSD の設定をする場合

1 ［WSD 設定］▶［編集］をクリックする

➠［WSD 設定の編集］画面が表示されます。

2 WSD を使用するかどうかを機能ごとに設定する
WSD を使用しない場合は、WSD の使用を制限する機能のチェックマークを外します。

WSD を使用してプリントする場合

［WSD 印刷を使用する］にチェックマークを付けます。
［WSD 参照を使用する］にもチェックマークが付き、WSD を使用してパソコンから本機の情報が取得されるようになります。

マルチキャストによる本機の探索に応答する場合

［マルチキャスト探索を使用する］にチェックマークを付けます。
スリープモード中にマルチキャスト探索パケットを受信した場合に、応答せずにスリープモードを維持したいときは、チェックマークを外します。

5 ［OK］をクリックする

6 本機を再起動する 再起動する(P. 78)

➠設定が反映されます。

MEMO

WSD ネットワークデバイスを追加する

- ［ ］（スタート）▶［ ］（設定）▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］▶［プリンターまたはスキャナーを追加します］の［デバイスの追加］▶本機の［デバイスの追加］をクリックし、画面の指示に従って操作します。
- WSD ネットワークでドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

ポート番号を変更する

- 各プロトコルのポート番号を変更したい場合は、以下を参照してください。
ポート番号を変更する(P. 158)

HTTP 通信を使用できないようにする

EALA-05U

USB 接続のみで本機を使用する場合や、HTTP 通信を必要とする機能（リモート UI、WSD プリント、AirPrint など）を使用しない場合は、HTTP 通信自体を無効にすることをおすすめします。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［環境設定］▶ OK ▶［ネットワーク］▶ OK ▶［TCP/IP 設定］▶ OK ▶［HTTP を使用］▶ OK を押す

➡［HTTP を使用］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 ［OFF］▶ OK ▶［はい］▶ OK を押す

管理／設定

管理／設定 182
日付／時刻を設定する 183
パソコンによる本機の管理 - リモート UI 184
リモート UI を起動する 185
リモート UI のポータル画面 187
リモート UI で使用状況／履歴を確認する 189
使用状況の確認 191
プリントページ数を確認する - カウンター確認 192
レポート／リストをプリントして確認する 193
レポート／リストのプリント設定を変更する 195
Syslog プロトコルでログを送信する 196
ファームウェアをアップデートする 198
設定／データを初期化する 201

管理／設定

EALA-060

本機を運用するために必要となる、管理／設定に関する機能について説明します。

本機の稼働／使用状況の確認や各種設定

日付／時刻の設定

本機の日付と時刻を設定します。日時情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

日付／時刻を設定する(P. 183)

稼働状態の確認や設定の変更 - リモート UI

パソコンの Web ブラウザーを使用して、本機の稼働状態を確認したり、設定の変更を行ったりします。離れた場所から本機の管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。

パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)

使用状況の確認 - 操作パネル

本機の操作パネルでプリント総ページ数を確認したり、設定内容などのレポートやリストをプリントしたりします。

使用状況の確認(P. 191)

各種データ／ファームウェアの管理

ファームウェアのアップデート

本機に機能が追加された場合や、不具合が改修された場合は、ファームウェアが更新されます。最新のファームウェアにアップデートすることで、さらに安定した状態で快適に本機を使用できます。

ファームウェアをアップデートする(P. 198)

設定／データの初期化

本機を交換するときや廃棄するときは、すべての設定とデータを初期化します。初期化することで、機密情報の流出や、第三者による不正使用を防ぎます。

設定／データを初期化する(P. 201)

■関連項目

ネットワーク設定など、本機を使用するために必要な設定については、以下を参照してください。

セットアップ(P. 34)

日付／時刻を設定する

EALA-061

本機の日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻は、日時情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［タイマー/電力設定］(P. 209)**

1 リモート UI にログインするリモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックするリモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［タイマー設定］▶［編集］をクリックする

➡［タイマー設定の編集］画面が表示されます。

4 現在の日付と時刻を入力する

5 本機を使用する地域に合わせてタイムゾーンを設定する

インターネットを介した通信では、UTC（Coordinated Universal Time）を正しく設定することが前提となっています。UTC とは、世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本は UTC との間に ＋ 9 時間の時差があります。

6 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

MEMO

- 時計のずれが気になるときは、定期的に時刻を合わせてください。
- ネットワーク上の SNTP によってサーバーとの日付／時刻あわせを自動的に行うこともできます。**SNTP を設定する(P. 67)**

パソコンによる本機の管理 - リモート UI

EALA-062

リモート UI とは、パソコンの Web ブラウザーを使用して、本機の稼働状態を確認したり、設定の変更を行ったりする機能です。離れた場所から本機の管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能一覧(P. 3)**

リモート UI は、以下の 2 つのモードに分かれています。ログインしたモードにより、リモート UI でできることが異なります。

- **管理者モード**
  リモート UI のすべての機能を使用できます。
- **一般ユーザーモード**
  使用できる機能が、使用状況／履歴の確認やプリントの中止、一部の設定の変更などに限られます。

リモート UI を起動する(P. 185)
リモート UI のポータル画面(P. 187)
リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)

■関連項目

第三者によるリモート UI の不正使用を防ぐため、以下の機能を設定することをおすすめします。

管理者 ID
管理者専用のアカウントである管理者 ID を設定して、この ID を知っているユーザーだけが管理者モードでログインできる状態にします。
管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)

リモート UI のパスワード
リモート UI のログイン時にパスワードの入力が必要となるように設定して、このパスワードを知っているユーザーだけがリモート UI を使用できる状態にします。
リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 174)

リモート UI を起動する

EALA-063

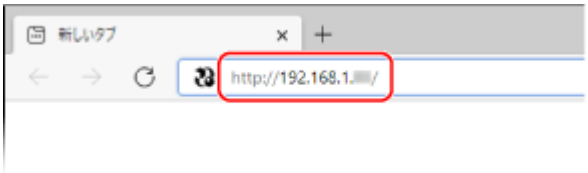
リモート UI を使用するには、パソコンの Web ブラウザーから本機の IP アドレスにアクセスし、管理者モードまたは一般ユーザーモードでログインします。ログインしたモードにより、リモート UI でできることが異なります。

必要な準備

- リモート UI の動作環境を確認します。 **サポート環境(P. 29)**
- リモート UI を起動するパソコンと本機をネットワーク接続します。 **ネットワークの設定(P. 39)**
- 本機の IP アドレスを確認します。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 69)**

1 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

http://<本機の IP アドレス>/



➠ リモート UI のログイン画面が表示されます。
リモート UI の通信が暗号化されている場合は、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がなければ操作を続行します。

IPv6 アドレスを入力するときは、IP アドレスを [ ] で囲んで入力します。

入力例：
http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/

■リモート UI のログイン画面が表示されない場合

［リモート UI にアクセスできません。］などのメッセージが表示されて、ログイン画面が表示されない場合は、以下を参照してください。
リモート UI にアクセスできない(P. 337)

2 ［管理者モード］または［一般ユーザーモード］を選択し、ログインに必要な項目を入力する



［管理者モード］

管理者 ID が設定されている場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

※管理者モードでログインするには、管理者暗証番号を初期設定から変更しておく必要があります。 **管理者用のID／暗証番号を設定する(P. 152)**

[一般ユーザーモード]

ユーザー名を入力しなくてもログインできますが、待機中のプリントを確認／中止する場合は、プリントのユーザー名を入力します。

※プリンタードライバーでユーザー名を設定していない場合は、プリントデータを送信したパソコンのログオンユーザー名などが自動的に設定されています。

[パスワード]

リモート UI のパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

3 [ログイン] をクリックする

➡ リモート UI のポータル画面が表示されます。 **リモート UI のポータル画面(P. 187)**

4 目的の操作が終わったら、[ログアウト] をクリックする

➡ リモート UI からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

5 Web ブラウザーを閉じる

重要

- リモート UI の使用中は、他の Web サイトにアクセスしないでください。

MEMO

自動的にログアウトされるまでの時間を設定する

- リモート UI にログインしたあと、操作がない状態で一定時間が経過すると、自動的にログアウトされます。ログアウトされるまでの時間は、以下の手順で設定できます。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [セッション設定] ▶ [編集] ▶ ログアウトされるまでの時間を入力 ▶ [OK]

リモート UI のポータル画面

EALA-064

リモート UI にログインすると、ポータル画面（リモート UI のトップページ）が表示されます。本機の稼働状態や各種情報を確認したり、ボタンをクリックして設定を変更したりできます。



[デバイス名]
［設定/登録］▶［デバイス管理］▶［デバイス情報設定］に設定されているデバイス名が表示されます。

[製品名]
本機の製品名が表示されます。

[設置場所]
［設定/登録］▶［デバイス管理］▶［デバイス情報設定］に設定されている設置場所が表示されます。

[ログインユーザー]
ログインしたユーザーの情報が表示されます。

[ログアウト]
リモート UI からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

[Language]
リモート UI の表示言語を切り替えます。
※パソコンとリモート UI の表示言語は合わせておく必要があります。表示言語が異なると、入力した内容が正しく表示されない場合や、フォルダーやサーバーなどの指定先を参照できない場合があります。

[管理者へメール]
［設定/登録］▶［ユーザー管理］▶［管理者情報］に設定されている管理者宛にメールを作成します。

[最終更新]
ポータル画面に表示されている情報の更新日時が表示されます。
日時の右側にある［ ］をクリックすると、最新の情報に更新されます。

[デバイス基本情報]
本機の現在の状況とエラー情報が表示されます。

エラーが発生している場合は、エラー情報画面へのリンクが表示されます。

[消耗品情報]
各給紙部の情報とトナーカートリッジの残量が表示されます。
[消耗品詳細]をクリックすると、トナーカートリッジの型番を確認できます。

[サポートリンク]
[設定/登録]▶[ライセンス/その他]▶[サポートリンク]に設定されている、本機のサポート情報へのリンクが表示されます。

[状況確認/中止]
クリックすると、[状況確認/中止]画面が表示されます。
各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などを確認できます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)**

[設定/登録]
クリックすると、[設定/登録]画面が表示されます。
管理者モードでログインしている場合は、すべての設定の変更や、データの保存／読み込みなどの操作ができます。

- [設定/登録]画面で設定できる項目は、操作パネルの設定メニューとほぼ同じですが、操作パネルまたはリモート UI のどちらかでしか設定できない項目もあります。 **設定メニュー一覧(P. 205)**
- 項目によっては、設定変更を反映するために、本機の再起動が必要です。再起動が必要な場合は、画面の上部にメッセージが表示されます。



[初期設定]（管理者モードのみ）
クリックすると、[初期設定]画面が表示されます。
リモート UI、Web サービス利用の初期設定ができます。 **リモート UI/Web サービス利用の初期設定(P. 37)**

リモート UI で使用状況／履歴を確認する

EALA-065

各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などを、リモート UI の［状況確認/中止］から確認します。

1 リモート UI にログインする リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［状況確認/中止］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 目的の項目を選択し、状況や履歴を確認する



［プリント］

［ジョブ状況］

プリント状況（プリント中／待機中）を確認できます。
管理者モードでログインしている場合は、すべてのプリント状況が表示されます。
一般ユーザーモードで［ユーザー名］を入力してログインした場合は、そのユーザーのプリント状況のみが表示されます。

- 一時停止中のプリントは、［受付番号］をクリックするとプリントの詳細情報が表示され、ユーザー名やプリント枚数などを確認できます。
- ［ジョブ操作］の［中止］をクリックすると、プリント中／待機中のプリントデータを削除できます。

［ジョブ履歴］

プリント履歴を 128 件まで確認できます。

［エラー情報］

本機で発生しているエラーの情報を確認できます。

※ポータル画面の［エラー情報］に表示されているリンクをクリックしても、同じ情報を確認できます。

［消耗品確認］

各給紙部の用紙サイズと用紙種類、トナーカートリッジの型番を確認できます。

※ポータル画面の［消耗品詳細］をクリックしても、同じ情報を確認できます。

［デバイス装備］

本機の仕様情報を確認できます。

［デバイス情報］

製品名やシリアルナンバーなど本機の情報、ファームウェアのバージョン情報、管理者情報を確認できます。

- ［デバイス名 ］と［設置場所 ］には、［設定/登録］▶［デバイス管理］▶［デバイス情報設定］の設定内容が表示されます。
- ［管理者情報］には、［設定/登録］▶［ユーザー管理］▶［管理者情報］の設定内容が表示されます。

［カウンター確認］

これまでに実行したプリントの総ページ数を確認できます。**プリントページ数を確認する - カウンター確認 (P. 192)**

［消耗品ステータス/ログ］

装着中の消耗品情報や、消耗品の交換履歴を確認できます。交換履歴はプルダウンメニューから消耗品を選択し、［表示切替］をクリックします。

［ECO 情報］

1 か月あたりの平均出力枚数と平均消費電力を確認できます。

4 確認が終わったら、リモート UI からログアウトする

使用状況の確認

EALA-066

本機の操作パネルで、これまでに実行したプリントの総ページ数をカウンターで確認したり、設定内容などのレポートやリストをプリントして確認したりできます。

プリントページ数を確認する - カウンター確認(P. 192)
レポート／リストをプリントして確認する(P. 193)

■関連項目

カウンター確認は、パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。また、リモート UI では、各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などの確認もできます。

リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)

プリントページ数を確認する - カウンター確認

EALA-067

カウンターを表示して、これまでに実行したプリントの総ページ数を確認できます。
プリントのページ数には、レポート／リストのプリントも含まれます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］ ▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

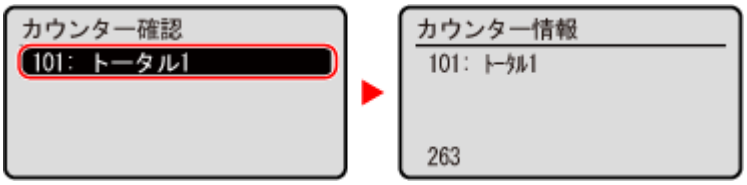
➠［状況確認］画面が表示されます。

2 ［デバイス状況］ ▶ OK ▶ ［カウンター確認］ ▶ OK を押す

➠［カウンター確認］画面が表示されます。

3 確認したい項目を選択し、OK を押す

4 プリントページ数を確認する



［101: トータル 1］

プリントの総ページ数を表示します。

レポート／リストをプリントして確認する

EALA-068

本機の使用状況や設定内容などのレポートやリストをプリントして確認できます。

レポート／リストの種類(P. 193)
レポート／リストをプリントする(P. 193)



レポート／リストを両面プリントする

- レポート／リストは、初期設定では用紙の片面にプリントされます。両面にプリントするように設定を変更できます。**レポート／リストのプリント設定を変更する(P. 195)**

レポート／リストの種類

本機の使用状況のレポート

消費電力や消耗品の状態など、本機の使用状況に関する以下のレポートをプリントして確認できます。

- **ECO レポート**
  月々のプリントページ数と消費電力を確認できます。これらの情報をもとに、用紙や電力の節約方法も確認できます。
- **消耗品ステータスレポート**
  本機にセットされている消耗品の状態を確認できます。
- **消耗品ステータス / ログレポート**
  装着中の消耗品情報や、消耗品の交換履歴を確認できます。

設定内容のリスト

本機の登録情報や設定内容などをまとめた以下のリストをプリントして確認できます。

- **ユーザーデータリスト**
  シリアルナンバーなどの本機の情報や、管理者権限を必要としない設定項目の内容を確認できます。
- **管理者データリスト**
  シリアルナンバーなどの本機の情報や、管理者権限が必要な設定項目の内容を確認できます。

レポート／リストをプリントする

レポート／リストは、操作パネルを使用してプリントします。パソコンからリモート UI を使用してプリントすることはできません。
管理者データリストをプリントするには、管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［レポート出力］▶ OK ▶［リストプリント］▶ OK を押す

3 プリントするレポート／リストを選択する

➠ プリント可能な用紙の確認画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、[<ログイン>] ▶ OK を押します。
管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)

4 プリント可能な用紙がセットされていることを確認し、[はい] ▶ OK を押す

➠ レポート／リストがプリントされます。

レポート／リストのプリント設定を変更する

EALA-069

レポート／リストは、初期設定では用紙の片面にプリントされます。両面にプリントするように設定を変更できます。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す** **［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［レポート出力］▶ OK ▶［仕様設定］▶ OK を押す**

➠［仕様設定］画面が表示されます。

3 **［レポート出力のデフォルト設定］▶ OK を押す**

➠［レポート出力のデフォルト設定］画面が表示されます。

4 **［両面プリント］▶ OK ▶［ON］▶ OK を押す**

Syslog プロトコルでログを送信する

EALA-06A

本機がどのように使用されているかを確認/分析するために、SIEM（セキュリティー情報・イベント管理）システムにログを送信することができます。
送信されるログの詳細については、ログの仕様を参照してください。
ログの種類(P. 28)
SIEM を用いたキヤノン複合機/プリンター監査ログの分析

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［デバイス管理］ ▶ ［Syslog 設定］ ▶ ［編集］をクリックする

➠［Syslog 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［Syslog 送信を利用する］にチェックマークを付ける

5 ［Syslog サーバーのアドレス ］に接続する Syslog サーバーのアドレスを入力する

使用する環境に応じて IP アドレスやホスト名などを入力します。

6 必要に応じて Syslog サーバーへアクセスする設定をする

［Syslog サーバーのポート番号 ］

Syslog サーバーが Syslog 通信に使用しているポート番号を入力します。空欄の場合は、RFC で規定されているポート番号（UDP：514、TCP：1468、TCP（TLS）：6514）が設定されます。

［ファシリティー ］

送信するログメッセージの種類を指定します。RFC で規定されている［LPR］、［Security Messages］、［Log Audit］、［Log Alert］、［Local0］～［Local7］から選択します。

［通信タイプ ］

［UDP］または［TCP］を選びます。［TCP］を選んだ場合は、TLS の使用の有無や、接続時に送信される TLS サーバー証明書やその CN（Common Name）の検証も指定できます。

7 ［OK］をクリックする

➠ログの送信が設定され、［Syslog 設定］の画面で送信履歴が確認できるようになります。

MEMO

- ログは、30 秒ごとのポーリング後に Syslog 送信を行うため、操作やイベントが発生してから送信されるまでに若干のタイムラグがあります。

ファームウェアをアップデートする

EALA-06E

機能の追加やバージョンアップが行われると、ファームウェアが更新されます。
ファームウェアのバージョンを確認の上、本機の使用環境に応じて、インターネット経由またはパソコン経由でファームウェアをアップデートします。

○：アップデート可　×：アップデート不可

本機の使用環境	インターネット経由	パソコン経由
有線 LAN 接続	○	○
Wi-Fi 接続	○	×
USB 接続	×	○
IPv6 を使用	×	×

※IPv6 環境の場合は、ファームウェアをアップデートできません。本機とパソコンを USB 接続し、パソコン経由でアップデートします。

ファームウェアのバージョンを確認する(P. 198)
インターネット経由でファームウェアをアップデートする(P. 199)
パソコン経由でファームウェアをアップデートする(P. 200)

ファームウェアのバージョンを確認する

アップデートの実行前に現在のバージョンを確認しておき、アップデート後に再度バージョンを確認することで、ファームウェアが正しくアップデートされたかどうかを確認できます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す **［ホーム］画面(P. 84)**

2 ［管理設定］▶ OK ▶ ［リモート UI 設定/ファームウェア更新］▶ OK ▶ ［ファームウェア更新］▶ OK を押す

➠［ファームウェア更新］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 ［バージョン情報］を選択し、OK を押す

➠現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

インターネット経由でファームウェアをアップデートする

インターネット経由のアップデートは、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用してアップデートすることはできません。
管理者権限が必要です。アップデートすると、本機が自動的に再起動します。

必要な準備

- 本機をインターネットに接続します。 **ネットワークの設定(P. 39)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［管理設定］▶ OK ▶［リモート UI 設定/ファームウェア更新］▶ OK ▶［ファームウェア更新］▶ OK ▶［インターネット経由］を押す

➡ キヤノンのサーバーにアクセスし、新しいファームウェアがあるかどうかを確認します。

［お使いのファームウェアは最新です。］と表示された場合は、アップデートは不要です。ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 ［はい］▶ OK を押す

4 利用許諾画面で、OK を押す

➡ ファームウェア更新の確認画面が表示されます。

5 OK を押す

➡ ファームウェアのダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、本機が自動的に再起動し、ファームウェアがアップデートされます。

重要

- 本機の再起動中や、ファームウェアのアップデート中は電源を切らないでください。アップデートに失敗することがあります。
- アップデートに失敗すると、起動時にエラーメッセージが表示され、本機が使用できなくなることがあります。その場合は、リカバリー専用のファームウェアを使用して、パソコン経由でアップデートしなおします。 **パソコン経由でファームウェアをアップデートする(P. 200)**
※リカバリー専用のファームウェアは、キヤノンホームページからダウンロードできます。
https://canon.jp/support

パソコン経由でファームウェアをアップデートする

有線 LAN または USB で本機と接続されているパソコンからファームウェアをアップデートします。

必要な準備

- アップデート作業を行うパソコンに、キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトから最新のファームウェアをダウンロードします。
  https://canon.jp/download/

■パソコンからのアップデート方法

ファームウェアに同梱されている「User Support Tool 操作ガイド」を参照してください。

■本機を更新待機状態（ダウンロードモード）にする必要がある場合

以下の手順で操作します。

この操作は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して操作することはできません。
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［管理設定］▶ OK ▶［リモート UI 設定/ファームウェア更新］▶ OK ▶［ファームウェア更新］▶ OK を押す

➡［ファームウェア更新］面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 ［PC 経由］を選択し、［はい］▶ OK を押す

➡本機がダウンロードモードに切り替わり、更新待機状態になります。

設定／データを初期化する

EALA-06F

設定内容や登録したデータなどを初期化して、本機を工場出荷時の状態に戻します。指定した設定やデータのみを初期化する方法と、すべての設定とデータを初期化する方法があります。

特定の設定／データの初期化
以下の項目を個別に初期化することができます。

- 設定メニュー：［ホーム］画面の［メニュー］の設定を初期化します。
- 鍵と証明書：鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化し、プリインストール以外の鍵や証明書を消去します。

特定の設定／データを初期化する(P. 201)

すべての設定／データの初期化
すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、履歴も含めて保存されているすべてのデータを消去します。本機の交換や廃棄時などは、機密情報の流出や不正使用を防ぐために初期化を実行します。
すべての設定／データを初期化する(P. 202)

特定の設定／データを初期化する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して初期化する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］または［管理設定］から初期化します。**［ネットワーク設定の初期化］(P. 216)** ／ **［データ管理］(P. 255)**
管理者権限が必要です。初期化する項目によっては、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 185)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 187)

3 ［データ管理］をクリックする

➡［データ管理］画面が表示されます。

4 初期化する項目を選択する

■設定メニューを初期化する場合
［メニューの初期化］をクリックし、［初期化するメニュー］から初期化する設定項目を選択します。

■鍵と証明書を初期化する場合
［鍵と証明書の初期化］をクリックします。

5 ［初期化］▶［OK］をクリックする

➡指定した項目が初期化されます。

6 リモート UI からログアウトする

■設定メニューを初期化した場合

以下のいずれかを初期化した場合は、設定の初期化を反映するために、本機を再起動します。 **再起動する(P. 78)**

- ［環境設定］
- ［ファンクション設定］
- ［管理設定］
- ［ネットワーク設定］

MEMO

鍵と証明書を初期化した場合

- TLS など、鍵と証明書を使用する機能が無効になります。もう一度これらの機能を使用するには、鍵と証明書を設定しなおしてから機能を有効にします。

設定メニューの［管理設定］を初期化した場合

- リモート UI のパスワードも初期化されます。リモート UI を使用するには、リモート UI のパスワードを設定しなおす必要があります。 **リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 174)**

すべての設定／データを初期化する

すべての設定／データの初期化は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して初期化することはできません。
管理者権限が必要です。初期化すると、本機が自動的に再起動します。

重要

- 初期化の前に、処理中や待機中のデータがないことを確認してください。初期化を行うと、これらのデータは削除されます。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［管理設定］▶ OK ▶ ［全データ/設定の初期化］▶ OK を押す

➡ 初期化の確認画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 OK ▶ ［はい］▶ OK を押す

➡ すべての設定／データが初期化されます。

初期化が完了すると、本機が自動的に再起動します。

設定メニュー一覧

設定メニュー一覧 205
［環境設定］ 206
［表示設定］ 207
［タイマー/電力設定］ 209
［ネットワーク］ 211
［Wi-Fi 設定］ 217
［TCP/IP 設定］ 219
［外部インターフェイス］ 226
［アクセシビリティー］ 227
［調整/メンテナンス］ 229
［画質調整］ 230
［特殊処理］ 231
［メンテナンス］ 236
［ファンクション設定］ 237
［共通］ 238
［給紙動作］ 239
［印刷動作］ 240
［プリンター］ 241
［プリンター設定］ 242
［管理設定］ 248
［ユーザー管理］ 250
［デバイス管理］ 251
［リモート UI 設定/ファームウェア更新］ 253
［リモート UI 設定］ 254
［データ管理］ 255
［セキュリティー設定］ 257
［認証/パスワード設定］ 259

設定メニュー一覧

EALA-06H

操作パネルの［ホーム］画面で［メニュー］を押すと表示される、設定メニューの各項目について説明します。
設定メニューでは、本機の使用環境や用途に合わせて設定を変更したり、機能を実行したりできます。
設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、本機の再起動が必要な場合があります。

- **［環境設定］(P. 206)**
- **［調整/メンテナンス］(P. 229)**
- **［ファンクション設定］(P. 237)**
- **［管理設定］(P. 248)**

メニュールートマップ（一覧表）

設定メニューの項目と設定値を一覧表で確認できます。
アイコンをクリックすると、該当のメニュールートマップ（PDF）が表示されます。



■関連項目

ログイン画面が表示された場合

管理者 ID が設定されている場合は、一部の項目を選択するとログイン画面が表示されます。必要な情報を入力して認証が成功すると、これらの設定を表示／変更できます。

ログイン方法(P. 90)

本機の再起動が必要な場合

設定を変更したあとに、本機を再起動します。

再起動する(P. 78)

設定メニュー以外の設定項目

用紙設定の項目は、［メニュー］画面で［用紙設定］を押すと表示されます。

用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)

リモート UI による設定

設定メニューの項目は、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。リモート UI では、ポータル画面の［設定/登録］から設定します。
リモート UI の［設定/登録］で設定できる項目は、操作パネルの設定メニューとほぼ同じですが、操作パネルまたはリモート UI のどちらかでしか設定できない項目もあります。また、リモート UI では項目の名称が一部異なる場合があります。

パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)

設定内容の確認

現在の設定内容をプリントして一覧で確認できます。

レポート／リストをプリントして確認する(P. 193)

[環境設定]

EALA-06J

本機を使用する環境に合わせて、操作パネルの画面の表示やネットワークなどについて設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[表示設定] (P. 206)**
- **[タイマー/電力設定] (P. 206)**
- **[ネットワーク] (P. 206)**
- **[外部インターフェイス] (P. 206)**
- **[アクセシビリティー] (P. 206)**

[表示設定]

[メニュー] ▶ [環境設定]

操作パネルの画面の表示について設定します。

- **[表示設定] (P. 207)**

[タイマー/電力設定]

[メニュー] ▶ [環境設定]

日付／時刻や節電について設定します。

- **[タイマー/電力設定] (P. 209)**

[ネットワーク]

[メニュー] ▶ [環境設定]

本機のネットワーク環境について設定します。

- **[ネットワーク] (P. 211)**

[外部インターフェイス]

[メニュー] ▶ [環境設定]

USB 接続について設定します。

- **[外部インターフェイス] (P. 226)**

[アクセシビリティー]

[メニュー] ▶ [環境設定]

画面の色反転やメッセージの表示時間など、操作パネルの画面を見やすくするための設定をします。

- **[アクセシビリティー] (P. 227)**

[表示設定]

EALA-06K

操作パネルの画面の表示について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[表示言語の切替] (P. 207)**
- **[リモート UI 表示言語の切替] (P. 207)**
- **[mm/インチ入力の切替] (P. 207)**
- **[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせの表示ﾀｲﾐﾝｸﾞ] (P. 208)**
- **[警告表示] (P. 208)**
- **[警告処理] (P. 208)**
- **[IP アドレスの表示設定] (P. 208)**

[表示言語の切替]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

操作パネルの画面や、プリントしたレポートに表示される言語を切り替えます。

[Deutsch]
[English]
[Español]
[Français]
[Italiano]
[**日本語**]
[中文(繁體)]
[中文(简体)]
[한국어]

[リモート UI 表示言語の切替]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

リモート UI の画面に表示される言語を切り替えます。

[English]
[**Japanese**]
[French]
[Spanish]
[German]
[Italian]
[Chinese (Simplified)]
[Chinese (Traditional)]
[Korean]

[mm/インチ入力の切替]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

長さや幅を入力する画面に表示される単位を切り替えます。

[**mm**]

[インチ]

[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせの表示ﾀｲﾐﾝｸﾞ]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

トナーカートリッジの残量が少なくなると、新しいトナーカートリッジの準備を通知するメッセージが表示されます。メッセージが表示されるタイミング（トナーカートリッジの残量）を手動で指定する場合は、[ユーザー設定] を選択し、タイミングを指定します。
[自動] に設定すると、本機がタイミングを自動で判断してメッセージを表示します。

[**自動**]

[ユーザー設定]
2 ～ **20** ～ 99（%）

[警告表示]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、メッセージを表示して通知するかどうかを設定します。

※トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、プリントを停止するように設定されている場合は、[OFF] に設定できません。 **[警告処理] (P. 208)**

[カートリッジ残量]
[OFF]
[**ON**]

[警告処理]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、プリントを継続するかどうかを設定します。
[印刷停止] に設定すると、トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、メッセージを表示して通知するように設定されます。 **[警告表示] (P. 208)**

[カートリッジ残量]
[**印刷継続**]
[印刷停止]

[IP アドレスの表示設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[状況確認] 画面に本機の IPv4 アドレスを表示するかどうかを設定します。 **[状況確認] 画面(P. 85)**

[OFF]
[**ON**]

[タイマー/電力設定]

EALA-06L

日付／時刻や節電について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[現在日時の設定] (P. 209)**
- **[日付/時刻の設定] (P. 209)**
- **[日付の形式] (P. 209)**
- **[時刻の形式] (P. 210)**
- **[オートクリア移行時間] (P. 210)**
- **[オートスリープ移行時間] (P. 210)**

[現在日時の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

本機の日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻は、日時情報を利用する機能の基準となります。 **日付／時刻を設定する(P. 183)**
この設定をする前に、タイムゾーンが正しく設定されているか確認します。 **[日付/時刻の設定] (P. 209)**

[日付/時刻の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

本機を設置する地域に合わせて、タイムゾーン（UTC[*1]）を設定します。
初期設定では、本機の出荷地域に合わせた UTC が設定されているため、通常はタイムゾーンを変更する必要はありません。

[*1] UTC（Coordinated Universal Time）
とは、世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本は UTC との間に ＋ 9 時間の時差があります。インターネットを介した通信では、UTC を正しく設定することが前提となっています。

※タイムゾーンを変更すると、現在日時の設定が自動的に変更されます。 **[現在日時の設定] (P. 209)**

[タイムゾーン]
[(UTC-12:00) 国際日付変更線 西側] ～ [**(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京**] ～ [(UTC+14:00) クリスマス島]

[日付の形式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

年（西暦）／月／日が表示されるときの並び順を設定します。

[**年 月/日**]
[月/日/年]
[日/月 年]

[時刻の形式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

時刻の表示形式を設定します。

[12 時間表示(AM/PM)]
[**24 時間表示**]

[オートクリア移行時間]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

操作パネルの操作がされないまま一定時間が経過したときに、自動的に初期設定に戻る機能を「オートクリア」といいます。
オートクリアが実行されるようにするかどうかを設定します。
オートクリアが実行されるようにする場合は、実行されるまでの時間も設定できます。

0（オートクリアしない）
1～**2**～9（分）



オートクリアが実行されない場合

- 操作パネルのエラーランプが点滅している **操作パネル(P. 11)**
- 操作パネルに［メニュー］画面やエラーメッセージ[*1]が表示されている
- 何らかの処理が行われている（プリント中など）

[*1] メッセージによっては、オートクリアが実行されます。

[オートスリープ移行時間]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。 **消費電力を抑える - スリープモード(P. 79)**

※効果的な節電のために、初期設定で使用することをおすすめします。

1～60（分）

[ネットワーク]

EALA-06R

本機のネットワーク環境について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[有線 LAN/Wi-Fi 選択] (P. 211)**
- **[Wi-Fi 設定] (P. 211)**
- **[ダイレクト接続設定] (P. 211)**
- **[PC でかんたん接続] (P. 212)**
- **[TCP/IP 設定] (P. 212)**
- **[SNMP 設定] (P. 212)**
- **[IPP Everywhere を使用] (P. 213)**
- **[Universal Print の設定] (P. 213)**
- **[専用ポート設定] (P. 213)**
- **[専用ポートの認証方式] (P. 214)**
- **[起動時の接続待機時間] (P. 214)**
- **[Ethernet ドライバー設定] (P. 214)**
- **[IEEE 802.1X 設定] (P. 214)**
- **[ファイアウォール設定] (P. 215)**
- **[Web サービス設定] (P. 215)**
- **[Web サービス問い合わせ] (P. 216)**
- **[RMT-SW] (P. 216)**
- **[ネットワーク設定の初期化] (P. 216)**

[有線 LAN/Wi-Fi 選択]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

有線 LAN／Wi-Fi のどちらを使用して本機をネットワークに接続するかを設定します。 **有線 LAN／Wi-Fi を選択する (P. 41)**

※有線 LAN を Wi-Fi に切り替える場合は、Wi-Fi 設定の手順内で変更することもできます。

[**有線 LAN**]
[Wi-Fi]

[Wi-Fi 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機を Wi-Fi に接続したり、Wi-Fi 接続時の節電について設定したりします。
[Wi-Fi 設定] (P. 217)

[ダイレクト接続設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

ダイレクト接続の使用や接続機能について設定します。 **ダイレクト接続機能を有効にする(P. 127)**

[ダイレクト接続を使用]
[**OFF**]
[ON]

[ダイレクト接続の自動切断時間]
0（自動切断しない）
1～60（分）

［アクセスポイントモード設定］
　［任意の SSID を使用］
　　［**OFF**］
　　［ON］
　　　［SSID (1～20 文字)］
　［任意のネットワークキーを使用］
　　［**OFF**］
　　［ON］
　　　［ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ (10 文字)］

［SSID/ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ固定時常時接続］ *1
　［**OFF**］
　［ON］

［ﾀﾞｲﾚｸﾄ接続時の IPｱﾄﾞﾚｽ設定］
　192.168.22.1

［ダイレクト接続時の周波数］ *1
　［**2.4GHz**］
　［5GHz］

*1 機種や他の項目の設定内容によっては表示されません。

［PC でかんたん接続］

［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］

ケーブルレスセットアップモードを開始します。
アプリケーションを使用してネットワークの設定を行う場合に、ケーブルレスセットアップモードにします。

アプリケーションは、以下の URL からダウンロードしてください。
　https://ij.start.canon/connect

［TCP/IP 設定］

［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］

TCP/IP ネットワークで本機を使用するための設定をします。
［TCP/IP 設定］(P. 219)

［SNMP 設定］

［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］

SNMP 管理ソフトウェアで本機を設定／監視／制御するための設定をします。 **SNMP を設定する(P. 64)**
本機の状態を監視するときに、プロトコルの拡張仕様（RFC2790）に準拠する場合は、［ホストリソース MIB の RFC2790 準拠］を［ON］に設定します。

[SNMPv1 設定]
[OFF]
[**ON**]

[SNMPv3 設定]
[**OFF**]
[ON]

[ホストからプリンター管理情報を取得]
[**OFF**]
[ON]

[ホストリソース MIB の RFC2790 準拠]
[OFF]
[**ON**]

[IPP Everywhere を使用]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接印刷するかどうかを設定します。 **Chrome OS からプリントする(P. 149)**

[OFF]
[**ON**]

[Universal Print の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

Universal Print を使用するための設定をします。 **Universal Print を使用するための準備(P. 129)**
また、本機の登録状況も確認できます。

[Universal Print を使用]
[**OFF**]
[ON]

[登録状況]

[専用ポート設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

専用ポートを使用するかどうかを設定します。
専用ポートは、パソコンからのプリントや本機の設定／参照などで使用します。

[OFF]
[**ON**]

[専用ポートの認証方式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

専用ポートを使用するときの認証方式を設定します。
[モード 2] に設定すると、専用ポートを用いた通信がセキュアな認証方式のみに限定されます。そのため、デバイス管理ソフトウェアやドライバーなどから接続できなくなる場合があります。

[**モード 1**]
[モード 2]

[起動時の接続待機時間]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機を起動してから接続を開始するまでの待機時間を設定します。
本機をスイッチングハブなどに接続している場合は、本機の設定が正しくてもネットワークに接続できないことがあります。その場合に、接続待機時間を設定して接続しなおします。

0 ～ 300（秒）

[Ethernet ドライバー設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

Ethernet の通信方式を設定します。 **Ethernet を手動で設定する(P. 58)**
また、有線 LAN の MAC アドレスを確認することもできます。 **有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 70)**

[自動検出]
　[OFF]
　　[通信方式]
　　　[**半二重**]
　　　[全二重]
　　[Ethernet の種類]
　　　[**10BASE-T**]
　　　[100BASE-TX]
　[**ON**]

[MAC アドレス]

[IEEE 802.1X 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

IEEE 802.1X を使用するかどうかを設定します。
IEEE 802.1X の認証方式は、パソコンからリモート UI を使用して設定します。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 162)**

※［IEEE 802.1X 設定］は、機種や他の項目の設定内容によっては表示されません。

［**OFF**］
［ON］

［ファイアウォール設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

IP アドレスフィルター／MAC アドレスフィルターを有効にするかどうかを設定します。
フィルターのデフォルトポリシーや例外アドレスは、パソコンからリモート UI を使用して設定します。 **ファイアウォールを設定する(P. 155)**

［IPv4 アドレスフィルター］
　［送信フィルター］
　　［**OFF**］
　　［ON］
　［受信フィルター］
　　［**OFF**］
　　［ON］

［IPv6 アドレスフィルター］
　［送信フィルター］
　　［**OFF**］
　　［ON］
　［受信フィルター］
　　［**OFF**］
　　［ON］

［MAC アドレスフィルター］
　［送信フィルター］
　　［**OFF**］
　　［ON］
　［受信フィルター］
　　［**OFF**］
　　［ON］

［Web サービス設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

キヤノンのクラウド連携サービスを利用するかどうかを設定します。

> キヤノンのクラウド連携サービスを利用するには、本機を専用のサーバーに登録する必要があります。
> 登録に使用するコードは［登録コードの発行］から発行できます。 **クラウド連携サービスを使用してプリントする(P. 143)**

※国または地域によっては、サービスを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

[Web サービス利用設定]
[OFF]
[ON]

[登録コードの発行]

[Web サービス問い合わせ]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

キヤノンのクラウド連携サービスのサーバーにアクセスし、送信されたプリントデータがあるかどうかを確認します。
プリントデータがある場合は、プリントを実行します。 **クラウド連携サービスを使用してプリントする(P. 143)**

※国または地域によっては、サービスを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

[RMT-SW]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

通常は [OFF] に設定したまま使用します。
担当サービスが遠隔から機器メンテナンスするときに、[ON] に変更する場合があります。

[OFF]
[ON]

[ネットワーク設定の初期化]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻します。 **特定の設定／データを初期化する(P. 201)**

[Wi-Fi 設定]

EALA-06S

本機を Wi-Fi に接続したり、Wi-Fi 接続時の節電について設定したりします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[ネットワーク選択] (P. 217)**
- **[その他の接続] (P. 217)**
- **[接続設定] (P. 218)**

[ネットワーク選択]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定]

Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）を一覧から選択し、ネットワークキーを入力して接続します。 **ルーターを探索して Wi-Fi に接続する - アクセスポイント選択方式(P. 49)**

[その他の接続]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定]

Wi-Fi ルーターを一覧から選択する以外の方式で、Wi-Fi に接続します。

[ﾈｯﾄﾜｰｸ名手動入力]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [その他の接続]

SSID／ネットワークキー／セキュリティー設定など、Wi-Fi ルーターの情報をすべて手動で入力して接続します。 **詳細を設定して Wi-Fi に接続する - 手動入力方式(P. 51)**

[セキュリティー設定]
- [なし]
- [WPA/WPA2-PSK]
- [WPA/WPA2-EAP]
- [WPA2-PSK/WPA3-SAE]
- [WPA3-SAE]

[WPS プッシュボタン方式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [その他の接続]

WPS プッシュボタン方式に対応した Wi-Fi ルーターのボタン操作で、Wi-Fi に接続します。 **ルーターのボタン操作で Wi-Fi に接続する - プッシュボタン方式(P. 45)**

[WPS PIN コード方式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [その他の接続]

WPS PIN コード方式に対応した Wi-Fi ルーターに、本機で生成した PIN コードを登録して接続します。PIN コードの登録には、パソコンなどを使用します。 **PIN コードを入力して Wi-Fi に接続する - WPS PIN コード方式(P. 47)**

[接続設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 接続時の節電の設定をしたり、Wi-Fi の設定情報を確認したりします。

[パワーセーブモード]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [接続設定]

Wi-Fi ルーターから送信される信号に合わせて、本機を定期的に節電状態にするかどうかを設定します。

[OFF]
[**ON**]

[接続情報]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [接続設定]

Wi-Fi の MAC アドレスや接続情報のほか、セキュリティーに関する設定などを確認します。 **Wi-Fi の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 71)**

[MAC アドレス]
[Wi-Fi 状態]
[最新のエラー情報]
[周波数] *1
[チャンネル]
[ネットワーク名]
[セキュリティー設定]
[パワーセーブモード]

*1 機種や他の項目の設定内容によっては表示されません。

[TCP/IP 設定]

EALA-06U

TCP/IP ネットワークで本機を使用するための設定をします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[IPv4 設定] (P. 219)**
- **[IPv6 設定] (P. 221)**
- **[WINS 設定] (P. 223)**
- **[LPD 設定] (P. 223)**
- **[RAW 設定] (P. 223)**
- **[WSD 設定] (P. 223)**
- **[IPP 印刷の設定] (P. 224)**
- **[HTTP を使用] (P. 224)**
- **[ポート番号設定] (P. 224)**
- **[MTU サイズ] (P. 225)**

[IPv4 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPv4 環境で本機を使用するための設定をします。

[IP アドレス設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

IPv4 アドレスを自動または手動で設定します。 **IPv4 アドレスを設定する(P. 53)**

[**自動取得**]
[プロトコル選択]
[OFF]
[**DHCP**]
[Auto IP]
[OFF]
[**ON**]

[手動取得] *1
[IP アドレス]：0.0.0.0
[サブネットマスク]：0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス]：0.0.0.0

[設定確認]

*1 機種や他の項目の設定内容によっては表示されません。

[PING コマンド]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

PING コマンドを実行して、本機がネットワーク内の機器に接続できるか確認します。 **ネットワーク内の機器に接続できるか確認する(P. 69)**

[DNS 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

DNS（Domain Name System）を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS の設定をします。 **DNS を設定する(P. 59)**

[DNS サーバー設定]
[プライマリー DNS サーバー]：0.0.0.0
[セカンダリー DNS サーバー]：0.0.0.0

[DNS ホスト名/ドメイン名設定]
[ホスト名]
[ドメイン名]

[DNS の動的更新設定]
[**OFF**]
[ON]
[DNS の動的更新間隔]
0 ～ **24** ～ 48（時間）

[mDNS 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

Bonjour など、DNS を導入していない環境で DNS の機能を使用するために、mDNS（multicast DNS）を設定します。

[OFF]

[**ON**]
[mDNS 名]

[DHCP オプション設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

DNS（Domain Name System）を導入している IPv4 環境で、DHCP サーバーを使用する場合の設定をします。 **DNS を設定する(P. 59)**

[ホスト名の取得]
[OFF]
[**ON**]

[DNS の動的更新]
[**OFF**]
[ON]

[DNS サーバーアドレスの取得]
[OFF]
[**ON**]

［ドメイン名の取得］
［OFF］
［**ON**］

［WINS サーバーアドレスの取得］
［OFF］
［**ON**］

［IPv6 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

IPv6 環境で本機を使用するための設定をします。
複数の IPv6 アドレスを設定して同時に使用することができます。 **IPv6 アドレスを設定する(P. 55)**

［IPv6 を使用］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［IPv6 設定］

IPv6 を使用するかどうかを設定します。

［**OFF**］
［ON］
［設定確認］

［ステートレスアドレス設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［IPv6 設定］

ステートレスアドレスを使用するかどうかを設定します。

［OFF］
［**ON**］
［設定確認］

［DHCPv6 を使用］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［IPv6 設定］

DHCPv6 から取得するステートフルアドレスを使用するかどうかを設定します。

［**OFF**］
［ON］
［設定確認］

［DNS 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［IPv6 設定］

DNS（Domain Name System）を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS の設定をします。 **DNS を設定する(P. 59)**

［DNS ホスト名/ドメイン名設定］
［IPv4 と同ﾎｽﾄ/ﾄﾞﾒｲﾝ使用］
［OFF］

［ホスト名］
［ドメイン名］
［**ON**］

［DNS の動的更新設定］
［**OFF**］
［ON］
［手動アドレスの登録］
［**OFF**］
［ON］
［ｽﾃｰﾄﾌﾙｱﾄﾞﾚｽの登録］
［**OFF**］
［ON］
［ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽの登録］
［**OFF**］
［ON］
［DNS の動的更新間隔］
0 ～ **24** ～ 48（時間）

［mDNS 設定］

［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［TCP/IP 設定］ ▶ ［IPv6 設定］

Bonjour など、DNS を導入していない環境で DNS の機能を使用するために、mDNS（multicast DNS）を設定します。

［OFF］

［**ON**］
［IPv4 と同じ mDNS 名を使用］
［OFF］
［mDNS 名］
［**ON**］

［DHCP オプション設定］

［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［TCP/IP 設定］ ▶ ［IPv6 設定］

DNS（Domain Name System）を導入している IPv6 環境で、DHCP サーバーを使用する場合の設定をします。 **DNS を設定する(P. 59)**

［DNS サーバーアドレスの取得］
［OFF］
［**ON**］

［ドメイン名の取得］
［OFF］
［**ON**］

[WINS 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

NetBIOS と TCP/IP を併用しているネットワーク環境で使用する場合は、WINS（Windows Internet Name Service）を設定します。 **WINS を設定する(P. 63)**

[WINS による名前解決]
[**OFF**]
[ON]
[WINS サーバーアドレス]：0.0.0.0

[LPD 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

LPD プロトコルを使用するかどうかを設定します。 **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 178)**
LPD プロトコルを使用する場合は、プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間も設定できます。

[LPD 印刷の設定]
[OFF]
[**ON**]

[受信タイムアウト]
1 ～ **5** ～ 60（分）

[RAW 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

RAW プロトコルを使用するかどうかを設定します。 **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 178)**
RAW プロトコルを使用する場合は、プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間も設定できます。

[RAW 印刷の設定]
[OFF]
[**ON**]

[受信タイムアウト]
1 ～ **5** ～ 60（分）

[WSD 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

WSD プロトコルを使用するかどうかを設定します。WSD プロトコルを使用する機能ごとに設定できます。 **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 178)**

[WSD 印刷の設定]
[WSD 印刷を使用]
[**OFF**]
[ON]
[WSD 参照を使用]
[**OFF**]
[ON]

[マルチキャスト探索を使用]
[**OFF**]
[ON]

[IPP 印刷の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPP（Internet Printing Protocol）を使用するかどうかを設定します。IPP は、AirPrint でプリントするときに使用します。 **AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する(P. 135)**
IPP を使用する場合は、通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。

[IPP 印刷を使用]
[OFF]
[**ON**]

[TLS 使用時のみ許可]
[**OFF**]
[ON]

[HTTP を使用]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

HTTP を使用するかどうかを設定します。 **HTTP 通信を使用できないようにする(P. 180)**

[OFF]
[**ON**]

[ポート番号設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

パソコンやサーバーなどのポート番号に応じて、対象のプロトコルのポート番号を設定します。 **ポート番号を変更する(P. 158)**

[LPD]
1 ～ **515** ～ 65535

[RAW]
1 ～ **9100** ～ 65535

[WSD マルチキャスト探索]
1 ～ **3702** ～ 65535

[HTTP]
1 ～ **80** ～ 65535

[SNMP]
1 ～ **161** ～ 65535

[MTU サイズ]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

送信パケットサイズが原因で通信速度が低下した場合に、送信パケットの最大サイズを変更します。

[1300]
[1400]
[**1500**]

[外部インターフェイス]

EALA-06W

USB 接続について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[USB 設定] (P. 226)

[USB 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス]

パソコン接続用の USB ポートを使用するかどうかを設定します。 **パソコンと USB 接続できないようにする(P. 177)**

[USB デバイスとして使用]
[OFF]
[**ON**]

[アクセシビリティー]

EALA-06X

画面の色反転やメッセージの表示時間など、操作パネルの画面を見やすくするための設定をします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[キーリピート設定] (P. 227)**
- **[連続キー操作を受け付けない時間の指定] (P. 227)**
- **[画面色反転] (P. 227)**
- **[画面コントラスト] (P. 227)**
- **[メッセージ表示時間] (P. 228)**
- **[スクロール文字速度] (P. 228)**
- **[入力画面のカーソル移動] (P. 228)**

[キーリピート設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネル上のキーを押しつづけたときに、連続入力が開始されるまでの時間と、連続入力間隔を設定できます。

[**標準**]
[やや遅い]
[遅い]

[連続キー操作を受け付けない時間の指定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネル上の同じキーによる連続操作を受け付けない時間を設定できます。

[連続キー操作を受け付けない時間の指定]
[**OFF**]
[ON]
0.1～1.0（秒）

[画面色反転]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネルの画面の明暗を反転して表示するかどうかを設定します。

[**OFF**]
[ON]

[画面コントラスト]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネルの画面を見やすくするようにコントラスト（明暗の差）を調整します。

7 段階

[メッセージ表示時間]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネルの画面に 2 種類のメッセージが交互に表示されるとき、何秒ごとに切り替わるかを設定します。

1 ～ **2** ～ 5（秒）

[スクロール文字速度]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

画面操作時のスクロール速度を設定します。

[遅い]
[**標準**]
[速い]

[入力画面のカーソル移動]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

文字入力時のカーソルの動作を設定します。
[自動] に設定すると、文字入力後に次の入力欄に自動でカーソルが移動します。[手動] に設定した場合は、▶ を押してカーソルを移動します。

[**自動**]
[手動]

[調整/メンテナンス]

EALA-070

プリントの画質調整や、本機の清掃を行います。

- **[画質調整] (P. 229)**
- **[メンテナンス] (P. 229)**

[画質調整]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス]

画質やプリント位置を調整したり、用紙に合わせた特殊処理を適用したりします。

- **[画質調整] (P. 230)**

[メンテナンス]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス]

本機の清掃を実行します。

- **[メンテナンス] (P. 236)**

[画質調整]

EALA-071

画質を調整したり、用紙に合わせた特殊処理を適用したりします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[プリンター濃度] (P. 230)**
- **[トナー節約] (P. 230)**
- **[特殊処理] (P. 230)**

[プリンター濃度]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

プリントした文字や細線がかすれる場合に、濃度を調整します。 **プリント濃度を調整する(P. 277)**

9 段階

[トナー節約]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

トナーを節約して画質調整をするかどうかを設定します。
画質を優先する場合は、[OFF] に設定します。

[**OFF**]
[ON]

[特殊処理]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

用紙の種類／性質／状態などによって起こる問題を改善するために、各種処理を適用します。

- **[特殊処理] (P. 231)**

[特殊処理]

EALA-072

用紙の種類／性質／状態などによって起こる問題を改善するために、各種処理を適用します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[用紙特殊処理] (P. 231)**
- **[両面プリント貼り付き軽減] (P. 232)**
- **[高湿度モード] (P. 232)**
- **[低湿度モード] (P. 233)**
- **[残像補正 1] (P. 233)**
- **[下地補正] (P. 233)**
- **[定着改善モード] (P. 233)**
- **[用紙搬送補正] (P. 234)**
- **[タルク紙モード] (P. 234)**
- **[にじみ汚れ改善] (P. 234)**
- **[転写調整モード] (P. 234)**
- **[カートリッジ交換後のかすれ軽減モード] (P. 235)**

[用紙特殊処理]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

以下のような場合は、用紙の特殊処理を設定します。

- 特殊な用紙を使用する場合
  - プリント済みの用紙のウラ面
  - 表面が粗くざらついた用紙
- 封筒のふたが貼り付く場合
- プリントすると用紙がカールする場合

[両面 2 面目]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

プリント済みの用紙を使用すると、ウラ面が薄くプリントされることがあります。その場合は、該当する給紙部を [ON] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※ [ON] に設定すると、オモテ面をプリントしてから時間が経過したときや、使用環境の湿度によっては、画質が変化することがあります。

[カセット 1]
[**OFF**]
[ON]

[粗目用紙モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

表面が粗くざらついた用紙を使用すると、画像が薄くプリントされることがあります。その場合は、該当する給紙部を [ON] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※ [ON] に設定すると、プリント速度が遅くなったり画質が変化したりすることがあります。

[カセット 1]
[**OFF**]

[ON]

[封筒貼り付き軽減モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

封筒の種類や使用環境によっては、プリントすると封筒のふたが貼り付くことがあります。その場合は、[ON]に設定すると、封筒のふたの貼り付きが軽減されることがあります。

※[ON]に設定すると、トナーが十分に定着されずプリントがかすれることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[用紙カール補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

使用する用紙によっては、プリントするとカールすることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、用紙のカールが改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリントがかすれたりプリント速度が遅くなったりすることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[両面プリント貼り付き軽減]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

両面プリントすると、出力された複数ページの用紙が貼り付くことがあります。その場合は、[ON]に設定すると、用紙の貼り付きが軽減されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[高湿度モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

湿度が高い環境でプリントすると、印字ムラが発生することがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、湿度が低い環境では、画像や文字がにじむことがあります。

[**OFF**]
[ON]

[低湿度モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

湿度が低い環境でプリントすると、画像や文字がにじむことがあります。その場合は、[モード 1] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、[モード 2]、[モード 3] の順に試します。

※この設定を有効にすると、湿度が高い環境では、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

[**OFF**]
[モード 1]
[モード 2]
[モード 3]

[残像補正 1]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

小さいサイズの用紙にプリントしたあとに、続けて大きなサイズの用紙にプリントすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。その場合は、[ON] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※ [ON] に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[下地補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

プリントした画像の白地の部分が黒ずむことがあります。その場合は、[ON] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※ [ON] に設定すると、プリント濃度が薄くなることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[定着改善モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

用紙種類や使用環境によっては、プリントされた画像のトナーがはがれることがあります。その場合は、[モード 1] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、[モード 2] に設定します。

※この設定を有効にすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。

[**OFF**]
[モード 1]
[モード 2]

[用紙搬送補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

連続してプリントすると、紙づまりが繰り返し起こることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、紙づまりの発生が軽減されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[タルク紙モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

紙粉の多い用紙を使用すると、プリントした画像がかすれたり、すじが入ったりすることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、画質が変化したりすることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[にじみ汚れ改善]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

プリントした用紙に、にじんだような汚れが付くことがあります。その場合は、[モード 1]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、[モード 2]に設定します。

[OFF]
[**モード 1**]
[モード 2]

[転写調整モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

使用する用紙によっては、湿度が高い環境でプリントすると、印字ムラが発生することがあります。その場合は、[モード 1]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、[モード 2]に設定します。

※この設定を有効にすると、湿度が低い環境では、プリント濃度が変わることがあります。

[**OFF**]
[モード 1]
[モード 2]

［カートリッジ交換後のかすれ軽減モード］

［メニュー］▶［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［特殊処理］

新しいトナーカートリッジに交換した直後は、プリントがかすれることがあります。その場合は、［ON］に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。この設定は、次回のトナーカートリッジ交換後から有効になります。

※［ON］に設定すると、トナーカートリッジを交換したあとプリントできるようになるまでに、通常よりも時間がかかるようになります。

［**OFF**］
［ON］

[メンテナンス]

EALA-073

本機の清掃を実行します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[定着器のクリーニング] (P. 236)
[ドラムのクリーニング] (P. 236)

[定着器のクリーニング]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

トナーカートリッジの交換後などに、プリントした用紙に黒いすじ（線）が入る場合は、この項目を実行して定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 265)**

[ドラムのクリーニング]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

プリントした用紙が汚れる場合は、ドラムが汚れている可能性があるため、この項目を実行してドラムを清掃します。 **ドラムを清掃する(P. 266)**

[ファンクション設定]

EALA-074

プリント機能について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[共通] (P. 237)
[プリンター] (P. 237)

[共通]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

給紙／プリントなど、各機能の動作について設定します。
[共通] (P. 238)

[プリンター]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

プリンターについて設定します。
[プリンター] (P. 241)

[共通]

EALA-075

給紙／プリントなど、各機能の動作について設定します。

- **[給紙動作] (P. 238)**
- **[印刷動作] (P. 238)**

[給紙動作]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

給紙の動作について設定します。

- **[給紙動作] (P. 239)**

[印刷動作]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

プリントの動作について設定します。

- **[印刷動作] (P. 240)**

[給紙動作]

EALA-076

給紙の動作について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[給紙方法切替] (P. 239)

[給紙方法切替]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [給紙動作]

ロゴなどが入った用紙にプリントするときに設定します。
通常、そのような用紙を使用する場合は、片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面を変更する必要があります。
用紙をセットする給紙部を [プリント面優先] に設定すると、セットする向きと面を変更する必要がなくなります。[プリント面優先] に設定した場合は、常に両面プリントの方法で用紙をセットします。**ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 98)**

※[プリント面優先] に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。ロゴなどが入った用紙以外を使用する場合や、ロゴなどが入った用紙を両面プリントすることがない場合は、[速度優先] に設定します。

[カセット 1]
[**速度優先**]
[プリント面優先]

MEMO

- 両面プリントできない用紙をセットしている給紙部は、[プリント面優先] に設定しても無効になり、[速度優先] の動作になります。

[印刷動作]

EALA-077

プリントの動作について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[中断ジョブの自動削除] (P. 240)

[中断ジョブの自動削除]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作]

エラーが起きてプリントが停止したときに、プリントジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。
自動的に削除する場合は、削除するまでの時間も設定できます。

[**しない**] [する] 0～**5**～240（分）

[プリンター]

EALA-078

プリンターについて設定します。

[プリンター設定] (P. 241)

[プリンター設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

プリンター動作やプリントデータの処理について設定します。

[プリンター設定] (P. 242)

[プリンター設定]

EALA-079

プリンター動作やプリントデータの処理について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[ﾌﾘｰ用紙ｻｲｽﾞ不一致時の動作] (P. 242)**
- **[コピー部数] (P. 242)**
- **[両面] (P. 242)**
- **[デフォルト用紙] (P. 243)**
- **[用紙サイズ置換] (P. 243)**
- **[印字調整] (P. 243)**
- **[レイアウト] (P. 244)**
- **[自動エラースキップ] (P. 245)**
- **[タイムアウト時間] (P. 246)**
- **[両面印刷時の動作切替] (P. 246)**
- **[トレイ用紙サイズのチェック] (P. 246)**
- **[リカバリー印刷] (P. 246)**
- **[CARPS2 設定] (P. 247)**
- **[Imaging 設定] (P. 247)**

MEMO

操作パネルとプリンタードライバーで同じ設定項目がある場合

- プリンタードライバーの設定内容が優先して適用されます。操作パネルの設定は、UNIX などプリンタードライバーが使用できない OS やモバイル機器からプリントするときに有効になります。

[ﾌﾘｰ用紙ｻｲｽﾞ不一致時の動作]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

[メニュー] 画面の [用紙設定] で用紙サイズを [フリー] に設定した場合に、セットしている用紙のサイズとプリンタードライバーでの用紙サイズの設定が大きく異なるときの動作を設定します。
セットしている用紙とプリンタードライバーの設定が一致していない場合に強制出力すると、紙づまりや印刷不良の原因となることがあります。

[カセット 1]
[**強制出力する**]
[エラーを表示する]

[コピー部数]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

プリントする部数を設定します。

1 ～ 999

[両面]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

両面プリントするかどうかを設定します。

[**片面**]
[両面]

[デフォルト用紙]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

プリンタードライバーが使用できない OS やモバイル機器からプリントを実行したときに、使用する用紙の用紙サイズと用紙種類を設定します。
設定できる用紙については、以下を参照してください。
使用可能な用紙(P. 14)

[用紙サイズ置換]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

A4 サイズとレターサイズの用紙を互いに代用してプリントするかどうかを設定します。
[する] に設定すると、たとえば、パソコンで A4 サイズの用紙を指定してプリントしようとした場合に、レターサイズの用紙しかセットされていないときは、レターサイズの用紙に置き換わってプリントされます。

※プリントの設定はアプリケーションやプリンタードライバーで行いますが、この項目は操作パネルでのみ設定できます。

[**しない**]
[する]

[印字調整]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

プリントする文書や目的に応じて、濃度など、プリント品質を調整します。

[トナー濃度]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [印字調整]

プリント時のトナー濃度を調整します。
より精密に調整する場合は、[トナー濃度(微調整)] で、3 段階に分けた濃度域別に濃度を調整できます。

※ [トナー節約] が [する] に設定されている場合は、トナー濃度を調整できません。 **[トナー節約] (P. 243)**

※ [トナー濃度] は、機種や他の項目の設定内容によっては表示されません。

[トナー濃度]
17 段階

[トナー濃度(微調整)]
[高濃度] ／ [中濃度] ／ [低濃度]
17 段階

[トナー節約]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [印字調整]

トナーを節約してプリントするかどうかを設定します。
大量にプリントする前など、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してからプリントしたい場合に、［する］に設定します。

［**しない**］
［する］

［スーパースムーズ］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］▶［印字調整］

文字や図形の輪郭を、なめらかにプリントするスムージング処理を使用するかどうかを設定します。

［しない］
［**する**］

［出力調整モード］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］▶［印字調整］

プリントするときの解像度を設定します。より高解像度でプリントする場合は、［ON］に設定します。

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなります。

［**OFF**］
［ON］

［レイアウト］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］

とじしろの方向／余白やプリント位置を設定します。

［とじ方向］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］▶［レイアウト］

プリントしたあとに用紙をホチキスなどでとじる場合に、用紙の長辺／短辺のどちらでとじるかを設定します。
とじ位置の余白を調整する［とじしろ］と組み合わせて設定します。**［とじしろ］(P. 245)**

- 用紙の長辺でとじる場合は、［長辺とじ］に設定します。



- 用紙の短辺でとじる場合は、［短辺とじ］に設定します。



［**長辺とじ**］
［短辺とじ］

[とじしろ]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [レイアウト]

プリント位置をずらして、とじしろになる余白の幅を調整します。
[とじ方向] で設定した辺に合わせて、ずらす方向を＋／－で、ずらす幅を 0.5 mm 単位で指定します。 **[とじ方向] (P. 244)**

[とじ方向] で [長辺とじ] を設定した場合
用紙の左端でとじる場合は「＋」、右端でとじる場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。


「＋」の数値で指定


「－」の数値で指定

[とじ方向] で [短辺とじ] を設定した場合
用紙の上端でとじる場合は「＋」、下端でとじる場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。


「＋」の数値で指定


「－」の数値で指定

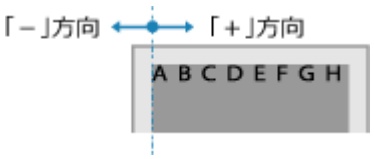
-50.0 ～ **00.0** ～ +50.0（mm）

[短辺方向移動] ／ [長辺方向移動]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [レイアウト]

文字や画像のプリント位置をずらします。かたよった位置にプリントされたり、プリント範囲からはみ出したりする場合に設定します。
用紙の辺の方向とプリント面ごとに、ずらす方向を＋／－で、ずらす幅を 0.5 mm 単位で指定します。

短辺方向（ヨコ）にずらす場合
用紙の右方向にずらす場合は「＋」、左方向にずらす場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。



長辺方向（タテ）にずらす場合
用紙の下方向にずらす場合は「＋」、上方向にずらす場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。



-50.0 ～ **00.0** ～ +50.0（mm）

[自動エラースキップ]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

プリント中にエラーが発生した場合に、プリントを継続するかどうかを設定します。
通常は［しない］に設定して、エラー発生時はプリントを停止するようにして使用することをおすすめします。

［**しない**］
［する］

［タイムアウト時間］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］

プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を設定します。

5～**15**～300（秒）

［両面印刷時の動作切替］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］

両面プリントで、最終ページ数が奇数の場合や、最終ページが白紙またはプリントできないページで奇数で終わる場合に、最後のページを片面プリントに切り替えるかどうかを設定します。

- 最後のページを片面プリントする場合は、［速度優先］に設定します。
- 最後のページも両面プリントする場合は、［プリント面優先］に設定します。
  ロゴマークなどがプリントされている用紙を使用する場合は、［プリント面優先］に設定するとページの向きやプリント面を他のページと揃えられます。

［**速度優先**］
［プリント面優先］

［トレイ用紙サイズのチェック］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］

給紙部の用紙サイズとプリンタードライバーでの用紙サイズの設定を判定するかどうかを設定します。
［ON］に設定すると、用紙サイズが一致していない場合はプリントが停止します。

［OFF］
［**ON**］

［リカバリー印刷］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター設定］

プリントが停止するエラーが発生した場合に、問題を解消するとエラーが発生したページからプリントを再開するかどうかを設定します。

※［OFF］に設定した場合、エラーが発生したページはプリントされません。次のページからプリントが再開されますが、両面プリントの場合やエラーのタイミングによっては、2ページあとから再開されることもあります。

［OFF］
［**ON**］

[CARPS2 設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

CARPS2 プリンタードライバーを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

[白紙節約]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [CARPS2 設定]

プリントデータに含まれる白紙ページを、排紙しないようにするかどうかを設定します。

[しない]
[**する**]

[Imaging 設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

JPEG/TIFF 形式の画像ファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

[中間調選択]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [Imaging 設定]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、画像の内容に合わせて設定します。

明暗のコントラストを効かせてプリントする場合
[階調] に設定します。写真などのイメージデータのプリントに適しています。

階調や輪郭をなめらかにプリントする場合
[解像度] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合
[高解像度] に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。

[**階調**]
[解像度]
[高解像度]

[管理設定]

EALA-07H

本機のユーザー／システム／データなどの管理について設定します。

- **[ユーザー管理] (P. 248)**
- **[デバイス管理] (P. 248)**
- **[リモート UI 設定/ファームウェア更新] (P. 248)**
- **[データ管理] (P. 248)**
- **[セキュリティー設定] (P. 248)**
- **[全データ/設定の初期化] (P. 249)**

[ユーザー管理]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機の管理者の情報を登録／管理します。

- **[ユーザー管理] (P. 250)**

[デバイス管理]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機のハードウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- **[デバイス管理] (P. 251)**

[リモート UI 設定/ファームウェア更新]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機のソフトウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- **[リモート UI 設定/ファームウェア更新] (P. 253)**

[データ管理]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機の設定や登録データを管理／初期化します。

- **[データ管理] (P. 255)**

[セキュリティー設定]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機の認証機能やシステム検証など、セキュリティーについて設定／管理します。

- **[セキュリティー設定] (P. 257)**

[全データ/設定の初期化]

[メニュー] ▶ [管理設定]

設定内容や登録したデータなどを初期化して、本機を工場出荷時の状態に戻します。 **設定／データを初期化する(P. 201)**

[ユーザー管理]

EALA-07J

本機の管理者の情報を登録／管理します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[管理者情報の設定] (P. 250)

[管理者情報の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理]

「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定して、管理者専用のアカウントを作成します。
必要に応じて、管理者の名前も設定できます。
メールアドレスなど他の管理者情報は、パソコンからリモート UI を使用して設定します。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)**

※初期設定では、「管理者 ID」と「管理者暗証番号」は設定されていません。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

[管理者 ID と管理者暗証番号]
　[管理者 ID]
　[管理者暗証番号]

[管理者名]

[デバイス管理]

EALA-07K

本機のハードウェアに関する動作や情報を設定／管理します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[デバイス情報の設定](P. 251)**
- **[ジョブ履歴表示の ON/OFF](P. 251)**
- **[リモート UI/ツールへの消耗品情報表示](P. 251)**
- **[用紙設定の確認表示](P. 252)**
- **[Canon Genuine Mode](P. 252)**

[デバイス情報の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

本機を識別するための名前や、設置した場所を設定します。
設定した情報は、リモート UI のポータル画面に表示されます。 **リモート UI のポータル画面(P. 187)**

[デバイス名]
[設置場所]

[ジョブ履歴表示の ON/OFF]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

プリントの使用履歴などを、状況確認画面に表示するかどうかを設定します。
[状況確認] 画面(P. 85)
リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 189)
レポート／リストをプリントして確認する(P. 193)

[OFF]
[**ON**]

[リモート UI/ツールへの消耗品情報表示]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

リモート UI やカートリッジ残量お知らせツールに、トナーカートリッジ購入サイトにアクセスするボタンを表示するかどうかを設定します。カートリッジ残量お知らせツールを使用するかどうかを設定することもできます。

- リモート UI にボタンを表示するかどうかは、[リモート UI に消耗品購入ボタンを表示] で設定します。
- カートリッジ残量お知らせツールを使用するかどうかは、[カートリッジ残量お知らせツール設定] の [ｶｰﾄﾘｯｼﾞ残量お知らせﾂｰﾙ] で設定します。
- カートリッジ残量お知らせツールを使用する場合に、ボタンを表示するかどうかは、[カートリッジ残量お知らせツール設定] の [消耗品購入ボタンを表示] で設定します。

カートリッジ残量お知らせツールとは、インストールしたパソコンに、本機のトナーカートリッジの残量が通知されるツールです。キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトからダウンロードしてインストールします。
https://canon.jp/download/

※CD/DVD-ROM が付属する場合は、CD/DVD-ROM を使用してインストールすることもできます。

[リモート UI に消耗品購入ボタンを表示]
[OFF]
[**ON**]

[カートリッジ残量お知らせツール設定]
[OFF]
[**ON**]
[消耗品購入ボタンを表示]
[OFF]
[**ON**]

[用紙設定の確認表示]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

給紙カセットを本機にセットしたときに、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを設定します。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 92)**

[OFF]
[**ON**]

[Canon Genuine Mode]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

純正のトナーカートリッジ向けのモードにするかどうかを設定します。

- 通常は設定を変更する必要はありません。
- 担当サービスが設定を変更する場合があります。項目が表示されていない場合は、本機の管理者にお問い合わせください。

[**OFF**]
[ON]

[リモート UI 設定/ファームウェア更新]

EALA-07L

本機のソフトウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- **[リモート UI 設定] (P. 253)**
- **[ファームウェア更新] (P. 253)**

[リモート UI 設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

リモート UI の使用やアクセス制限について設定します。

- **[リモート UI 設定] (P. 254)**

[ファームウェア更新]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

インターネット経由またはパソコン経由で本機のファームウェアをアップデートしたり、ファームウェアのバージョンを確認したりします。 **ファームウェアをアップデートする(P. 198)**

[PC 経由]

[インターネット経由]

[バージョン情報]

[通知設定]
- [**OFF**]
- [ON]

[リモート UI 設定]

EALA-07R

リモート UI の使用やアクセス制限について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[リモート UI を使用] (P. 254)
[パスワードの使用] (P. 254)

[リモート UI を使用]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [リモート UI 設定/ファームウェア更新] ▶ [リモート UI 設定]

リモート UI を使用するかどうかを設定します。 **リモート UI を使用できないようにする(P. 175)**
リモート UI を使用する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。 **TLS を使用する (P. 160)**

[OFF]

[**ON**]
[TLS を使用]
[**OFF**]
[ON]

[パスワードの使用]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [リモート UI 設定/ファームウェア更新] ▶ [リモート UI 設定]

リモート UI を使用する場合は、[ON] に設定して、リモート UI のパスワードを設定します。 **リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 174)**

[**OFF**]

[ON]
[パスワード(4～32 文字)]

[データ管理]

EALA-07S

本機の設定やデータを管理／初期化します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[使用状況調査プログラムの ON/OFF] (P. 255)**
- **[情報送信の設定] (P. 255)**
- **[鍵と証明書の初期化] (P. 255)**
- **[メニューの初期化] (P. 255)**

[使用状況調査プログラムの ON/OFF]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

使用状況調査プログラムを使用するかどうかを設定します。

使用状況調査プログラムは、ドライバーのインストール時にパソコンにインストールされるプログラムです。デバイスの使用状況に関する情報が、10 年間に渡って毎月キヤノンに自動的に送信されます。なお、上記以外の情報や個人情報は送信されません。

[OFF]
[**ON**]

[情報送信の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

連携する外部サービスの利用やご利用状況の分析のために、外部サーバーに情報を送信するかどうかを設定します。

[サービス利用に必要な情報]
[送信する]
[**送信しない**]

[ご利用状況に関する情報]
[送信する]
[**送信しない**]

[鍵と証明書の初期化]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化し、プリインストール以外の鍵や証明書を消去します。 **特定の設定／データを初期化する(P. 201)**

[メニューの初期化]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

［ホーム］画面の［メニュー］の設定を初期化します。初期化する設定項目を選択します。 **特定の設定／データを初期化する(P. 201)**

［環境設定］
［調整/メンテナンス］
［ファンクション設定］
［管理設定］
［上記すべて］

MEMO

- ［プリンター EDR］が［ON］の状態で初期化を行った場合、［起動時のシステム検証］は［OFF］になりません。

[セキュリティー設定]

EALA-07U

本機の認証機能やシステム検証など、セキュリティーについて設定／管理します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[認証/パスワード設定] (P. 257)**
- **[暗号設定] (P. 257)**
- **[起動時のシステム検証] (P. 257)**
- **[おすすめセキュリティー設定] (P. 258)**
- **[プリンター EDR] (P. 258)**

[認証/パスワード設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定]

本機の認証機能について設定します。

- **[認証/パスワード設定] (P. 259)**

[暗号設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定]

弱い暗号や、弱い暗号を用いた鍵と証明書を使用できないようにするかどうかを設定します。

[弱い暗号の使用を禁止]
[**OFF**]
[ON]

[弱い暗号を用いた鍵/証明書の使用を禁止]
[**OFF**]
[ON]

[起動時のシステム検証]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定]

本機の起動時に、システムが改ざんされていないかを検証します。

改ざんが検出された場合

- 本機が更新待機状態になります。ファームウェアをアップデートする必要があります。 **ファームウェアをアップデートする(P. 198)**
- しばらく待っても画面が表示されない場合は、システムの復旧ができない可能性があります。販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

[**OFF**]
[ON]

MEMO

- ［プリンター EDR］が［ON］に設定されている場合は、本設定を［OFF］にすることはできません。［プリンター EDR］を［OFF］に設定してから、本設定の変更を行ってください。

［おすすめセキュリティー設定］

［メニュー］▶［管理設定］▶［セキュリティー設定］

環境タイプを選択するだけで、お使いの環境におすすめのセキュリティー設定を一括して行えます。どの環境タイプに該当するかは「セキュリティー設定ナビ」でご確認ください。 **セキュリティー設定ナビ**

MEMO

- 本機を各タイプでおすすめのセキュリティー設定に変更したあと、必要な機能が利用できなくなった場合などは、変更を取り消して元に戻すことができます。［おすすめセキュリティー設定］で変更された項目の設定を手動で変更していた場合、その変更は維持されません。［おすすめセキュリティー設定］を実行する前の状態に戻ります。

［プリンター EDR］

［メニュー］▶［管理設定］▶［セキュリティー設定］

EDR（Endpoint Detection Response）機能を用いてお使いのプリンターの挙動を監視し、検知機能が外部からの攻撃を検知して通知します。 **プリンター EDR**

［**OFF**］
［ON］

[認証/パスワード設定]

EALA-07W

本機の認証機能について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[認証機能の設定] (P. 259)

[認証機能の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定] ▶ [認証/パスワード設定]

認証機能によるセキュリティーを強化する設定をします。

[ロックアウト設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [認証機能の設定]

認証に失敗した場合、一定時間ログインできない状態（ロックアウト）にするかどうかを設定します。
ロックアウトする場合は、何回連続して失敗するとロックアウトするかを［ロックアウトのしきい値］で、ロックアウトを解除するまでの時間を［ロックアウト時間］で設定できます。

[ロックアウトを使用]
[**OFF**]
[ON]

[ロックアウトのしきい値]
1 ～ 10（回）

[ロックアウト時間]
1 ～ 60（分）

メンテナンス

メンテナンス 261
本機の清掃 263
本機の表面を清掃する 264
定着器を清掃する 265
ドラムを清掃する 266
消耗品の交換 267
トナーカートリッジの交換方法 268
消耗品の残量を確認する 273
消耗品一覧 274
画質の調整 276
プリント濃度を調整する 277
本機を移動する 278
無償保証／保守サービス 280
無償保証について 281

メンテナンス

EALA-083

本機を安全かつ快適に使用するためには、清掃や消耗品の交換など、日常的なメンテナンス作業が必要です。
プリント品質の低下などが起きた場合は、改善するために清掃や調整を行います。
本機の安定した稼働を維持するための、無償保証や保守サービスも用意されています。

メンテナンス作業の実施

定期的な清掃に加えて、本機の状態やプリント品質に応じて作業が必要です。

清掃

本機の各部は定期的に清掃します。用紙が汚れたり、プリント品質が低下したりする場合は、症状に応じて原因となっている部分を清掃します。

本機の清掃(P. 263)

消耗品の交換

操作パネルやリモート UI の画面にメッセージが表示されたり、プリント品質が低下したりする場合は、消耗品を交換します。

消耗品の交換(P. 267)

プリント濃度の調整

プリントした文字や細線がかすれる場合は、プリント濃度を調整します。

プリント濃度を調整する(P. 277)

設置場所の変更

本機を移動する場合は、事故や破損を防ぐために決まった手順で作業します。

本機を移動する(P. 278)

無償保証／サービスの利用

キヤノンが提供する無償保証や保守サービス／総合サービスを利用して、本機を快適な稼動環境で使用します。

無償保証／保守サービス(P. 280)

重要

保守について

- 本機の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、製造打ち切り後 7 年間です。
- 操作に問題が発生した場合は、以下を参照してください。

  困ったときは(P. 284)

  それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合は、販売店または担当サービスに連絡してください。**トラブルが解決しないときは(P. 355)**

設置について

- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。
- 部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などのおそれがありますので、2 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。
- 高地（海抜 3000m 以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

■関連項目

症状から必要な対処方法を確認する

本機の状態やトラブルの内容から、必要なメンテナンス作業や設定を確認できます。

紙がつまった(P. 285)
プリント結果のトラブル(P. 291)
用紙／給紙のトラブル(P. 312)

プリントページ数や本機の使用状況を確認する

メンテナンスの目安として、カウンターでプリントページ数を確認したり、レポートやリストで使用状況を確認したりできます。

使用状況の確認(P. 191)

本機の清掃

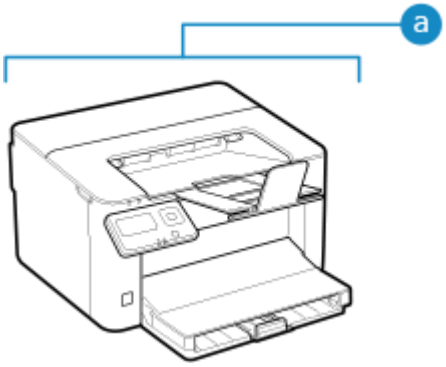
EALA-084

本機を快適に使用するために、各部を定期的に清掃してきれいに保ちます。
用紙が汚れたり、プリント品質が低下したりする場合は、症状に応じて原因となっている部分を清掃します。

定期的に清掃する箇所

本機の表面（a）は、こまめに清掃します。

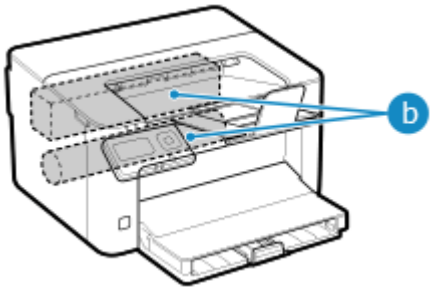
本機の表面を清掃する(P. 264)



症状に応じて清掃する

用紙が汚れたり、プリント品質が低下したりする場合は、本機内部の定着器／ドラム（b）を清掃します。

定着器を清掃する(P. 265)
ドラムを清掃する(P. 266)



本機の表面を清掃する

EALA-085

本機をきれいに保つために、定期的に表面を清掃します。また、効果的に本機内部の換気と冷却が行われるように、通気口のホコリはこまめに取り除きます。

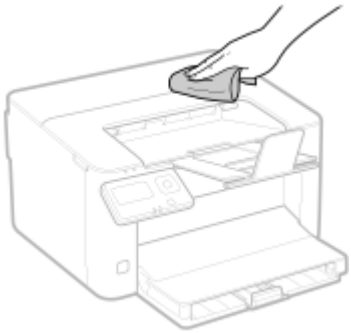
MEMO

- 本機の表面に黒い点が見られる場合がありますが、再生材使用によるものであり、品質には問題ありません。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 電源を切る(P. 77)

電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

2 本機の表面と通気口を拭く



- 柔らかい布に、水または薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞って拭きます。
- 通気口の位置については、以下を参照してください。
背面(P. 10)

3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる 電源を入れる(P. 76)

定着器を清掃する

EALA-086

プリントした用紙が汚れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。その場合、用紙を使用して定着器を清掃します。待機中のプリントデータがある場合や、トナーカートリッジが寿命に達している場合は、定着器を清掃できません。

必要な準備

- トナーカートリッジの残量があることを確認します。**消耗品の残量を確認する(P. 273)**

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［調整/メンテナンス］▶ OK ▶［メンテナンス］▶ OK ▶［定着器のクリーニング］▶ OK を押す**

➡使用できる用紙サイズと用紙種類の確認画面が表示されます。

3 **使用できる用紙がセットされていることを確認し、 OK を押す**

➡用紙が給紙されて、清掃が開始されます。
清掃が完了すると、白紙が 1 枚排紙されます。

ドラムを清掃する

EALA-0C8

プリントした用紙が汚れる場合は、ドラムが汚れている可能性があるため、以下の操作でドラムを清掃します。
待機中のプリントデータがある場合は、ドラムを清掃できません。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)**

2 **［調整/メンテナンス］▶ OK ▶［メンテナンス］▶ OK ▶［ドラムのクリーニング］▶ OK を押す**

➡［ドラムのクリーニング］画面が表示されます。

3 **［開始］▶ OK を押す**

➡清掃が実行されます。
清掃が完了すると、［終了しました。］と表示されたあと、［メンテナンス］画面に戻ります。

消耗品の交換

EALA-087

操作パネルやリモート UI の画面にメッセージが表示されたり、プリント品質が低下したりする場合は、消耗品を交換します。また、現在の消耗品の残量は、操作パネルやリモート UI で確認できます。消耗品の型番や印字可能枚数については、消耗品一覧を参照してください。

トナーカートリッジの交換方法(P. 268)
消耗品の残量を確認する(P. 273)
消耗品一覧(P. 274)

トナーカートリッジの交換方法

EALA-088

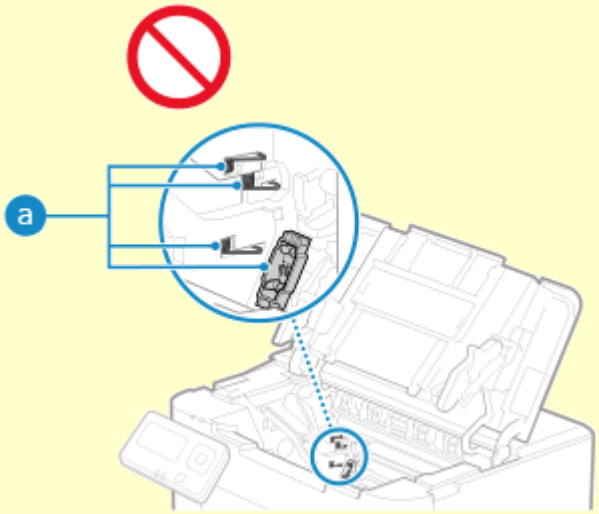
トナーカートリッジは、メッセージの表示やプリント品質の状態に応じて、適切な時期に交換します。

トナーカートリッジを交換する前に、「安全にお使いいただくために」の注意事項を確認してください。**本機のマニュアル(P. 358)**

トナーカートリッジの交換時期(P. 269)
トナーカートリッジを交換する前に(P. 269)
トナーカートリッジを交換する(P. 270)

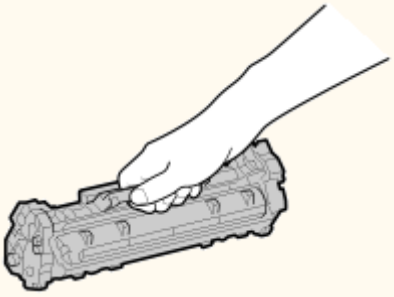
注意

- 本体内部の接点部（a）に触れないでください。本機が故障するおそれがあります。

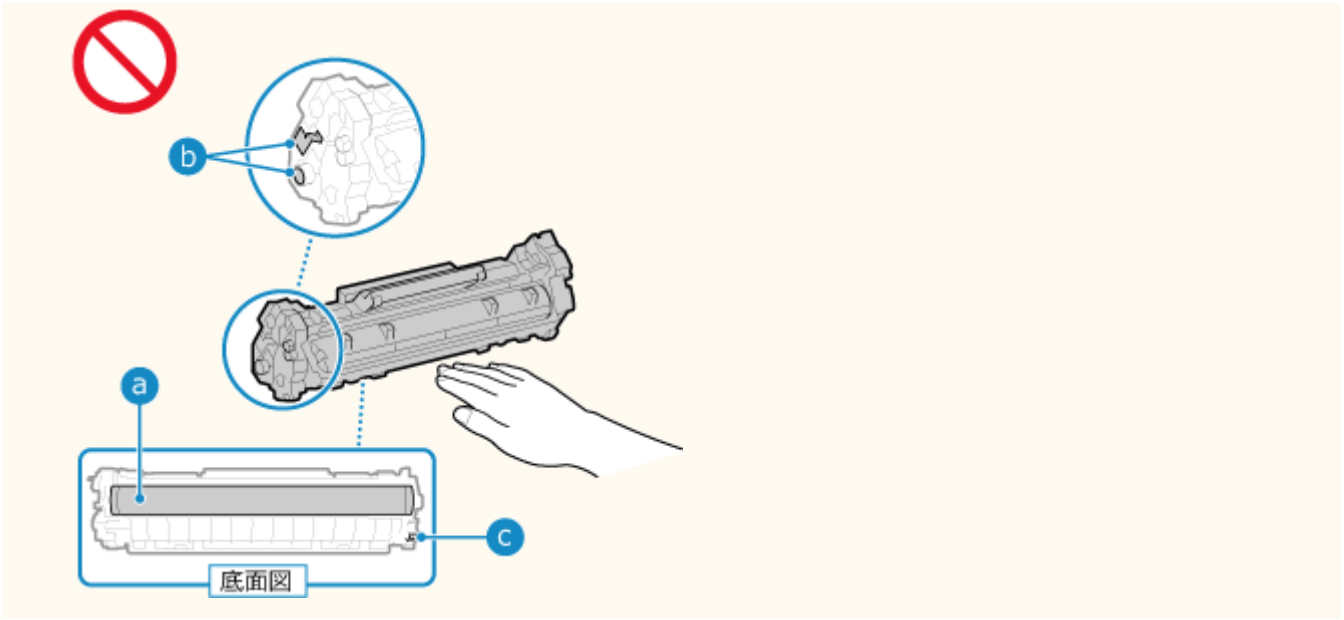


重要

- トナーカートリッジを持つときは、必ず取っ手を持ってください。



- ドラム表面（a）を傷つけたり、光にさらしたりしないでください。また、電気接点部（b）やトナーカートリッジメモリー（c）には触れないでください。



トナーカートリッジの交換時期

操作パネルやリモート UI の画面にメッセージが表示されたとき

表示されたメッセージに従って、新しいトナーカートリッジを準備したり、トナーカートリッジを交換したりします。交換せずにそのまま使い続けると、プリント品質が低下することがあります。

表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。

メッセージが表示された(P. 341)

プリント品質が低下したとき

トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリント結果に以下のような症状が見られる場合があります。メッセージが表示されていなくても、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。

すじ（線）が入る



印字ムラが出る



トナーが飛び散ったような汚れが付く



部分的に白く抜ける



かすれる



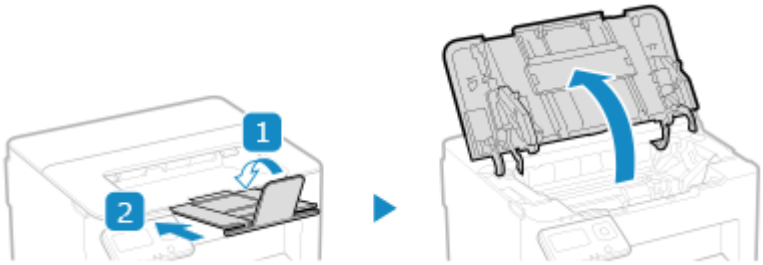
下地が全体的に黒ずむ



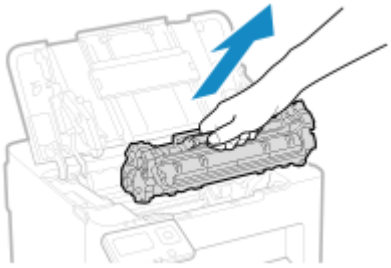
トナーカートリッジを交換する前に

交換する前に以下の操作をしてください。メッセージが消えたり、プリント品質が改善されたりすることがあります。

1 排紙ストッパーを閉じたあと、トナーカバーを開ける

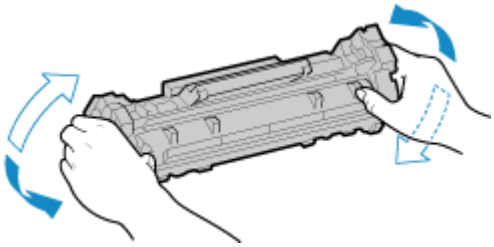


2 トナーカートリッジを取り出す



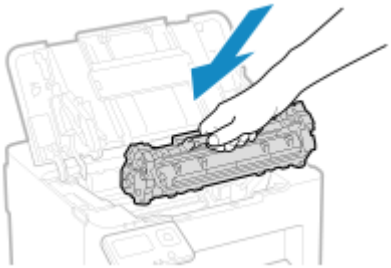
スロットと同じ角度でゆっくり取り出します。

3 トナーカートリッジを 5 ～ 6 回振って内部のトナーを均一にならす



トナーカートリッジ底面のドラム表面は触らないでください。

4 トナーカートリッジを取り付ける

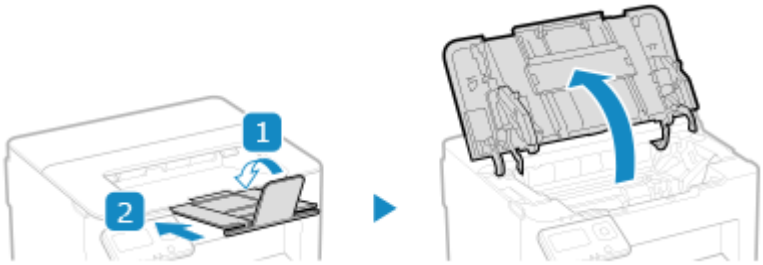


トナーカートリッジ底面は保護されていません。取り付けの際、スロットの枠などにぶつけないように注意してください。

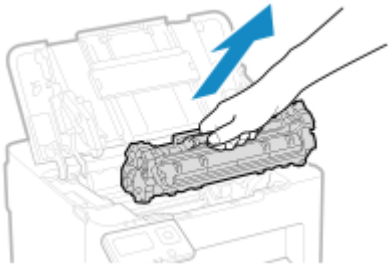
5 トナーカバーを閉じる

トナーカートリッジを交換する

1 排紙ストッパーを閉じたあと、トナーカバーを開ける

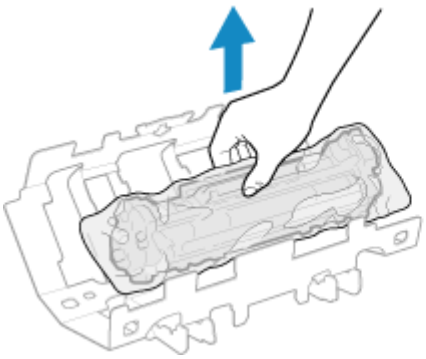


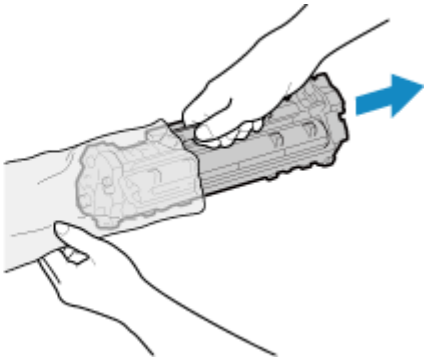
2 トナーカートリッジを取り出す



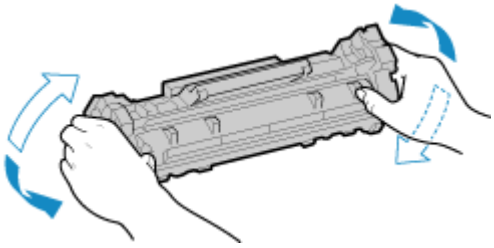
スロットと同じ角度でゆっくり取り出します。

3 平らな場所で、梱包材からトナーカートリッジを取り出す

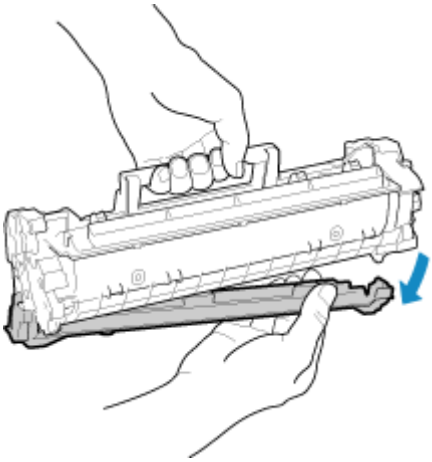




4 トナーカートリッジを 5 ～ 6 回振って内部のトナーを均一にならす

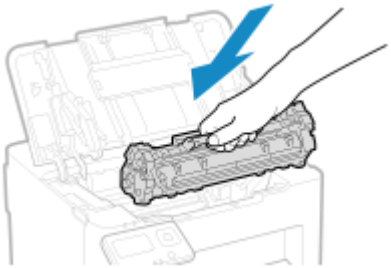


5 トナーカートリッジの保護カバーを取り外す



トナーカートリッジ底面のドラム表面は触らないでください。

6 トナーカートリッジを取り付ける



トナーカートリッジ底面は保護されていません。取り付けの際、スロットの枠などにぶつけないように注意してください。

7 トナーカバーを閉じる

消耗品の残量を確認する

EALA-089

現在のトナーカートリッジが残り何%かを、10 %刻みで確認できます。
大量にプリントする前には、新しいトナーカートリッジを準備する必要がないかを判断するための目安として、トナーカートリッジの残量を確認します。
※表示されるトナーカートリッジの残量の数値は目安であり、実際と異なる場合があります。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］ ▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［カートリッジ残量］ ▶ OK を押す

➡ トナーカートリッジの残量が表示されます。

3 トナーカートリッジの残量を確認する

MEMO

- トナーカートリッジが指定した残量になったときに、トナーカートリッジの準備を通知するメッセージが表示されるように設定できます。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせの表示ﾀｲﾐﾝｸﾞ］(P. 208)**

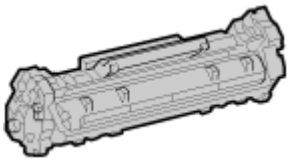
消耗品一覧

EALA-08A

本機の消耗品の型番や印字可能枚数は以下のとおりです。
また、消耗品の取り扱い／保管には注意が必要です。「安全にお使いいただくために」も併せて参照してください。 **本機のマニュアル(P. 358)**

最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。

■トナーカートリッジ



付属のトナーカートリッジ

付属のトナーカートリッジの平均印字可能枚数[*1] は 700 枚です。

[*1] 国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19752）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。

交換用のトナーカートリッジ

交換用のキヤノン純正トナーカートリッジと、その平均印字可能枚数[*1] は以下のとおりです。

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

[*1] 国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19752）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。

Canon Cartridge 071（キヤノン トナーカートリッジ 071）
1,200 枚

Canon Cartridge 071 H（キヤノン トナーカートリッジ 071 H）
2,500 枚

⚠注意

トナーカートリッジは次のとおり保管する

誤った場所や環境で保管すると、データ破損などのおそれがあります。

- 使用する直前まで未開封の状態で保管する
- 次の環境で保管する
  - 保管温度範囲：0 ℃ ～ 35 ℃
  - 保管湿度範囲：35 % ～ 85 %RH（相対湿度／結露しないこと）[*1]

*1 保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあり（結露）、印字品質に悪影響を及ぼす。

- 次の場所に保管しない
  - 火気のある場所
  - 直射日光や電灯の光に 5 分以上当たる場所
  - 空気中に塩分を多く含む場所
  - 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
  - 高温多湿の場所
  - 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所
  - ホコリの多い場所
  - 幼児の手の届く場所
  - 磁気が影響する製品（フロッピーディスクやディスクドライブなど）の近く
- トナーカートリッジは立てたり、裏返したり、逆さにしたりしない
- 梱包材は保管しておき、本機からトナーカートリッジを取り出して保管する場合に再び使用する
- 梱包材は予告なく位置、形状が変更されたり、追加や削除されたりすることがある

重要

トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

- キヤノン製トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
  https://global.canon/ctc/

MEMO

- 本機の設置環境やプリントする用紙サイズ、原稿の種類によって、平均印字可能枚数に達するより早く交換が必要になる場合があります。

画質の調整

EALA-08C

プリントしたときに濃度が変わるなど、期待どおりの結果にならない場合は、症状に応じて画質を調整します。

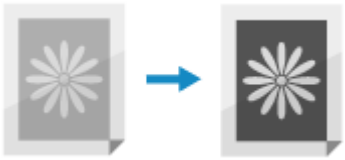
プリント結果が薄い／濃い ▶プリント濃度を調整する(P. 277)



プリント濃度を調整する

EALA-08E

プリント結果が濃くなったり、薄くなったりする場合に、プリント濃度を調整します。

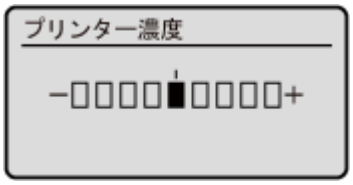


この調整は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して調整することはできません。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す** ［ホーム］画面(P. 84)

2 **［調整/メンテナンス］▶ OK ▶［画質調整］▶ OK ▶［プリンター濃度］▶ OK を押す**

3 **濃度を調整し、 OK を押す**



濃くする場合は［+］に、薄くする場合は［−］に設定します。

本機を移動する

EALA-08H

本機は重量物です。移転や清掃のために本機を移動する場合は、けがなどの事故や本機の破損を未然に防ぐために、必ず以下の手順で作業します。

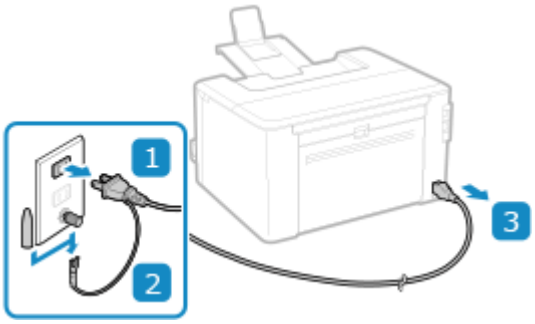
重要

- 移転や引っ越しなどで本機を輸送する場合は、輸送中の破損や故障を避けるため、次のことを行ってください。
  - トナーカートリッジを取り外す
  - 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する

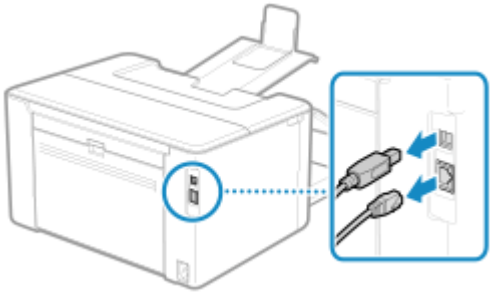
1 本機の電源を切る 電源を切る(P. 77)

電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

2 電源コードをイラストの番号順に抜く



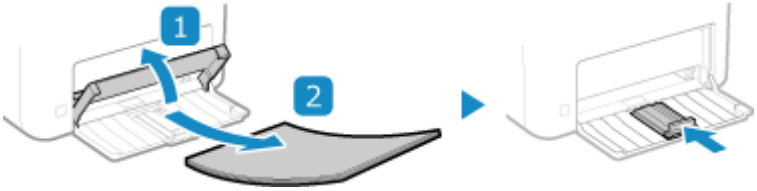
3 本機に接続されているケーブルやコードをすべて抜く



※接続されているケーブルやコードの数は、使用環境によって異なります。

4 長距離を移動する場合は、トナーがこぼれるのを防ぐため、トナーカートリッジを取り出す トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

5 用紙カバーを開けて用紙を取り出す



用紙ガイドが引き出されている場合は、給紙カセットに収まるように戻します。

6 前カバーなどをすべて閉める

7 本機を持ち上げて運ぶ



本機は重量物です。本機の大きさや質量については、本機の基本仕様を参照してください。 **基本仕様(P. 20)**

8 本機をゆっくりおろす

移動後の設置手順については、「セットアップ」を参照してください。 **本機のマニュアル(P. 358)**

無償保証／保守サービス

EALA-08J

■ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

ご愛用いただく製品向けに、機種ごとの保守サービスを用意しております。

無償保証について(P. 281)
保守サービス(P. 281)

無償保証について

EALA-08K

本製品につきましては、弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器をご登録いただくことで、お買い上げ日から一定期間の無償保証サービスを提供いたします。無償保証期間については、機種ごとに異なりますので、ご登録の上ご確認ください。下記の内容をご確認いただき、ご購入いただいた機器情報の登録をお願いいたします。なお、故障修理の際にお客様情報のご確認にお時間を頂戴するなど、お客様にご不便をおかけする場合がございますので、お買い上げ後、速やかにご登録をお願いいたします。本製品には保証書は同梱しておりません。機器情報をご登録いただくことにより製品保証書を電子発行（ウェブサイト上での閲覧および印刷）いたします。

＜ご購入後のお客様向けサービス「カスタマープレミアサイト」のご案内＞

「カスタマープレミアサイト」は、ご購入いただいた機器情報をご登録いただくことにより、ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客様がご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。
機器情報のご登録にあたって「カスタマープレミアサイト」へのお客様登録が必要となります。

＜カスタマープレミアサイトの登録方法＞

下記の手順に従って、お客様ご自身で「カスタマープレミアサイト」にアクセスし、お客様および本製品に関する情報をご登録ください。登録にあたって、本体に記載の「機種名、シリアルナンバー」が必要となります。なお、製品登録完了まで本書を大切に保管ください。「機種名、シリアルナンバー」が記載されている定格銘板の場所がご不明の場合は、機種ごとのオンラインマニュアルでご確認ください。
https://cmj-crmsystem.my.salesforce-sites.com/customerps

■その他のご注意

1. 無償修理に際しては、本製品のお買い上げ日が確認出来る書面（納品書、領収書等）が必要になりますので、機器ご登録後も大切に保管ください。
2. カスタマープレミアサイトでの製品登録に要する通信費等はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
3. カスタマープレミアサイトにて一度登録された製品を保証期間満了後に再登録しても、無償保証期間は延長・更新されません。
4. カスタマープレミアサイトにて登録された情報は登録の確認に時間を要す場合があります。あらかじめご了承ください。
5. スマートフォン、携帯電話からは登録いただけません。

保守サービス

機種ごとの保守サービスについては、下記のページをご覧ください。
https://canon.jp/biz/product/printer/satera/maintenance

困ったときは

困ったときは 284
紙がつまった 285
給紙カセット／排紙トレイ／背面に用紙がつまった 286
紙づまりが繰り返し起こる 290
プリント結果のトラブル 291
トナーが飛び散ったような汚れが付く 293
すじ（線）が入る 294
印字ムラが出る 296
用紙の端が汚れる 298
文字や画像がにじむ 299
プリント結果に残像が現れる 301
プリント結果がかすれる 303
ページの端がプリントされない 305
下地が全体的に黒ずむ 306
部分的に白く抜ける 307
用紙のウラが汚れる 309
斜めにプリントされる 310
印刷したバーコードが読み取れない 311
用紙／給紙のトラブル 312
用紙がしわになる 313
用紙がカールする 314
用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる 315
プリントした用紙が貼り付く 316
セットアップ 317
ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない 318
Wi-Fi に接続できない 319
ネットワーク 320
Wi-Fi への切り替えができない 321
接続するプリントサーバーが見つからない 322
共有プリンターに接続できない 323
本機の IP アドレスがわからない 324
AirPrint できない 325
TLS 暗号化通信を使った接続ができない 326
プリント 327

プリントできない 328
プリントできない - Wi-Fi 329
プリントできない - 有線 LAN 331
プリントできない - USB 接続 333
プリントできない - プリントサーバー経由 334
プリント速度が遅い 335
管理／環境設定 336
リモート UI にアクセスできない 337
スリープモードになるまでの時間を変更したい 338
管理者用の ID／暗証番号がわからない 339
本機で設定できる項目と設定状況を確認したい 340
メッセージが表示された 341
エラーコードが表示された 352
トラブルが解決しないときは 355

困ったときは

EALA-08U

トラブルが発生したときの対処方法や、よくあるお問い合わせについて説明します。
目次や以下の一覧から、確認したい項目を選択します。
上部の［ ］をクリックし、操作パネルの画面に表示されたメッセージやエラーコード（「#」で始まる 3 桁の番号）などを検索して、対処方法を確認することもできます。

■よくあるお問い合わせ

管理者用の ID／暗証番号がわからない(P. 339)
プリントできない(P. 328)

■操作に関するよくあるお問い合わせ

封筒にプリントする方法を知りたい

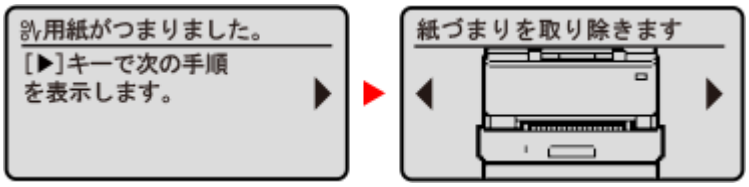
まず、封筒の向きと面に注意して、給紙カセットに封筒をセットします。
次に、セットした封筒に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。
そのあと、パソコンからプリンタードライバーで、文書の用紙サイズや、プリントする用紙サイズを正しく設定してプリントします。

封筒をセットする準備と向き(P. 94)
用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)
パソコンからプリントする(P. 115)

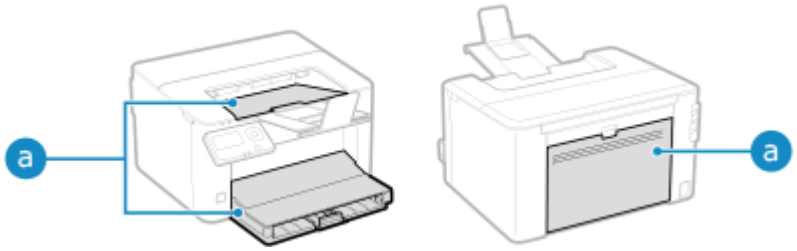
紙がつまった

EALA-08W

紙がつまると、操作パネルの画面に［用紙がつまりました。］と表示されます。▶を押して、表示される対処方法に従います。



紙がつまった場所に応じた、より詳細な対処方法については、以下を参照してください。



a 給紙カセット／排紙トレイ／背面

給紙カセット／排紙トレイ／背面に用紙がつまった(P. 286)

注意

つまった用紙を無理に取り除かない

- 無理に取り除こうとすると、けがをしたり、部品などを損傷するおそれがあります。紙がつまったときの対処方法で取り除けない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。**トラブルが解決しないときは(P. 355)**

紙づまりの処理が完了したら

- 本機から、すぐに手を離してください。本機のローラーに衣服や手が巻き込まれるおそれがあります。

重要

作業するときは電源を切らない

- 電源を切ると、プリント中のデータが消去されるおそれがあります。

用紙が破れたとき

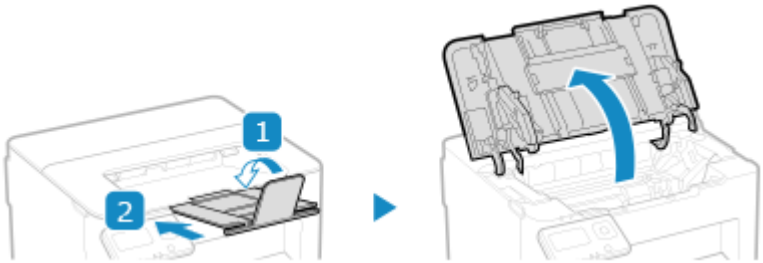
- 本機内部に切れ端が残らないように取り除いてください。

給紙カセット／排紙トレイ／背面に用紙がつまった

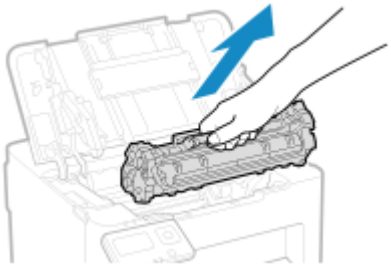
EALA-0C9

以下の手順で給紙カセット／排紙トレイ／背面を確認し、つまっている用紙があれば取り除きます。用紙が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。

1 排紙ストッパーを閉じたあと、トナーカバーを開ける



2 トナーカートリッジを取り出す



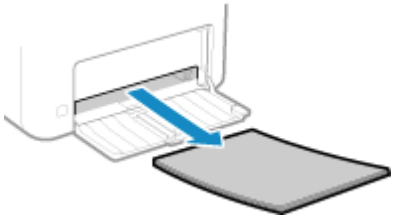
スロットと同じ角度でゆっくり取り出します。

3 給紙カセットにつまっている用紙を取り除く

1 用紙カバーを開ける

2 他の用紙がセットされている場合は、その用紙を取り除く

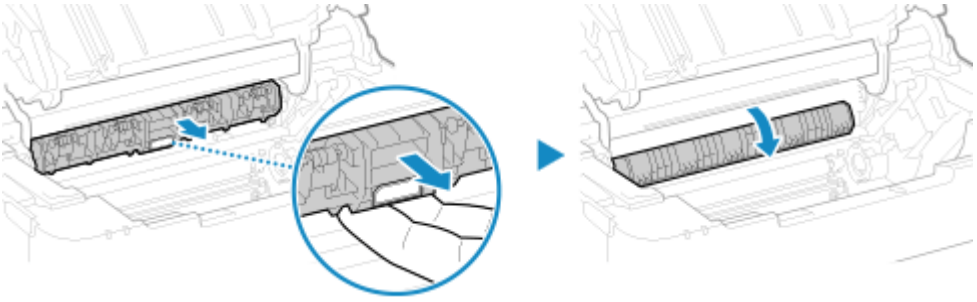
3 用紙をゆっくり引き抜く



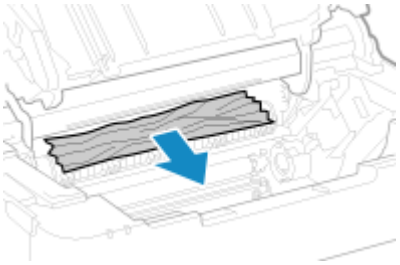
4 用紙をセットし、用紙カバーを閉める

4 排紙ガイド内部につまっている用紙を取り除く

1 排紙ガイドを手前に引き出す



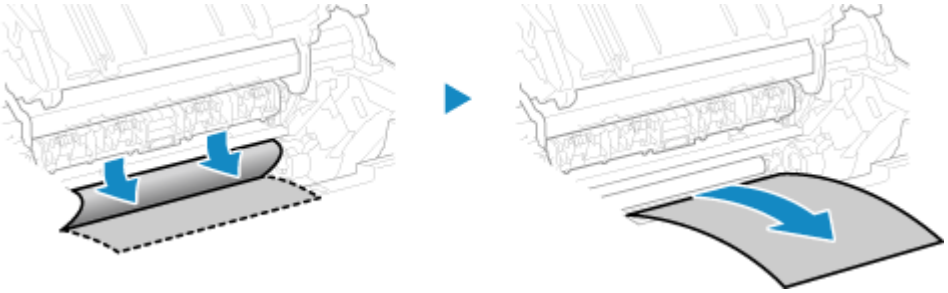
2 用紙をゆっくり引き抜く



3 排紙ガイドを閉める

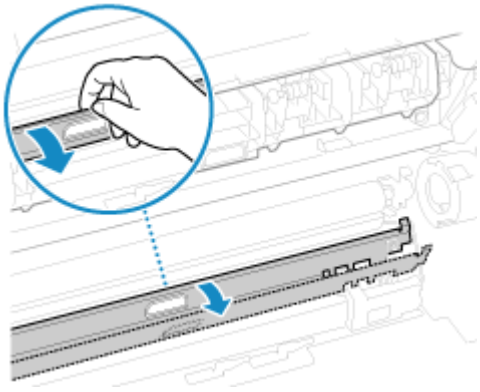
5 本体内部につまっている用紙を取り除く

1 用紙をゆっくり引き抜く



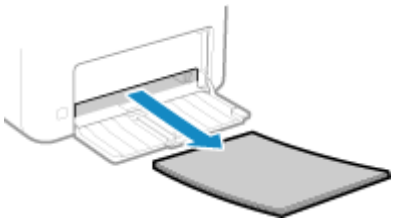
用紙の両側を持ち、用紙の先端を下方向に引き出し、ゆっくり上に引き抜きます。

2 ガイド内に用紙がつまっていないことを確認する



つまっている場合

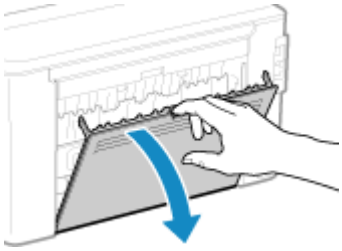
用紙カバーを開けて、他の用紙がセットされている場合は、その用紙を取り除き、つまっている用紙をゆっくり引き抜きます。



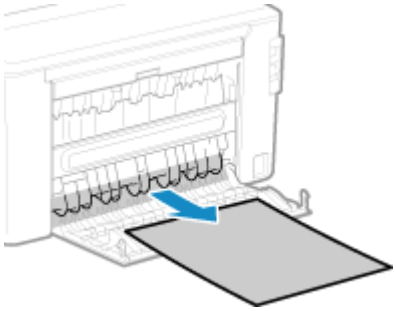
給紙カセットに用紙をセットし、用紙カバーを閉めます。

6 後ろカバー内部につまっている用紙を取り除く

1 後ろカバーを開ける

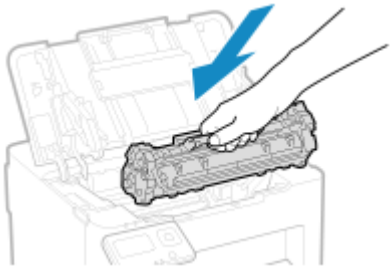


2 用紙をゆっくり引き抜く



3 後ろカバーを閉める

7 トナーカートリッジを取り付ける



8 トナーカバーを閉める

➠[用紙がつまりました。]のメッセージが消えて、プリントが自動的に再開されます。
自動的に再開されない場合は、プリントしなおします。

MEMO

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。 **紙づまりが繰り返し起こる(P. 290)**

紙づまりが繰り返し起こる

EALA-090

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の内部に紙片や異物がありませんか？

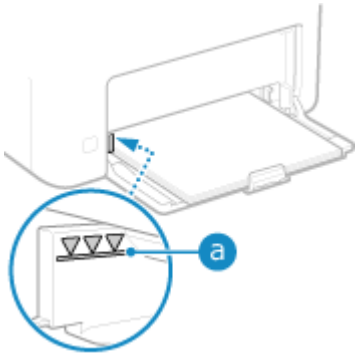
紙片や異物がある場合は取り除きます。 **紙がつまった(P. 285)**

適切な用紙を使用していますか？

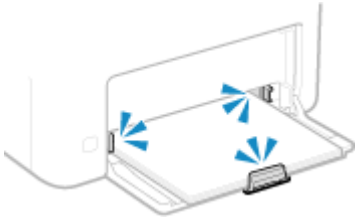
本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を少量ずつよくさばき、用紙が貼りつかないようにします。
- 用紙を平らな場所で数回たたいて、端をそろえてからセットします。 **用紙のセット方法(P. 91)**
- 用紙が積載制限マークや積載制限ガイド（a）を超えないようにセットします。



- 用紙ガイドが指標に合っていること、ゆるすぎたりきつすぎたりしないことを確認します。



プリント済み用紙のウラ面にプリントしたときに発生しますか？

該当する場合は、用紙の端を伸ばしてカールをしっかりと取ります。

※プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合は、本機でプリントした用紙のみ使用できます。紙づまりや故障の原因になるため、他のプリンターや複合機でプリントした用紙は使用しないでください。

プリント結果のトラブル

EALA-0CH

プリント結果に以下のような症状が見られる場合は、症状に応じた対処方法を確認します。



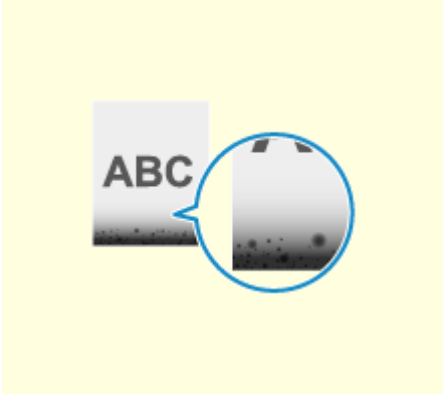
トナーが飛び散ったような汚れが付く(P. 293)



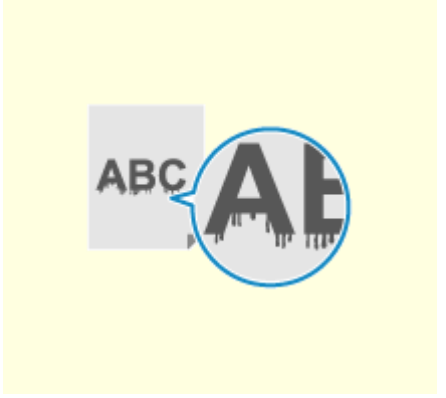
すじ（線）が入る(P. 294)



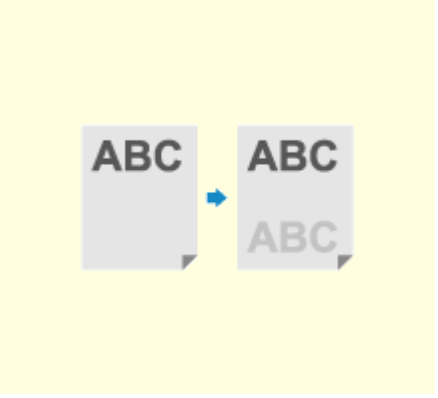
印字ムラが出る(P. 296)



用紙の端が汚れる(P. 298)



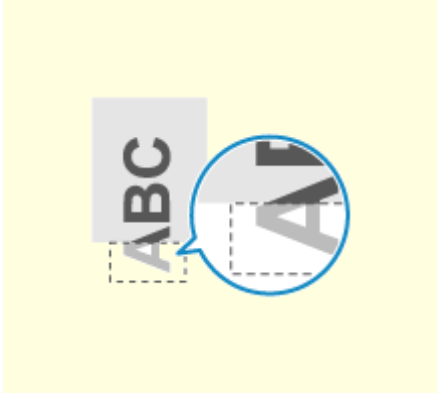
文字や画像がにじむ(P. 299)



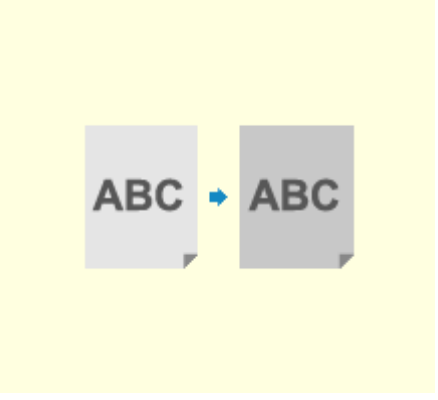
プリント結果に残像が現れる(P. 301)



プリント結果がかすれる(P. 303)



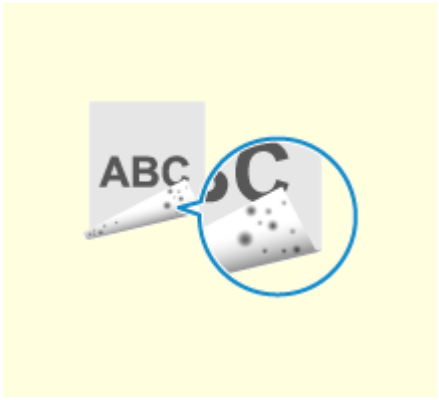
ページの端がプリントされない(P. 305)



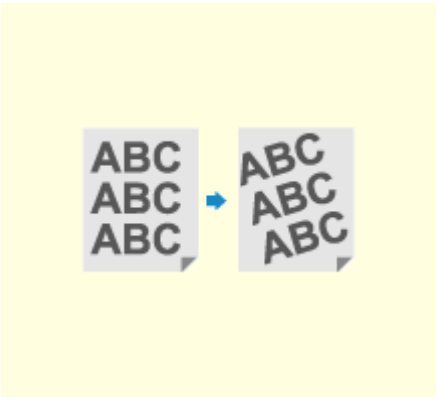
下地が全体的に黒ずむ(P. 306)



部分的に白く抜ける(P. 307)



用紙のウラが汚れる(P. 309)



斜めにプリントされる(P. 310)



印刷したバーコードが読み取れない(P. 311)

トナーが飛び散ったような汚れが付く

EALA-0CJ

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 293)
Step 2：トナーカートリッジを確認する(P. 293)
Step 3：本機の使用環境を確認する(P. 293)
Step 4：本機のメンテナンス状況を確認する(P. 293)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

Step 2：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量が少ないときは、トナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 273)
トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。

Step 3：本機の使用環境を確認する

湿度が低い環境で使用していますか？

該当する場合は、［低湿度モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］、［モード 3］の順に試します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［低湿度モード］ ▶ モードを選択

※この設定を有効にすると、湿度が高い環境では、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

Step 4：本機のメンテナンス状況を確認する

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。**定着器を清掃する(P. 265)**

すじ（線）が入る

EALA-0CK

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 294)
Step 2：トナーカートリッジを確認する(P. 294)
Step 3：本機の使用環境を確認する(P. 294)
Step 4：本機のメンテナンス状況を確認する(P. 295)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

Step 2：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量が少ないときは、トナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 273)
トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。

Step 3：本機の使用環境を確認する

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることもあります。2 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

エアコンなどの風が強くあたる場所に、本機を設置していますか？

該当する場合は、空調機器の風向きや風量を調整してください。
それでも改善しない場合は、［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［ファンクション設定］ ▶ OK ▶ ［共通］ ▶ OK ▶ ［給紙動作］ ▶ OK ▶ ［給紙方法切替］ ▶ OK ▶ ［カセット 1］ ▶ OK ▶ ［プリント面優先］ ▶ OK

※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。

出力調整モードを試します

［出力調整モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［ファンクション設定］ ▶ OK ▶ ［プリンター］ ▶ OK ▶ ［プリンター設定］ ▶ OK ▶ ［印字調整］ ▶ OK ▶ ［出力調整モード］ ▶ OK ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなります。

Step 4：本機のメンテナンス状況を確認する

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 265)**

印字ムラが出る

EALA-0CL

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 296)
Step 2：トナーカートリッジを確認する(P. 296)
Step 3：本機の使用環境を確認する(P. 296)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

Step 2：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量が少ないときは、トナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 273)
トナーカートリッジを交換する(P. 270)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。

Step 3：本機の使用環境を確認する

湿度が高い環境で使用していますか？

該当する場合は、［高湿度モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［高湿度モード］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK

※［ON］に設定すると、湿度が低い環境では、画像や文字がにじむことがあります。

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることもあります。2 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

エアコンなどの風が強くあたる場所に、本機を設置していますか？

該当する場合は、空調機器の風向きや風量を調整してください。
それでも改善しない場合は、［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［ファンクション設定］ ▶ OK ▶ ［共通］ ▶ OK ▶ ［給紙動作］ ▶ OK ▶ ［給紙方法切替］ ▶ OK ▶ ［カセット 1］ ▶ OK ▶ ［プリント面優先］ ▶ OK

※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。

用紙の端が汚れる

EALA-0CS

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

余白なしで用紙いっぱいにプリントしていますか？

プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この症状が見られることがあります。本機でプリントするには、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 15 mm、左右 10 mm）の余白が必要です。

プリンタードライバーの［印刷設定］画面で、以下の設定をして余白を確保します。

［仕上げ］タブ ▶ ［処理オプション］ ▶ ［印字領域を広げて印刷］ ▶ ［しない］

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 265)**

文字や画像がにじむ

EALA-0CU

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 299)
Step 2：本機の使用環境を確認する(P. 299)
Step 3：特殊処理の設定を確認する(P. 299)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

Step 2：本機の使用環境を確認する

湿度が低い環境で使用していますか？

該当する場合は、［低湿度モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］、［モード 3］の順に試します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［低湿度モード］ ▶ OK ▶ モードを選択 ▶ OK

※この設定を有効にすると、湿度が高い環境では、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

湿度が高い環境で使用していますか？

該当する場合は、［高湿度モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［高湿度モード］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK

※［ON］に設定すると、湿度が低い環境では、画像や文字がにじむことがあります。

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることもあります。2 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

Step 3：特殊処理の設定を確認する

［にじみ汚れ改善］を有効にしていますか？

［にじみ汚れ改善］を［モード 1］に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［にじみ汚れ改善］ ▶ OK ▶ ［モード 1］または［モード 2］ ▶ OK

プリント結果に残像が現れる

EALA-0CW

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する(P. 301)
Step 2：残像の状態を確認する(P. 301)
Step 3：本機のメンテナンス状況を確認する(P. 302)
Step 4：特殊処理の設定を確認する(P. 302)

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

トナーカートリッジが寿命に近づいていませんか？

トナーカートリッジ内部の部品が劣化している可能性があります。この症状が見られる場合は、トナーカートリッジの残量やメッセージの表示にかかわらず、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。**トナーカートリッジの交換方法(P. 268)**

Step 2：残像の状態を確認する

プリントしない部分に残像が現れますか？

小さいサイズの用紙にプリントしたあとに、続けて大きなサイズの用紙にプリントすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。その場合は、［残像補正 1］を［ON］に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［残像補正 1］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

同一ページ内に残像が現れますか？

該当する場合は、［転写調整モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［転写調整モード］ ▶ OK ▶ ［モード 1］または［モード 2］ ▶ OK

※この設定を有効にすると、湿度が低い環境では、プリント濃度が変わることがあります。

Step 3：本機のメンテナンス状況を確認する

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 265)**

Step 4：特殊処理の設定を確認する

［定着改善モード］を有効にしていますか？

該当する場合は、［定着改善モード］を［OFF］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［定着改善モード］ ▶ OK ▶ ［OFF］ ▶ OK

プリント結果がかすれる

EALA-0CX

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する(P. 303)
Step 2：本機の使用環境を確認する(P. 303)
Step 3：特殊処理の設定を確認する(P. 304)

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する

適切な用紙を使用していますか？

- 本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
  使用可能な用紙(P. 14)
  用紙のセット方法(P. 91)
- セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定します。 **用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)**

用紙の種類や使用環境によって、プリントのトナーがはがれることがありますか？

該当する場合は、［定着改善モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［定着改善モード］ ▶ OK ▶ ［モード 1］または［モード 2］ ▶ OK

※この設定を有効にすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。

トナーカートリッジが寿命に近づいていませんか？

トナーカートリッジ内部の部品が劣化している可能性があります。この症状が見られる場合は、トナーカートリッジの残量やメッセージの表示にかかわらず、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。
トナーカートリッジを交換する(P. 270)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。

Step 2：本機の使用環境を確認する

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることもあります。2 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

エアコンなどの風が強くあたる場所に、本機を設置していますか？

該当する場合は、空調機器の風向きや風量を調整してください。
それでも改善しない場合は、［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［ファンクション設定］ ▶ OK ▶ ［共通］ ▶ OK ▶ ［給紙動作］ ▶ OK ▶ ［給紙方法切替］ ▶ OK ▶ ［カセット 1］ ▶ OK ▶ ［プリント面優先］ ▶ OK

※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。

Step 3：特殊処理の設定を確認する

［特殊処理］を有効にしていますか？

該当する場合は、以下の［特殊処理］を［OFF］に設定すると、症状が改善されることがあります。 **［特殊処理］(P. 231)**

- ［両面プリント貼り付き軽減］
- ［封筒貼り付き軽減モード］
- ［用紙カール補正］

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK

ページの端がプリントされない

EALA-0CY

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

用紙ガイドを用紙にぴったり合わせていますか？

用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、プリント結果が欠ける原因になります。用紙ガイドを確認し、用紙の幅にぴったり合わせます。 **用紙のセット方法(P. 91)**

余白なしで用紙いっぱいにプリントしていますか？

プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この症状が見られることがあります。本機でプリントするには、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 15 mm、左右 10 mm）の余白が必要です。

プリンタードライバーの［印刷設定］画面で、以下の設定をして余白を確保します。

［仕上げ］タブ ▶ ［処理オプション］ ▶ ［印字領域を広げて印刷］ ▶ ［しない］

下地が全体的に黒ずむ

EALA-0E0

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

白地の部分が全体的に黒ずみますか？

該当する場合は、［下地補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［下地補正］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK

※［ON］に設定すると、プリント濃度が薄くなることがあります。

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量が少ないときは、トナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 273)
トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。

部分的に白く抜ける

EALA-0E1

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 307)
Step 2：トナーカートリッジを確認する(P. 307)
Step 3：白抜けの状態を確認する(P. 307)
Step 4：本機の使用環境を確認する(P. 308)
Step 5：本機のメンテナンス状況を確認する(P. 308)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

用紙は湿気を含んでいますか？

該当する場合は、注意事項を確認し、乾いた用紙と交換します。

用紙を取り扱うときの注意事項(P. 18)
用紙のセット方法(P. 91)

Step 2：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量が少ないときは、トナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 273)
トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。

Step 3：白抜けの状態を確認する

濃い文字や線の中央が抜けて印刷されますか？

該当する場合は、［転写調整モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［転写調整モード］ ▶ OK ▶ ［モード 1］または［モード 2］ ▶ OK

※この設定を有効にすると、湿度が低い環境では、プリント濃度が変わることがあります。

Step 4：本機の使用環境を確認する

用紙の種類や使用環境によって、プリントのトナーがはがれることがありますか？

該当する場合は、［定着改善モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［定着改善モード］ ▶ OK ▶ ［モード 1］または［モード 2］ ▶ OK

※この設定を有効にすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。

紙粉の多い用紙を使用していますか？

該当する場合は、［タルク紙モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［タルク紙モード］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK

※［ON］に設定すると、画質が変化したりすることがあります。

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることもあります。2 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

Step 5：本機のメンテナンス状況を確認する

ドラムを清掃していますか ？

ドラムが汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、ドラムを清掃します。 **ドラムを清掃する(P. 266)**

用紙のウラが汚れる

EALA-0E2

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

プリントデータよりもサイズの小さい用紙を使用していますか？

該当する場合は、プリントデータと同じサイズの用紙に交換します。 **用紙のセット方法(P. 91)**

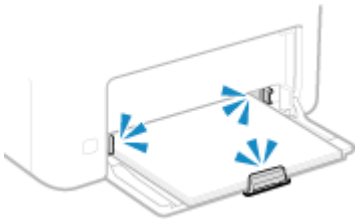
定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 265)**

斜めにプリントされる

EALA-0E3

用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、この症状が見られることがあります。用紙ガイドを確認し、用紙の幅にぴったり合わせます。 **用紙のセット方法(P. 91)**



印刷したバーコードが読み取れない

EALA-0E4

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

小さなバーコードや、線の太いバーコードを使っていますか？

- バーコードを大きくします。
- バーコードの線の向きが排紙方向に対して垂直になっている場合は、平行になるように画像を 90 度回転します。

バーコード調整モードを試します

プリンタードライバーで［バーコード調整モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］、［モード 3］の順に試します。

- プリンタードライバーの［印刷設定］画面で、以下の設定をします。

  ［仕上げ］タブ ▶ ［処理オプション］ ▶ ［バーコード調整モード］ ▶ モードを選択

  ※この設定を有効にすると、プリント濃度が薄くなることがあります。

- ［バーコード調整モード］を［モード 3］にしても症状が改善されない場合は、［プリンター濃度］を変更すると改善されることがあります。 **［プリンター濃度］(P. 230)**

用紙／給紙のトラブル

EALA-0E5

該当するトラブルから対処方法を確認します。

用紙がしわになる(P. 313)
用紙がカールする(P. 314)
用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる(P. 315)
プリントした用紙が貼り付く(P. 316)

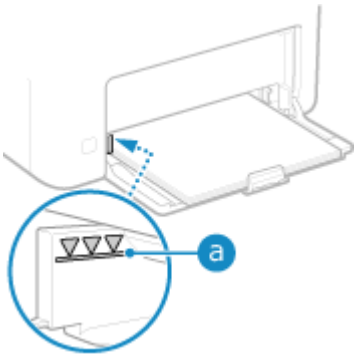
用紙がしわになる

EALA-0E6

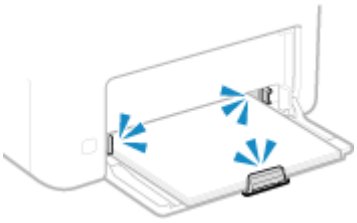
以下の点を確認して、トラブルを解消します。

用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。



- 用紙ガイドがゆるすぎたりきつすぎたりしないことを確認します。



用紙は湿気を含んでいますか？

該当する場合は、注意事項を確認し、乾いた用紙と交換します。

用紙を取り扱うときの注意事項(P. 18)
用紙のセット方法(P. 91)

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

用紙がカールする

EALA-0E7

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

- 本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
  使用可能な用紙(P. 14)
  用紙のセット方法(P. 91)
- セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定します。 **用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)**
- ［用紙カール補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［用紙特殊処理］ ▶ OK ▶ ［用紙カール補正］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK

  ※［ON］に設定すると、プリントがかすれることがあります。
- ［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［ファンクション設定］ ▶ OK ▶ ［共通］ ▶ OK ▶ ［給紙動作］ ▶ OK ▶ ［給紙方法切替］ ▶ OK ▶ ［カセット 1］ ▶ OK ▶ ［プリント面優先］ ▶ OK

  ※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。
- プリントする面（用紙のオモテとウラ）を逆にして、用紙をセットしなおします。

  ※使用している用紙によっては、まれに症状が悪化することがあります。そのような場合は元の面に戻します。

用紙は湿気を含んでいますか？

該当する場合は、以下の順に試します。

- 注意事項を確認し、乾いた用紙と交換します。
  用紙を取り扱うときの注意事項(P. 18)
  用紙のセット方法(P. 91)
- 用紙種類の設定を、より薄い用紙に変更します。 **用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)**

用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる

EALA-0E8

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 14)
用紙のセット方法(P. 91)

用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を少量ずつよくさばき、用紙が貼りつかないようにします。
- 用紙を平らな場所で数回たたいて、端をそろえてからセットします。 **用紙のセット方法(P. 91)**
- 異なるサイズ／種類の用紙を、いっしょにセットしないようにします。

プリントした用紙が貼り付く

EALA-0E9

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

- 本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
  使用可能な用紙(P. 14)
  用紙のセット方法(P. 91)
- セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定します。**用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)**

［両面プリント貼り付き軽減］を試します

- ［両面プリント貼り付き軽減］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ OK ▶ ［画質調整］ ▶ OK ▶ ［特殊処理］ ▶ OK ▶ ［両面プリント貼り付き軽減］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK

※［ON］に設定しても症状が改善しない場合は、［出力調整モード］も［ON］に設定します。**［出力調整モード］(P. 244)**

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

セットアップ

EALA-09U

本機のセットアップに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

■ドライバーのインストール時のトラブル

ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない(P. 318)

■Wi-Fi／有線 LAN 接続のトラブル

Wi-Fi に接続できない

本機がネットワークに接続できる状態かどうかを確認します。

Wi-Fi に接続できない(P. 319)

有線 LAN に接続できない

IP アドレスの設定に失敗している可能性があります。再度 IP アドレスを設定します。

IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
IPv6 アドレスを設定する(P. 55)

Wi-Fi と有線 LAN を同時に接続できない

本機は Wi-Fi と有線 LAN を同時に接続することはできません。USB と Wi-Fi、USB と有線 LAN は、それぞれ同時に接続できます。

TLS 暗号化通信を使った接続ができない

お使いの OS やブラウザーなどのソフトウェアがサポートしていない TLS バージョンを設定すると、本体と TLS 暗号化通信を使った接続ができなくなります。

OS のバージョンアップやソフトウェアの更新を行う、または TLS バージョンを段階的に下位へ変更することで接続できるようになります。ただし、TLS バージョンを下位へ変更すると、十分なセキュリティーで保護されていない環境での接続となる場合があります。

TLS を使用する(P. 160)

■USB 接続のトラブル

通信できない

以下を試します。

- USB ケーブルを交換します。USB ケーブルが長い場合は、短いものに交換します。
- USB ハブを使用している場合は、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続します。

ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない

EALA-09W

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の設定を確認します

以下の設定がされていない場合は、設定を行います。
設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

WSD 印刷とマルチキャスト探索の設定

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [WSD 設定] ▶ [編集] ▶ [WSD 印刷を使用する] と [マルチキャスト探索を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK] ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、[ホーム] 画面の [メニュー] ▶ [環境設定] から設定します。
[WSD 設定] (P. 223)

OS のネットワーク設定を確認します

以下の設定がされていない場合は、設定を行います。

Windows の [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [プロパティ] ▶ [プライベートネットワーク]

ドライバーがインストール済みかどうかを確認します

以下の手順で、本機のドライバー名が表示されるかどうかを確認します。

Windows の [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] ▶ ドライバー名が表示されるかどうかを確認

ドライバー名が表示される場合は、インストール済みです。その場合、ドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

Wi-Fi に接続できない

EALA-09X

以下の順に、パソコンと Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）、および本機の状態を確認して、トラブルを解消します。

Step 1：パソコンと Wi-Fi ルーターの状態を確認する(P. 319)
Step 2：本機と Wi-Fi ルーターの状態を確認する(P. 319)
Step 3：Wi-Fi に接続しなおす(P. 319)

Step 1：パソコンと Wi-Fi ルーターの状態を確認する

パソコンと Wi-Fi ルーターの設定は完了していますか？

完了していない場合は、必要な設定を行います。

電源ケーブルや LAN ケーブルなどのケーブル類は正しく接続されていますか？

ケーブル類の配線が間違っていたり、外れていたりする場合は、正しく接続します。

Wi-Fi ルーターは電源が入っていますか？

電源が入っていても接続できない場合は、各機器の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。

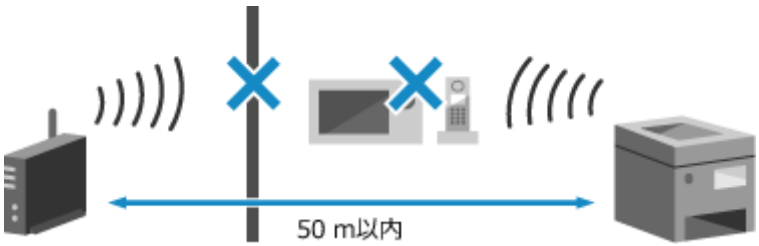
Step 2：本機と Wi-Fi ルーターの状態を確認する

本機は電源が入っていますか？

電源が入っている場合は、いったん切ってから、再度電源を入れます。

設置場所は適切ですか？

- 本機と Wi-Fi ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



Step 3：Wi-Fi に接続しなおす

使用する Wi-Fi ルーターに応じた接続方式で、Wi-Fi に接続します。 **Wi-Fi に接続する(P. 43)**

ネットワーク

EALA-09Y

ネットワークに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

Wi-Fi への切り替えができない(P. 321)
接続するプリントサーバーが見つからない(P. 322)
共有プリンターに接続できない(P. 323)
本機の IP アドレスがわからない(P. 324)
AirPrint できない(P. 325)
TLS 暗号化通信を使った接続ができない(P. 326)

Wi-Fi への切り替えができない

EALA-0A0

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］▶ OK を押す ［ホーム］画面(P. 84)

2 ［環境設定］▶ OK ▶ ［ネットワーク］▶ OK ▶ ［有線 LAN/Wi-Fi 選択］▶ OK を押す

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［<ログイン>］▶ OK を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 4)**

3 ［Wi-Fi］を押す

➠［設定しました。］とメッセージが表示されます。

4 本機を Wi-Fi に接続する Wi-Fi に接続する(P. 43)

5 本機を使用するパソコンで、ドライバーをインストールしなおす

本機を有線 LAN 接続から Wi-Fi 接続に切り替えた場合は、すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおす必要があります。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

接続するプリントサーバーが見つからない

EALA-0A1

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

プリントサーバーとパソコンが正しく接続されていますか？

- プリントサーバーとパソコンのネットワーク設定を確認し、正しく接続します。
- LAN ケーブルで接続している場合は、正しく配線します。

プリントサーバーは起動していますか？

起動していない場合は、プリントサーバーを起動します。

プリントサーバーに接続する権限はありますか？

プリントサーバーの管理者に確認し、必要に応じて権限の付与を依頼します。

ネットワーク探索は有効になっていますか？（Windows のみ）

ネットワーク探索が有効になっていない場合は、有効にします。 **ネットワーク探索を有効にする(P. 364)**

共有プリンターに接続できない

EALA-0A2

ネットワーク上のパソコンで、共有プリンターが表示されているかどうかを確認します。 **プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 364)**

表示されない場合は、ネットワークやプリントサーバーの管理者にお問い合わせください。

本機の IP アドレスがわからない

EALA-0A3

以下の手順で IP アドレスを確認します。

IPv4 アドレスを確認する

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［状況確認］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク情報］ ▶ OK ▶ ［IPv4］ ▶ OK ▶ 設定を確認

IPv6 アドレスを確認する

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［状況確認］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク情報］ ▶ OK ▶ ［IPv6］ ▶ OK ▶ 設定を確認

MEMO

IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合

- IP アドレスが適切に設定されていません。IP アドレスを設定しなおします。
  IPv4 アドレスを設定する(P. 53)
  IPv6 アドレスを設定する(P. 55)

AirPrint できない

EALA-0A4

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の電源が入っていますか？

電源が入っている場合は、本機を再起動してから AirPrint を試します。 **再起動する(P. 78)**

操作パネルの画面にエラーメッセージが表示されていますか？

表示されている場合は、エラーメッセージに従って対処します。 **メッセージが表示された(P. 341)**

Mac の場合は、本機と正しく接続していますか？

本機と同一の LAN にネットワーク接続します。 **ネットワークの設定(P. 39)**
USB 接続の場合は、本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。 **背面(P. 10)**

AirPrint で使用できる機能を制限していますか？

AirPrint で使用するプロトコル（IPP/Network Link Scan）を無効にして機能を制限している場合、AirPrint を使用できるようにするには、制限を解除します。 **AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する(P. 135)**

Apple 製機器で Bonjour が有効になっていますか？

有効になっていない場合は、有効に設定します。詳しくは、Apple 製機器のマニュアルを参照してください。

TLS 暗号化通信を使った接続ができない

EALA-0A5

お使いの OS やブラウザーなどのソフトウェアがサポートしていない TLS バージョンを設定すると、本体と TLS 暗号化通信を使った接続ができなくなります。
OS のバージョンアップやソフトウェアの更新を行う、または TLS バージョンを段階的に下位へ変更することで接続できるようになります。ただし、TLS バージョンを下位へ変更すると、十分なセキュリティーで保護されていない環境での接続となる場合があります。 **TLS(P. 27)**

プリント

EALA-0A6

プリントに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

プリントできない(P. 328)
プリント速度が遅い(P. 335)

■プリント結果のトラブル

プリントで期待どおりの結果にならない場合は、以下を参照してください。
プリント結果のトラブル(P. 291)

■操作に関するよくあるお問い合わせ

封筒にプリントする方法を知りたい

まず、封筒の向きと面に注意して、給紙カセットに封筒をセットします。
次に、セットした封筒に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。
そのあと、パソコンからプリンタードライバーで、文書の用紙サイズや、プリントする用紙サイズを正しく設定してプリントします。

封筒をセットする準備と向き(P. 94)
用紙サイズと用紙種類の設定(P. 100)
パソコンからプリントする(P. 115)

プリントできない

EALA-0A7

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

エラーが起きていませんか？

プリントの処理状況や履歴を確認し、「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードに応じた対処方法を確認します。

プリント状況や履歴を確認する(P. 122)
エラーコードが表示された(P. 352)

テストページをプリントできますか？

プリントできる場合は、アプリケーションのプリント設定が正しいかどうかを確認します。

テストページをプリントする(P. 370)

ネットワークの接続状況や設定を確認します

使用環境に応じて、必要な項目を確認します。

プリントできない - Wi-Fi(P. 329)
プリントできない - 有線 LAN(P. 331)
プリントできない - USB 接続(P. 333)
プリントできない - プリントサーバー経由(P. 334)

プリントできない - Wi-Fi

EALA-0A8

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

Wi-Fi の接続状態を確認します

本機の接続状態を確認し、状態に応じて対応します。 **Wi-Fi の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 71)**

Wi-Fi に接続されていない場合

パソコンと Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）、および本機の状態を確認したあと、Wi-Fi に接続しなおします。
Wi-Fi に接続できない(P. 319)

接続状態が悪い場合

Wi-Fi ルーターで以下の設定を変更し、プリントを試します。

- Wi-Fi ルーターのチャンネルを変更します。複数の Wi-Fi ルーターがある場合は、チャンネルの間隔を 5 チャンネル以上離します。
- Wi-Fi ルーターの電波出力を変更できる場合は、出力を上げます。

本機とパソコンは同じ Wi-Fi ルーターに接続されていますか？

- Wi-Fi 接続したパソコンを使用している場合は、本機とパソコンが接続している SSID（Wi-Fi ルーターの識別名）が一致しているかどうかを確認します。
  Wi-Fi の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 71)
  パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 367)
- 本機とパソコンが接続している SSID が一致していない場合は、本機の Wi-Fi 接続の設定をやりなおして、パソコンが接続している SSID に本機を接続します。 **Wi-Fi に接続する(P. 43)**

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合は、設定を変更します。使用するポートがない場合は、新しいポートを追加します。
プリンターポートを確認する(P. 369)
パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 367)

リモート UI にアクセスできますか？

アクセスできない場合は、本機のファイアウォールの設定が間違っているため、パソコンと通信できない可能性があります。
以下の手順で、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI でファイアウォールを設定しなおします。

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 ファイアウォールの設定を無効にする

IPv4 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ OK ▶ ［IPv4 アドレスフィルター］ ▶ OK ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ OK ▶ ［OFF］ ▶ OK ▶ 本機を再起動

IPv6 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ OK ▶ ［IPv6 アドレスフィルター］ ▶ OK ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ OK ▶ ［OFF］ ▶ OK ▶ 本機を再起動

MAC アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ OK ▶ ［MAC アドレスフィルター］ ▶ OK ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ OK ▶ ［OFF］ ▶ OK ▶ 本機を再起動

2 ファイアウォールを正しく設定しなおす **ファイアウォールを設定する(P. 155)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

ネットワーク上の他のパソコンからプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

プリントできない - 有線 LAN

EALA-0A9

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

LAN ケーブルを確認します

LAN ケーブルが破損している可能性があります。新しい LAN ケーブルに交換して、プリントを試します。

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合は、設定を変更します。使用するポートがない場合は、新しいポートを追加します。
プリンターポートを確認する(P. 369)
プリンターポートを設定する（Windows のみ）(P. 109)

リモート UI にアクセスできますか？

アクセスできない場合は、本機のファイアウォールの設定が間違っているため、パソコンと通信できない可能性があります。
以下の手順で、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI でファイアウォールを設定しなおします。

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 ファイアウォールの設定を無効にする

IPv4 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ OK ▶ ［IPv4 アドレスフィルター］ ▶ OK ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ OK ▶ ［OFF］ ▶ OK ▶ 本機を再起動

IPv6 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ OK ▶ ［IPv6 アドレスフィルター］ ▶ OK ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ OK ▶ ［OFF］ ▶ OK ▶ 本機を再起動

MAC アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ OK ▶ ［MAC アドレスフィルター］ ▶ OK ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ OK ▶ ［OFF］ ▶ OK ▶ 本機を再起動

2 ファイアウォールを正しく設定しなおす **ファイアウォールを設定する(P. 155)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

ネットワーク上の他のパソコンからプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

プリントできない - USB 接続

EALA-0AA

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

USB ケーブルを確認します

- 長い USB ケーブルを使用している場合は、短い USB ケーブルに交換します。
- 短い USB ケーブルを使用していてもプリントできない場合は、ケーブルが破損している可能性があります。新しい USB ケーブルに交換して、プリントを試します。

USB ハブを使用していますか？

該当する場合は、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続します。

他の USB ポートを試します

使用するパソコンの他の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合や、使用するポートがない場合は、プリンタードライバーをインストールしなおします。ドライバーをインストールしなおすと、自動的に正しいポートが設定されます。 **プリンターポートを確認する(P. 369)**

ドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

https://oip.manual.canon/

本機とパソコンの双方向通信が有効になっていますか？（Windows のみ）

有効になっていない場合は、有効に設定したあと、パソコンと本機を再起動します。 **双方向通信を確認する(P. 370)**

本機をパソコンと USB 接続できない設定にしていますか？

本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートの使用を制限している場合は、制限を解除します。 **パソコンと USB 接続できないようにする(P. 177)**

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

他のパソコンから USB 接続でプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

プリントできない - プリントサーバー経由

EALA-0AC

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

プリントサーバーからプリントできますか？

プリントできる場合は、使用するパソコンとプリントサーバーの接続を確認します。 **接続するプリントサーバーが見つからない(P. 322)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

Windows の場合のインストール方法

プリントサーバーを介してインストールします。
プリントサーバー内の共有プリンターをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールします。 **プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 364)**

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

他のパソコンからプリントサーバー経由でプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

プリント速度が遅い

EALA-0AE

1 枚目のプリントまでは、時間がかかります。また、連続してプリントしたあとや、幅の狭い用紙にプリントしたあとは、本機の温度調整や画質調整のためプリント速度が低下することがあります。

上記以外の場合は、トラブルが発生している可能性があります。以下の点を確認して、トラブルを解消します。

用紙の向きを変更します

用紙の向きによって、この症状が見られることがあります。用紙の向きを変更できる場合は、変更してセットしなおします。 **用紙のセット方法(P. 91)**

管理／環境設定

EALA-0AF

管理／設定に関するよくあるお問い合わせの一覧です。該当する項目を確認します。

リモート UI にアクセスできない(P. 337)
スリープモードになるまでの時間を変更したい(P. 338)
管理者用の ID／暗証番号がわからない(P. 339)
本機で設定できる項目と設定状況を確認したい(P. 340)

リモート UI にアクセスできない

EALA-0AH

[リモート UI にアクセスできません。] や [デバイスに対する設定を行う機能が制限されているため、設定を続行できません。] などのメッセージが表示されて、リモート UI にアクセスできない場合は、以下の点を確認して、トラブルを解消します。

リモート UI のパスワードを設定します

リモート UI にアクセスするには、リモート UI のパスワードを設定する必要があります。

設定には管理者権限が必要です。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［管理設定］ ▶ OK ▶ ［リモート UI 設定/ファームウェア更新］ ▶ OK ▶ ［リモート UI 設定］ ▶ OK ▶ ［パスワードの使用］ ▶ OK ▶ ［ON］ ▶ OK ▶ パスワードを入力 ▶ OK ▶ 同じパスワードを入力 ▶ OK

※「00」や「0000000」など、0 だけの暗証番号は設定できません。

管理者暗証番号を変更します

リモート UI に管理者モードでログインする場合には、管理者暗証番号を初期設定から変更する必要があります。

変更には管理者権限が必要です。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［管理設定］ ▶ OK ▶ ［ユーザー管理］ ▶ OK ▶ ［管理者情報の設定］ ▶ OK ▶ ［管理者 ID と管理者暗証番号］ ▶ OK ▶ 管理者 ID を入力 ▶ OK ▶ 管理者暗証番号を入力 ▶ OK ▶ 同じ管理者暗証番号を入力 ▶ OK

※「00」や「0000000」など、0 だけの管理者 ID や管理者暗証番号は設定できません。
※特定の管理者だけが、変更後の管理者 ID と管理者暗証番号を知っているようにします。

スリープモードになるまでの時間を変更したい

EALA-0AK

スリープモードになるまでの時間を変更するほか、指定した時刻にスリープモードになるように設定することもできます。
消費電力を抑える - スリープモード(P. 79)

管理者用の ID／暗証番号がわからない

EALA-0AL

「管理者 ID」と「管理者暗証番号」が初期設定から変更されているかどうかを、管理者にお問い合わせください。

初期設定では、管理者 ID と管理者暗証番号は設定されていません。

※初期設定から変更されていない場合は、セキュリティー向上のため、変更して特定の管理者だけがこれらを知っている体制で運用します。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 152)**



- 上記を確認しても管理者 ID と管理者暗証番号がわからない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

本機で設定できる項目と設定状況を確認したい

EALA-0AR

ユーザーデータリストや管理者データリストをプリントして、本機の設定項目と設定状況を確認できます。

レポート／リストをプリントして確認する(P. 193)

ユーザーデータリスト

管理者権限を必要としない設定項目の内容を確認できます。

管理者データリスト

管理者権限が必要な設定項目の内容を確認できます。

メッセージが表示された

EALA-0AU

操作パネルの画面にメッセージが表示された場合は、以下の一覧からメッセージを選択して、対処方法を確認します。

英数字

IEEE 802.1X エラー正しい認証情報を設定してください。(P. 342)
IEEE 802.1X エラー通信先から応答がありませんでした。(P. 342)
IEEE 802.1X エラー認証サーバーの証明書が解析できません。(P. 343)
IEEE 802.1X エラー認証サーバーの証明書が信頼できません。(P. 343)
IEEE 802.1X エラー認証サーバーの証明書は期限切れです。(P. 343)
IEEE 802.1X エラー認証に必要な情報を設定してください。(P. 343)
IEEE 802.1X エラー認証パスワードを変更してください。(P. 343)
IEEE 802.1X エラー認証方式の設定を確認してください。(P. 343)
IEEE 802.1X エラー何らかの原因でエラーが発生しました。(P. 343)
Wi-Fi 通信できませんでした。(P. 344)
WPS 接続できませんでした。(P. 344)

あ行

アクセスポイントが見つかりません。(P. 345)
ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄの接続数が最大に達したため接続できませんでした。(P. 345)

か行

ｶｰﾄﾘｯｼﾞが寿命になりました。交換を推奨。(P. 345)
カートリッジ残量少(P. 345)
カートリッジ寿命(P. 346)
カートリッジ通信エラー他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。*閉じる: OK キー(P. 346)
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ通信ｴﾗｰ他社ｶｰﾄﾘｯｼﾞまたは偽造品がｾｯﾄされている可能性があるためﾌﾟﾘﾝﾄできません。*閉じる: OK キー(P. 346)
カートリッジを準備してください。(P. 346)
クリーニングできませんでした。(P. 347)

さ行

接続できませんでした。(P. 347)
接続できませんでした暗号化キー設定を確認してください。(P. 347)

た行

タイムアウトしました PC でかんたん接続を終了して再起動します(P. 347)
ダイレクト接続が切断されました。(P. 348)
他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。*閉じる: OK キー(P. 348)
他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があるためプリントできません。*閉じる: OK キー(P. 348)
正しい認証情報を設定してください。(P. 348)
通信先から応答がありませんでした。(P. 348)
ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞをｾｯﾄしてください。(P. 348)

な行

- 入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。(P. 349)
- 認証ｻｰﾊﾞｰの証明書が解析できません。(P. 349)
- 認証ｻｰﾊﾞｰの証明書が信頼できません。(P. 349)
- 認証ｻｰﾊﾞｰの証明書は期限切れです。(P. 349)
- 認証に必要な情報を設定してください。(P. 349)
- 認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。(P. 349)
- 認証ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを変更してください。(P. 350)
- 認証方式の設定を確認してください。(P. 350)

は行

- ホストから応答がありませんでした。(P. 350)

ま行

- 無線機器からの接続を検知できませんでした(P. 350)
- ﾒﾓﾘｰがいっぱいです。(P. 350)

や行

- 用紙がつまりました。(P. 350)
- 用紙と設定ｻｲｽﾞが不一致(P. 351)
- 用紙なし(P. 351)

MEMO

- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 トラブルが解決しないときは(P. 355)

IEEE 802.1X エラー正しい認証情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

- IEEE 802.1X を設定する(P. 162)
- 鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)

IEEE 802.1X エラー通信先から応答がありませんでした。

ネットワークの接続に問題が発生している可能性があります。

ネットワークの接続状況や設定を確認します

- LAN ケーブルとスイッチの状況を確認します。
- Wi-Fi ルーターのネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。

IEEE 802.1X エラー認証サーバーの証明書が解析できません。

認証サーバーの証明書が正しくないか、本機がサポートしていないフォーマットの可能性があります。

認証サーバーの証明書を確認し、必要に応じて設定を変更します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

IEEE 802.1X エラー認証サーバーの証明書が信頼できません。

認証サーバーの証明書に対応する CA 証明書が本機に登録されていません。

認証サーバーの証明書の情報を確認し、対応する CA 証明書を登録します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 170)

IEEE 802.1X エラー認証サーバーの証明書は期限切れです。

RADIUS サーバーから送信されたサーバー証明書の有効期限が切れています。

RADIUS サーバーの有効期限を確認します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

IEEE 802.1X エラー認証に必要な情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)
鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)

IEEE 802.1X エラー認証パスワードを変更してください。

パスワードの有効期限が切れています。

新しいパスワードを設定します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

IEEE 802.1X エラー認証方式の設定を確認してください。

本機で設定されている認証方式と RADIUS サーバーで設定されている認証方式が一致していません。

RADIUS サーバーで設定されている認証方式を確認し、正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

IEEE 802.1X エラー何らかの原因でエラーが発生しました。

何らかのエラーが発生したため、IEEE 802.1X 認証に接続できませんでした。

LAN ケーブルとスイッチの状況を確認します

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)
鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)

RADIUS サーバーで設定されている認証方式を確認し、正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

RADIUS サーバーの有効期限を確認します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

Wi-Fi 通信できませんでした。

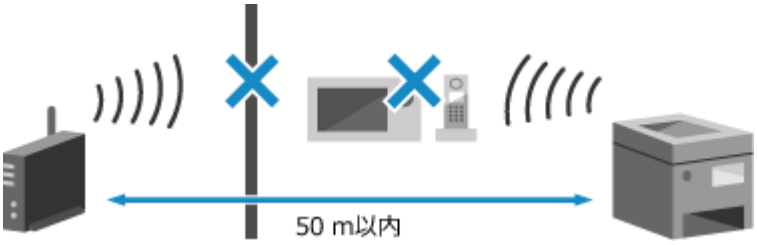
何らかのエラーが発生したため、Wi-Fi に接続できませんでした。

本機を再起動したあと、Wi-Fi 接続を設定しなおします

Wi-Fi に接続する(P. 43)

本機と Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）の設置場所は適切ですか？

- 本機と Wi-Fi ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



Wi-Fi ルーターのセキュリティー設定を確認します

詳しくは、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

WPS 接続できませんでした。

何らかのエラーが発生したため、WPS 接続できませんでした。

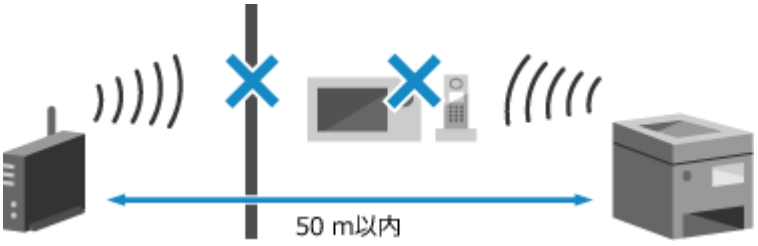
しばらく待ってから、設定しなおします

それでも設定できない場合は、Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）が WPS に対応しているかどうかを確認します。

WPS に対応している場合

本機と Wi-Fi ルーターの設置場所が適切かどうかを確認します。

- 本機と Wi-Fi ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



WPS に対応していない場合

他の接続方式で設定します。 **Wi-Fi に接続する(P. 43)**

アクセスポイントが見つかりません。

何らかのエラーが発生したため、本機から Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）を検出できません。

所定の時間内に接続していますか？

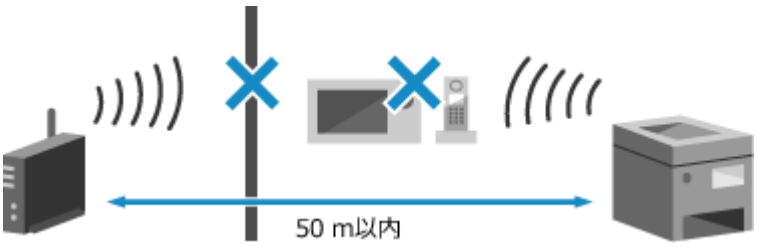
Wi-Fi ルーターのボタン操作で接続する場合、本機の操作パネルで接続方式を設定したあと、2 分以内に、Wi-Fi ルーターのボタンを押します。 **ルーターのボタン操作で Wi-Fi に接続する - プッシュボタン方式(P. 45)**

SSID／ネットワークキーは正しく設定されていますか？

Wi-Fi ルーターを手動で入力している場合は、Wi-Fi ルーターの SSID／ネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。 **詳細を設定して Wi-Fi に接続する - 手動入力方式(P. 51)**

本機と Wi-Fi ルーターの設置場所は適切ですか？

- 本機と Wi-Fi ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



Wi-Fi ルーターのセキュリティー設定を確認します

詳しくは、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄの接続数が最大に達したため接続できませんでした。

Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）に同時接続できる機器の最大数を超えたため、接続できませんでした。

Wi-Fi ルーターに接続している機器（クライアント）の数を減らします

最大接続数については、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

ｶｰﾄﾘｯｼﾞが寿命になりました。交換を推奨。

トナーカートリッジが寿命に達しています。

新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします

トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

カートリッジ残量少

トナーカートリッジの交換時期が近づいています。

新しいトナーカートリッジを用意して、必要に応じて交換します

大量にプリントする場合は、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 268)**

プリントを継続するには、［プリント継続］を押します

MEMO

- このメッセージが表示されるタイミング（トナーカートリッジの残量）を手動で指定できます。 **[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせの表示ﾀｲﾐﾝｸﾞ] (P. 208)**

カートリッジ寿命

トナーカートリッジが寿命に達しています。

新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします

トナーカートリッジを交換します。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 268)**

カートリッジ通信エラー他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。*閉じる: OK キー

トナーカートリッジが正しくセットされていない、故障している、プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。

トナーカートリッジをセットしなおします

トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

- 最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 274)**
- 何度かセットしなおしてもメッセージが引き続き表示される場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

ｶｰﾄﾘｯｼﾞ通信ｴﾗｰ他社ｶｰﾄﾘｯｼﾞまたは偽造品がｾｯﾄされている可能性があるためﾌﾟﾘﾝﾄできません。*閉じる: OK キー

トナーカートリッジが正しくセットされていない、故障している、プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされているなどの原因で、プリントできません。

トナーカートリッジをセットしなおすか、新しいトナーカートリッジに交換します

トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

- 最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 274)**
- 何度かセットしなおしてもメッセージが表示される場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

カートリッジを準備してください。

トナーカートリッジの交換時期が近づいています。

新しいトナーカートリッジを用意して、必要に応じて交換します

大量にプリントする場合は、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 268)**

プリントを継続するには、[プリント継続] を押します



- このメッセージが表示されるタイミング（トナーカートリッジの残量）を手動で指定できます。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせの表示ﾀｲﾐﾝｸﾞ］(P. 208)**

クリーニングできませんでした。

適切な用紙がセットされていない、紙づまりが起きたなどの原因のため、清掃できませんでした。

用紙はセットされていますか？
給紙カセットに用紙がセットされていない場合は、用紙をセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 92)**

用紙がつまっていませんか？
用紙がつまっている場合は、用紙を取り除きます。 **紙がつまった(P. 285)**

接続できませんでした。

何らかのエラーが発生したため、ダイレクト接続で接続できませんでした。

しばらく待ってから、接続しなおします
それでも接続できない場合は、本機を再起動します。

接続用の IP アドレスを「192.168.22.xx」以外に設定します
設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ネットワーク設定］ ▶ ［ダイレクト接続設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［ダイレクト接続時の IP アドレス］ に IP アドレスを入力 ▶ ［OK］ ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［環境設定］から設定します。 **［ダイレクト接続設定］(P. 211)**

サブネットマスクは正しく設定されていますか？
IPv4 のサブネットマスクの設定を確認します。正しく設定されていない場合は、設定を変更します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
本機の IP アドレスを確認する(P. 70)
IPv4 アドレスを設定する(P. 53)

接続できませんでした暗号化キー設定を確認してください。

Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）のネットワークキー（暗号化キー）が、本機に正しく設定されていないため、接続できませんでした。

ネットワークキーを設定しなおします
Wi-Fi ルーターのネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。 **Wi-Fi に接続する(P. 43)**

タイムアウトしました PC でかんたん接続を終了して再起動します

パソコンに接続できないまま、ケーブルレスセットアップモードの開始から 30 分経過しました。

本機を再起動したあと、ケーブルレスセットアップモードを開始しなおします
管理者権限が必要です。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ OK ▶ ［環境設定］ ▶ OK ▶ ［ネットワーク］ ▶ OK ▶ ［PC でかんたん接続］ ▶ OK ▶ パソコンで設定を開始

ダイレクト接続が切断されました。

モバイル機器との接続が切断されました。

ダイレクト接続をしなおします

モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続(P. 139)

他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があります。*閉じる: OK キー

印刷品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。

トナーカートリッジをセットしなおします

トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

- 最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 274)**
- 何度かセットしなおしてもメッセージが引き続き表示される場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 355)**

他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があるためプリントできません。*閉じる: OK キー

プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされているため、プリントできません。

新しいトナーカートリッジに交換します

トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 274)**

正しい認証情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)
鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)

通信先から応答がありませんでした。

LAN ケーブルが抜けているか、スイッチで問題が発生している可能性があります。
LAN ケーブルとスイッチの状況を確認します。

ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ をｾｯﾄしてください。

トナーカートリッジが正しくセットされていません。

トナーカートリッジをセットしなおします

トナーカートリッジの交換方法(P. 268)

何度かセットしなおしてもメッセージが引き続き表示される場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。トラブルが解決しないときは(P. 355)

入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。

Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）のネットワークキーが、本機に正しく設定されていません。

ネットワークキーを設定しなおします

Wi-Fi ルーターのネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。Wi-Fi に接続する(P. 43)

認証ｻｰﾊﾞｰの証明書が解析できません。

認証サーバーの証明書が正しくないか、本機がサポートしていないフォーマットの可能性があります。

認証サーバーの証明書を確認し、必要に応じて設定を変更します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

認証ｻｰﾊﾞｰの証明書が信頼できません。

認証サーバーの証明書に対応する CA 証明書が本機に登録されていません。

認証サーバーの証明書の情報を確認し、対応する CA 証明書を登録します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 170)

認証ｻｰﾊﾞｰの証明書は期限切れです。

RADIUS サーバーから送信されたサーバー証明書の有効期限が切れています。

RADIUS サーバーの有効期限を確認します

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

認証に必要な情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 162)
鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)

認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

IEEE 802.1X 設定の設定内容を確認し、正しく設定しなおします

以下を確認し、必要に応じて設定を変更します。IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

- ログイン名が正しく設定されている
- ［TLS を使用する］／［TTLS を使用する］／［PEAP を使用する］の 1 つ以上にチェックマークが付いている

- TLS を使用する場合は、鍵と証明書が登録されている
- TTLS/PEAP を使用する場合は、ユーザー名とパスワードが正しく設定されている

認証ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを変更してください。

パスワードの有効期限が切れています。

新しいパスワードを設定します
IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

認証方式の設定を確認してください。

本機で設定されている認証方式と RADIUS サーバーで設定されている認証方式が一致していません。

RADIUS サーバーで設定されている認証方式を確認し、正しく設定しなおします
IEEE 802.1X を設定する(P. 162)

ホストから応答がありませんでした。

本機がネットワークに正しく接続されていません。

本機とネットワークの設定を確認し、接続しなおします

Wi-Fi で接続している場合

使用環境に合わせて、正しく設定しなおします。 **Wi-Fi に接続する(P. 43)**

有線 LAN で接続する場合

LAN ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。 **有線 LAN に接続する(P. 42)**

無線機器からの接続を検知できませんでした

何らかのエラーが発生したため、本機からモバイル機器を検出できません。

所定の時間内に接続していますか？
SSID とネットワークキーを表示してから 5 分以内に、モバイル機器を本機に接続します。

ﾒﾓﾘｰがいっぱいです。

メモリー内に十分な空き容量がないため、プリントができません。プリント待ちのデータがある場合は、処理が終了するまで待ちます。

ファイルサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりします
ファイルを最適化してサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりしてからプリントしなおします。

用紙がつまりました。

プリント中に、本機に用紙がつまりました。

つまった用紙を取り除き、プリントが自動的に再開されない場合はプリントしなおします
紙がつまった(P. 285)

用紙と設定ｻｲｽﾞが不一致

本機にセットされている用紙のサイズと、操作パネルまたはプリンタードライバーで設定されている用紙サイズが一致していません。

セットされている用紙のサイズと、用紙サイズの設定を一致させます

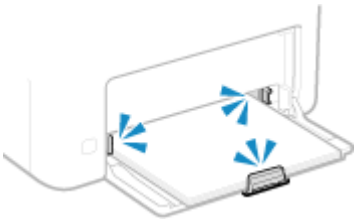
セットされている用紙を使用する場合

- セットされている用紙のサイズに合わせて、操作パネルで用紙サイズの設定を変更します。
給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 101)
- パソコンからプリントするときは、セットされている用紙のサイズに合わせて、プリンタードライバーで用紙サイズの設定を変更します。 **パソコンからプリントする(P. 115)**

用紙をセットしなおす場合

操作パネルまたはプリンタードライバーで設定するサイズの用紙をセットします。 **用紙のセット方法(P. 91)**

用紙ガイドが指標に合っていること、ゆるすぎたりきつすぎたりしないことを確認します



用紙なし

用紙がセットされていません。または、レポートやリストをプリントできる用紙がセットされていません。

用紙をセットします

レポート／リストが可能な用紙をセットし、用紙サイズと用紙種類を設定します。 **用紙のセット方法(P. 91)**

エラーコードが表示された

EALA-0AW

プリントできなかった場合など、何らかのエラーが起こると、ジョブ履歴にエラーコード（「#」で始まる 3 桁の番号）が表示されます。



以下の一覧からエラーコードを選択して、対処方法を確認します。

#001～#099
▶#037(P. 352)　▶#099(P. 352)

#701～#799
▶#753(P. 352)　▶#766(P. 353)

#801～#899
▶#852(P. 353)　▶#853(P. 353)　▶#861(P. 353)　▶#863(P. 353)

#901～#999
▶#934(P. 354)　▶#995(P. 354)

MEMO

- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **▶トラブルが解決しないときは(P. 355)**

#037

ファイルサイズが大きすぎるため、プリントできませんでした。

ファイルサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりします
ファイルを最適化してサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりしてからプリントしなおします。

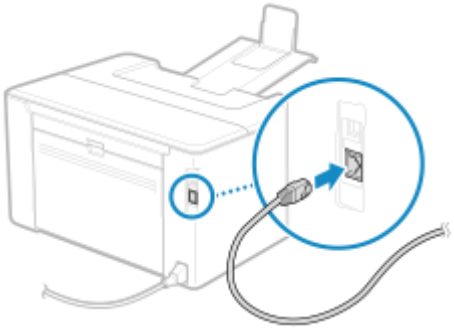
#099

ジョブを中止する操作が行われました。
異常ではありません。必要に応じて、操作しなおします。

#753

LAN ケーブルが抜けているためネットワークに接続できませんでした。

LAN ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します



#766

証明書の有効期限が切れています。

証明書を更新するか、有効期限が切れていない証明書を使用します

鍵と証明書を管理／検証する(P. 164)

本機の現在日時は正しいですか？

日付／時刻の設定を確認します。正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。 **日付／時刻を設定する(P. 183)**

#852

使用中に何らかの原因で本機の電源が切れました。
本機の電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているかどうかを確認します。

#853

何らかの原因により、プリントできませんでした。
プリントデータがパソコンから本機に送信されているときに操作を中止した場合は、プリントしなおします。
それ以外の場合は、以下を確認します。

大量にプリントしようとしましたか？

本機が処理できるデータ量を超えた可能性があります。該当する場合は、一度にプリントするページを減らすか、プリント中／待機中のプリントデータがないときにプリントします。

プリントしようとしたデータに不具合はありませんか？

データが破損しているなどの可能性がある場合は、データを修正します。

#861

サポートしていないプリンタードライバーを使用したか、プリントしようとしたデータに不具合がありました。

本機のプリンタードライバーを使用してプリントしなおします

パソコンからプリントする(P. 115)

プリントしようとしたデータに不具合はありませんか？

データが破損しているなどの可能性がある場合は、データを修正します。

#863

何らかのエラーが発生したため、プリントできませんでした。

本機を再起動したあと、プリントしなおします
再起動する(P. 78)

#934

中断ジョブの自動削除機能によって、ジョブが削除されました。

ジョブが中断する原因となったエラーを解消します
エラーを解消してから、プリントをやりなおします。

※中断ジョブの自動削除機能を無効にしたり、自動削除されるまでの時間を変更したりできます。**［中断ジョブの自動削除］(P. 240)**

#995

待機中のジョブの送受信が中止されました。
必要に応じて、送受信しなおします。

トラブルが解決しないときは

EALA-0AX

トラブルが解決しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

重要

お客様ご自身で分解修理しない

- お客様ご自身で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

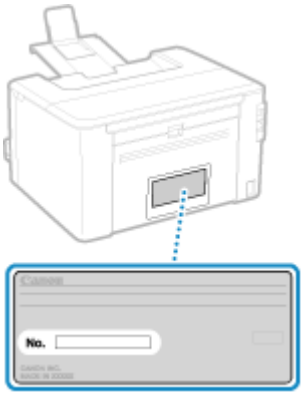
お問い合わせの前に確認すること

- 製品名（LBP122 II / LBP121 II）
- 購入先の販売店
- トラブルの内容（具体的な操作内容とその結果など）
- シリアルナンバー

  シリアルナンバーの確認方法

  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［状況確認］ ▶ OK ▶ ［デバイス状況］ ▶ OK ▶ ［シリアル No.］ ▶ OK

  - パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 184)**
  - 本機背面のラベルでも確認できます。



付録

付録 357
- **本機のマニュアル** 358
- **ユーザーズガイドの使いかた** 359
- **パソコンの操作例** 362
- **環境情報／法規制／規格** 372
- **おことわり** 374
- **商標／著作権** 375

付録

EALA-0AY

本機のマニュアルや、本機を使用するときに必要なパソコンの基本操作を確認できます。

本機のマニュアル

目的に応じたマニュアルを提供しています。

本機のマニュアル(P. 358)

ユーザーズガイド（本マニュアル）は、本機のすべての機能やメンテナンス方法／仕様について記載しています。知りたい情報を検索したり、文字サイズやレイアウトを変更したりできます。

ユーザーズガイドの使いかた(P. 359)

パソコンの基本操作

本機をパソコンから利用したり、本機に設定する情報を確認したりするために、パソコンでの操作が必要になることがあります。Windows/macOS の操作例を紹介しています。

パソコンの操作例(P. 362)

その他の情報

環境情報／法規制／規格(P. 372)
おことわり(P. 374)
商標／著作権(P. 375)

本機のマニュアル

EALA-0C0

本機では、以下のマニュアルを提供しています。目的に合わせて確認します。
アイコンをクリックすると、該当のマニュアル（PDF）が表示されます。

安全にお使いいただくために
人への危害、および財産への損害を未然に防ぐために必要な内容を記載しています。



セットアップ
本機の箱を開けて梱包材を取り外す作業から、本機を使用できる状態にするまでの設定を説明しています。

https://dps.start.canon/setup

ユーザーズガイド（本マニュアル）
本機のすべての機能を詳しく説明しています。メンテナンス方法や仕様についても記載しています。ユーザーズガイドは、Web ブラウザーを使用して表示します。
ユーザーズガイドの使いかた(P. 359)



- ドライバーやソフトウェアのマニュアルについては、オンラインマニュアルサイトを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

ユーザーズガイドの使いかた

EALA-0C1

ユーザーズガイド（本マニュアル）は、本機のすべての機能やメンテナンス方法／仕様について記載しています。
ユーザーズガイドでは、目次や検索機能を使用して知りたい情報を見つけることができます。
※画面上部の［ ］／［ ］をクリックすると、目次／検索キーワード入力欄の表示が切り替わります。

画面／イラストについて(P. 359)
マークの意味(P. 359)
キー／ボタンの表記(P. 360)
検索のしかた(P. 360)

MEMO

- ユーザーズガイドは、本機を含む機種シリーズすべての機能を説明しています。各機種がどの機能に対応しているか、一覧で確認できます。 **対応機能一覧(P. 3)**

画面／イラストについて

ユーザーズガイドでは、特に記載がないかぎり、以下を使用して説明しています。

機種
LBP122 II

トナーカートリッジ
Canon Cartridge 071（キヤノン トナーカートリッジ 071）

パソコンの OS
Windows 11

macOS 14

- 機種によっては画面が異なる場合があります。
- パソコンの OS によっては、操作や画面が異なる場合があります。
- ドライバーやソフトウェアのバージョンアップによって、画面が変更される場合があります。

マークの意味

警告事項や注意事項は、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」にも掲載されています。併せてご確認ください。 **本機のマニュアル(P. 358)**

警告

製品の取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



製品の取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや製品故障以外の物的損害を防ぐための注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



セキュリティー／データ保全に関わる重要事項や制限事項、守っていただきたい注意事項が記載されています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。



操作の補足説明や参考となる情報、便利な関連機能などが記載されています。

キー／ボタンの表記

操作パネルのキーや、画面に表示されるボタンなどは、以下のように表記しています。

操作パネルのキー
アイコンで表記しています。

表記例：戻るキーの場合



操作パネル／パソコンの画面に表示されるボタンなど
［］で囲んで表記しています。

表記例：
［メニュー］
［中止］▶［はい］
［設定しました。］

検索のしかた

1 画面上部の［ ］をクリックする

➠ 画面左上に検索キーワード入力欄が表示されます。

2 キーワードを入力し、［ ］をクリックするかパソコンの［Enter］キーを押す

- 複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページを検索できます。

- キーワードをダブルクォーテーション（"）で囲むと、スペースを含めて完全に一致するページのみを検索できます。

3 検索結果をクリックし、目的のページを探す

- [] をクリックすると、検索結果の表示／非表示が切り替わります。
- [] をクリックすると目次が表示されます。

パソコンの操作例

EALA-0C3

本機をパソコンから利用する場合、機能によってはパソコンの設定が必要です。また、本機に設定する情報を確認するために、パソコンの情報が必要になることもあります。
そのような場合は、以下の操作例を参考に、パソコンで必要な設定や情報の確認をします。

- 共有フォルダーを作成する(P. 362)
- ネットワーク探索を有効にする(P. 364)
- プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 364)
- パソコンのシステム情報を確認する(P. 365)
- パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 367)
- プリンターポートを確認する(P. 369)
- 双方向通信を確認する(P. 370)
- テストページをプリントする(P. 370)

共有フォルダーを作成する

- Windows の場合(P. 362)
- macOS の場合(P. 363)

■Windows の場合

1 任意の場所（デスクトップなど）にフォルダーを作成する



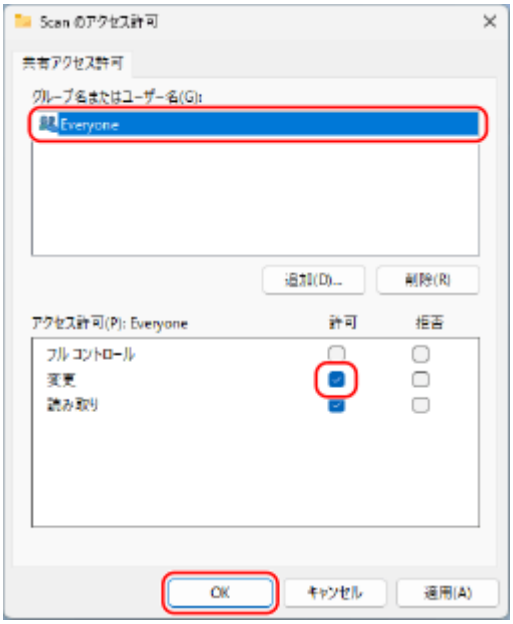
2 作成したフォルダーを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

3 ［共有］タブで、［詳細な共有］をクリックする

➠［詳細な共有］画面が表示されます。

4 ［このフォルダーを共有する］にチェックマークを付け、［アクセス許可］をクリックする

5 アクセス許可の設定をする



1 ［グループ名またはユーザー名］で、［Everyone］を選択する

2 ［アクセス許可］で、［変更］の［許可］にチェックマークを付ける

3 ［OK］をクリックする

6 ［OK］▶［閉じる］をクリックする

➠作成したフォルダーが共有フォルダーとして使用できるようになります。

■macOS の場合

1 ［］▶［システム環境設定］▶［共有］をクリックする

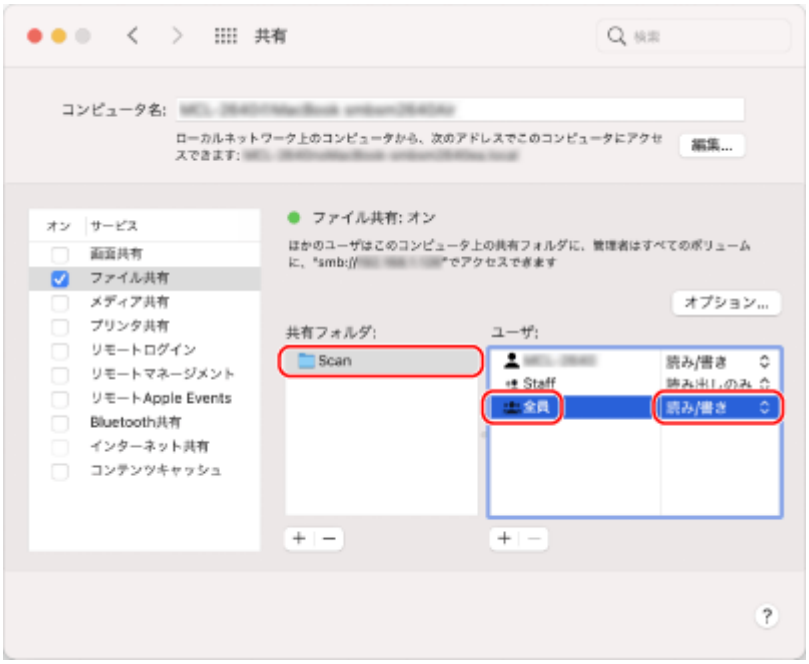
➠［共有］画面が表示されます。

2 ［ファイル共有］にチェックマークを付け、［共有フォルダ］の［＋］をクリックする

3 任意の場所（デスクトップなど）にフォルダーを作成し、［追加］をクリックする



4 アクセス許可の設定をする



1 ［共有フォルダ］で、作成したフォルダーを選択する

2 ［ユーザ］で、［全員］▶［読み/書き］を選択する

5 画面を閉じる

➠作成したフォルダーが共有フォルダーとして使用できるようになります。

ネットワーク探索を有効にする

1 [ ]（スタート）を右クリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

➠［ネットワークとインターネット］画面が表示されます。

2 ［ネットワークの詳細設定］▶［共有の詳細設定］をクリックする

➠［共有の詳細設定］画面が表示されます。

3 ［ネットワーク探索］を［オン］にする

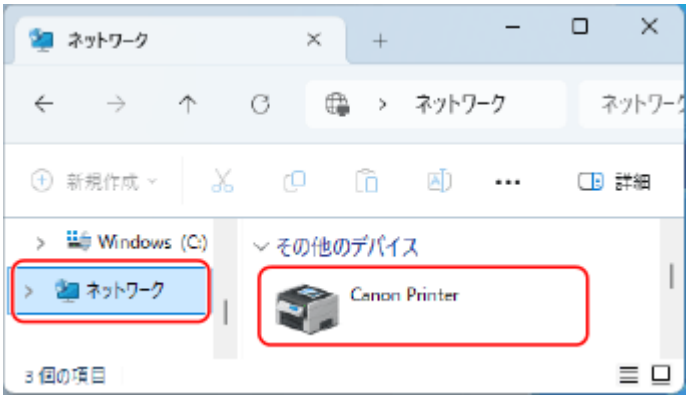
プリントサーバー内の共有プリンターを表示する

Windows の場合(P. 365)
macOS の場合(P. 365)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）を右クリックし、[エクスプローラー] をクリックする

2 [ネットワーク] からプリントサーバーを選択して、共有プリンターを表示する



[ネットワーク] に何も表示されない場合は、ネットワーク探索を有効に設定します。 **ネットワーク探索を有効にする(P. 364)**

■macOS の場合

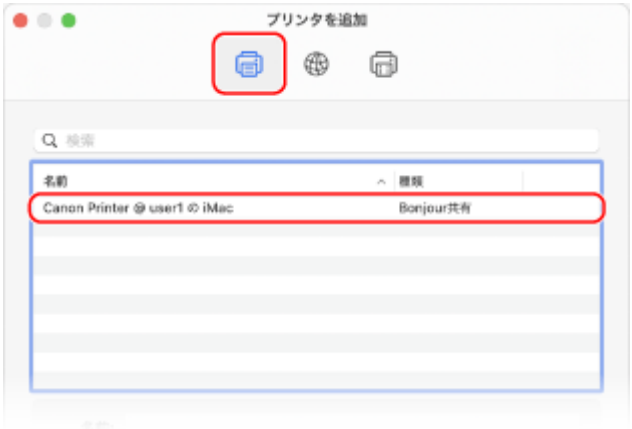
1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

➠ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 左下にある [+] をクリックする

➠ [追加] 画面が表示されます。

3 [ ] をクリックして、共有プリンターを表示する



パソコンのシステム情報を確認する

Windows の場合(P. 366)
macOS の場合(P. 366)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）を右クリックし、[システム] をクリックする

➠[バージョン情報] 画面が表示されます。

2 [デバイスの仕様] で、コンピューター名を確認する



コンピューター名は、[デバイス名] で確認します。

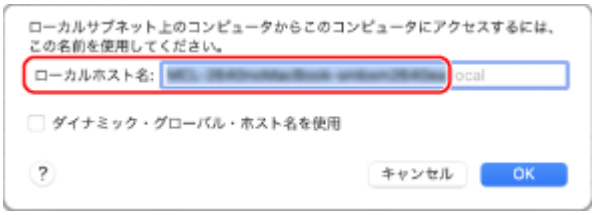
■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [共有] をクリックする

➠[共有] 画面が表示されます。
[共有] 画面の [コンピュータ名] に表示される名前は、ネットワーク上では使用できない場合があります。ネットワーク上で使用するコンピューター名は、以降の手順で確認します。

2 [編集] をクリックする

3 [ローカルホスト名] で、コンピューター名を確認する



グレー色の文字で表示されている部分は、コンピューター名に含まれません。

4 [キャンセル] をクリックする

パソコンのネットワーク接続情報を確認する

Windows の場合(P. 367)
macOS の場合(P. 368)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）を右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

➠ [ネットワークとインターネット] 画面が表示されます。

2 ネットワーク接続情報を確認する

■Wi-Fi の SSID を確認する場合

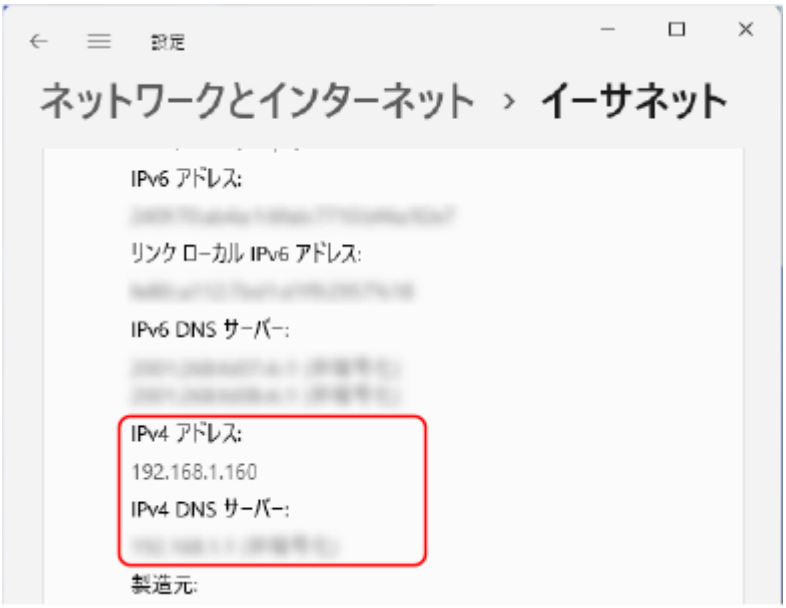
Wi-Fi の（）内にある文字列を確認します。



■IP アドレスや DNS サーバーを確認する場合

1 接続中のネットワークの［プロパティ］をクリックする

2 ［プロパティ］で、IP アドレスや DNS サーバーを確認する



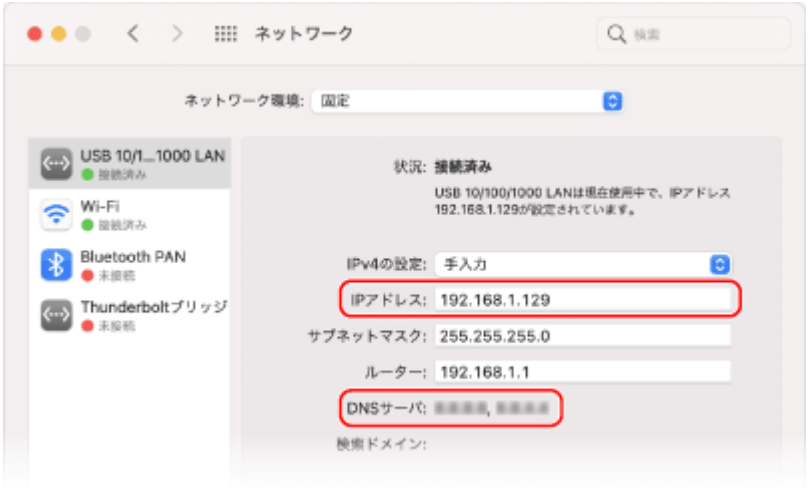
■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [ネットワーク] をクリックする

➠ [ネットワーク] 画面が表示されます。

2 IP アドレスや DNS サーバーなどを確認する

■有線 LAN の場合



■Wi-Fi の場合



- SSID は、［ネットワーク名］で確認します。
- IP アドレスは、［状況］で確認します。
- DNS サーバーは、［詳細］をクリックし、［DNS］タブで確認します。

プリンターポートを確認する

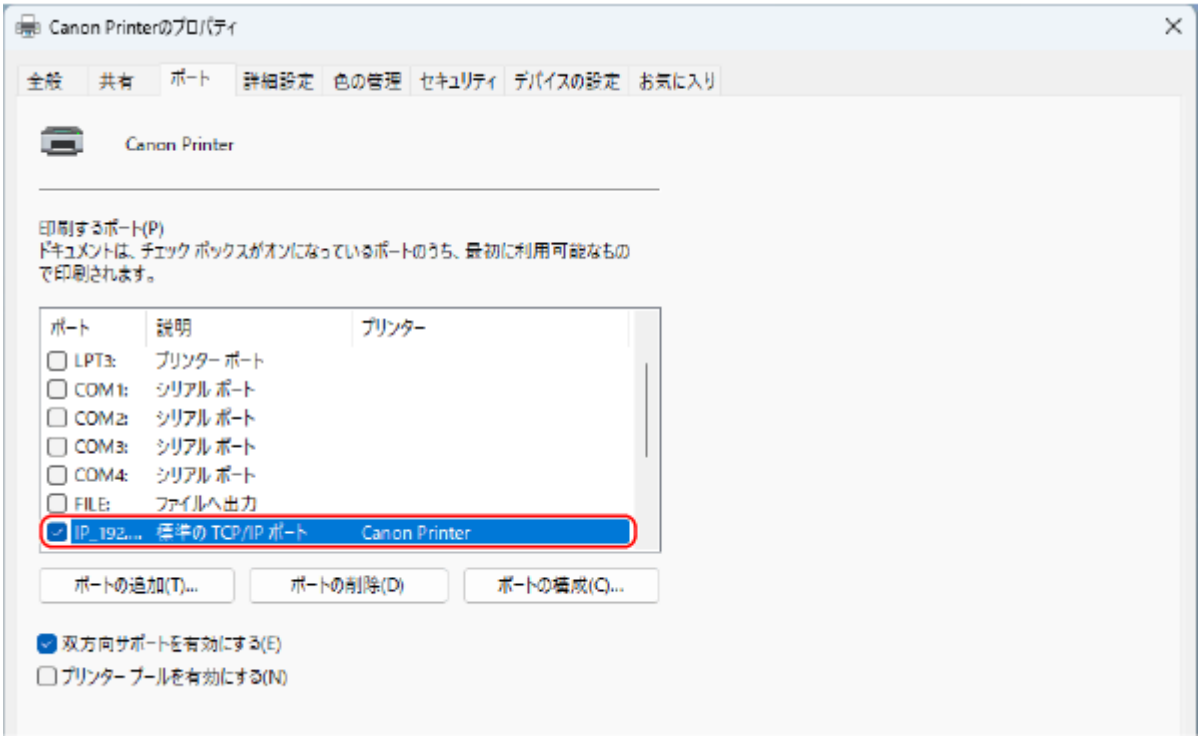
1 ［ ］（スタート）▶［ ］（設定）▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］をクリックする

➠［プリンターとスキャナー］画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー▶［プリンターのプロパティ］をクリックする

➠プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

3 ［ポート］タブで、使用しているポートを確認する



MEMO

本機の IP アドレスを変更した場合

- 新しいポートを追加する必要があります。 **ポートを追加する(P. 109)**

双方向通信を確認する

1 [Windows]（スタート）▶ [設定]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

➠ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

3 [ポート] タブで、[双方向サポートを有効にする] にチェックマークが付いていることを確認する

テストページをプリントする

必要な準備

- 給紙カセットに A4 サイズの用紙をセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 92)**

Windows の場合(P. 371)
macOS の場合(P. 371)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

➠ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

3 [全般] タブで、[テストページの印刷] をクリックする

➠ プリントデータが正常に送信された場合は、本機からテストページがプリントされます。

■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

➠ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 本機を選択し、[プリントキューを開く] をクリックする

3 [プリンタ] メニューから、[テストページをプリント] をクリックする

➠ プリントデータが正常に送信された場合は、本機からテストページがプリントされます。

環境情報／法規制／規格

EALA-0C4

■化学安全情報について

製品の安全データシート（SDS）は **https://canon.jp/SDS** にて提供しております。

■国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

■IPv6 Ready Logo について

本製品搭載のプロトコルスタックは、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-2 を取得しています。

■物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。）

■資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について

使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。使用済みの複合機・プリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または

弊社お客様相談センターにお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

おことわり

EALA-0C5

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。
- PDF 形式のマニュアルを見られない場合は、Adobe Acrobat Reader をアドビシステムズ社のホームページ（ **https://get.adobe.com/reader/** ）からダウンロードしてください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011　東京都港区港南 2-16-6

商標／著作権

EALA-0C6

■商標について

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ 社）の商標です。
Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X、および Safari は、Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。
iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.
Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android は、Google LLC の商標です。
QR コードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。



Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 6,185,684; 6,205,549; 7,213,269; 7,272,628; 7,278,168; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript Logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

■Creative Commons Attribution-NoDerivatives 4.0 International Public License

By exercising the Licensed Rights (defined below), You accept and agree to be bound by the terms and conditions of this Creative Commons Attribution-NoDerivatives 4.0 International Public License ("Public License"). To the extent this Public License may be interpreted as a contract, You are granted the Licensed Rights in consideration of Your acceptance

of these terms and conditions, and the Licensor grants You such rights in consideration of benefits the Licensor receives from making the Licensed Material available under these terms and conditions.

Section 1 – Definitions.

Adapted Material means material subject to Copyright and Similar Rights that is derived from or based upon the Licensed Material and in which the Licensed Material is translated, altered, arranged, transformed, or otherwise modified in a manner requiring permission under the Copyright and Similar Rights held by the Licensor. For purposes of this Public License, where the Licensed Material is a musical work, performance, or sound recording, Adapted Material is always produced where the Licensed Material is synched in timed relation with a moving image.

Copyright and Similar Rights means copyright and/or similar rights closely related to copyright including, without limitation, performance, broadcast, sound recording, and Sui Generis Database Rights, without regard to how the rights are labeled or categorized. For purposes of this Public License, the rights specified in Section 2(b)(1)-(2) are not Copyright and Similar Rights.

Effective Technological Measures means those measures that, in the absence of proper authority, may not be circumvented under laws fulfilling obligations under Article 11 of the WIPO Copyright Treaty adopted on December 20, 1996, and/or similar international agreements.

Exceptions and Limitations means fair use, fair dealing, and/or any other exception or limitation to Copyright and Similar Rights that applies to Your use of the Licensed Material.

Licensed Material means the artistic or literary work, database, or other material to which the Licensor applied this Public License.

Licensed Rights means the rights granted to You subject to the terms and conditions of this Public License, which are limited to all Copyright and Similar Rights that apply to Your use of the Licensed Material and that the Licensor has authority to license.

Licensor means the individual(s) or entity(ies) granting rights under this Public License.

Share means to provide material to the public by any means or process that requires permission under the Licensed Rights, such as reproduction, public display, public performance, distribution, dissemination, communication, or importation, and to make material available to the public including in ways that members of the public may access the material from a place and at a time individually chosen by them.

Sui Generis Database Rights means rights other than copyright resulting from Directive 96/9/EC of the European Parliament and of the Council of 11 March 1996 on the legal protection of databases, as amended and/or succeeded, as well as other essentially equivalent rights anywhere in the world.

You means the individual or entity exercising the Licensed Rights under this Public License. Your has a corresponding meaning.

Section 2 – Scope.

License grant.

Subject to the terms and conditions of this Public License, the Licensor hereby grants You a worldwide, royalty-free, non-sublicensable, non-exclusive, irrevocable license to exercise the Licensed Rights in the Licensed Material to:

reproduce and Share the Licensed Material, in whole or in part; and

produce and reproduce, but not Share, Adapted Material.

Exceptions and Limitations. For the avoidance of doubt, where Exceptions and Limitations apply to Your use, this Public License does not apply, and You do not need to comply with its terms and conditions.

Term. The term of this Public License is specified in Section 6(a).

Media and formats; technical modifications allowed. The Licensor authorizes You to exercise the Licensed Rights in all media and formats whether now known or hereafter created, and to make technical modifications necessary to do so. The Licensor waives and/or agrees not to assert any right or authority to forbid You from making technical modifications necessary to exercise the Licensed Rights, including technical modifications necessary to circumvent Effective Technological Measures. For purposes of this Public License, simply making modifications authorized by this Section 2(a)(4) never produces Adapted Material.

Downstream recipients.

Offer from the Licensor – Licensed Material. Every recipient of the Licensed Material automatically receives an offer from the Licensor to exercise the Licensed Rights under the terms and conditions of this Public License.

No downstream restrictions. You may not offer or impose any additional or different terms or conditions on, or apply any Effective Technological Measures to, the Licensed Material if doing so restricts exercise of the Licensed Rights by any recipient of the Licensed Material.

No endorsement. Nothing in this Public License constitutes or may be construed as permission to assert or imply that You are, or that Your use of the Licensed Material is, connected with, or sponsored, endorsed, or granted official status by, the Licensor or others designated to receive attribution as provided in Section 3(a)(1)(A)(i).

Other rights.

Moral rights, such as the right of integrity, are not licensed under this Public License, nor are publicity, privacy, and/or other similar personality rights; however, to the extent possible, the Licensor waives and/or agrees not to assert any such rights held by the Licensor to the limited extent necessary to allow You to exercise the Licensed Rights, but not otherwise.

Patent and trademark rights are not licensed under this Public License.

To the extent possible, the Licensor waives any right to collect royalties from You for the exercise of the Licensed Rights, whether directly or through a collecting society under any voluntary or waivable statutory or compulsory licensing scheme. In all other cases the Licensor expressly reserves any right to collect such royalties.

Section 3 – License Conditions.

Your exercise of the Licensed Rights is expressly made subject to the following conditions.

Attribution.

If You Share the Licensed Material, You must:

retain the following if it is supplied by the Licensor with the Licensed Material:

identification of the creator(s) of the Licensed Material and any others designated to receive attribution, in any reasonable manner requested by the Licensor (including by pseudonym if designated);

a copyright notice;

a notice that refers to this Public License;

a notice that refers to the disclaimer of warranties;

a URI or hyperlink to the Licensed Material to the extent reasonably practicable;

indicate if You modified the Licensed Material and retain an indication of any previous modifications; and

indicate the Licensed Material is licensed under this Public License, and include the text of, or the URI or hyperlink to, this Public License.

For the avoidance of doubt, You do not have permission under this Public License to Share Adapted Material.

You may satisfy the conditions in Section 3(a)(1) in any reasonable manner based on the medium, means, and context in which You Share the Licensed Material. For example, it may be reasonable to satisfy the conditions by providing a URI or hyperlink to a resource that includes the required information.

If requested by the Licensor, You must remove any of the information required by Section 3(a)(1)(A) to the extent reasonably practicable.

Section 4 – Sui Generis Database Rights.

Where the Licensed Rights include Sui Generis Database Rights that apply to Your use of the Licensed Material:

for the avoidance of doubt, Section 2(a)(1) grants You the right to extract, reuse, reproduce, and Share all or a substantial portion of the contents of the database, provided You do not Share Adapted Material;

if You include all or a substantial portion of the database contents in a database in which You have Sui Generis Database Rights, then the database in which You have Sui Generis Database Rights (but not its individual contents) is Adapted Material; and

You must comply with the conditions in Section 3(a) if You Share all or a substantial portion of the contents of the database.

For the avoidance of doubt, this Section 4 supplements and does not replace Your obligations under this Public License where the Licensed Rights include other Copyright and Similar Rights.

Section 5 – Disclaimer of Warranties and Limitation of Liability.

Unless otherwise separately undertaken by the Licensor, to the extent possible, the Licensor offers the Licensed Material as-is and as-available, and makes no representations or warranties of any kind concerning the Licensed Material, whether express, implied, statutory, or other. This includes, without limitation, warranties of title, merchantability, fitness for a particular purpose, non-infringement, absence of latent or other defects, accuracy, or the presence or absence of errors, whether or not known or discoverable. Where disclaimers of warranties are not allowed in full or in part, this disclaimer may not apply to You.

To the extent possible, in no event will the Licensor be liable to You on any legal theory (including, without limitation, negligence) or otherwise for any direct, special, indirect, incidental, consequential, punitive, exemplary, or other losses, costs, expenses, or damages arising out of this Public License or use of the Licensed Material, even if the Licensor has been advised of the possibility of such losses, costs, expenses, or damages. Where a limitation of liability is not allowed in full or in part, this limitation may not apply to You.

The disclaimer of warranties and limitation of liability provided above shall be interpreted in a manner that, to the extent possible, most closely approximates an absolute disclaimer and waiver of all liability.

Section 6 – Term and Termination.

This Public License applies for the term of the Copyright and Similar Rights licensed here. However, if You fail to comply with this Public License, then Your rights under this Public License terminate automatically.

Where Your right to use the Licensed Material has terminated under Section 6(a), it reinstates:

automatically as of the date the violation is cured, provided it is cured within 30 days of Your discovery of the violation; or

upon express reinstatement by the Licensor.

For the avoidance of doubt, this Section 6(b) does not affect any right the Licensor may have to seek remedies for Your violations of this Public License.

For the avoidance of doubt, the Licensor may also offer the Licensed Material under separate terms or conditions or stop distributing the Licensed Material at any time; however, doing so will not terminate this Public License.

Sections 1, 5, 6, 7, and 8 survive termination of this Public License.

Section 7 – Other Terms and Conditions.

The Licensor shall not be bound by any additional or different terms or conditions communicated by You unless expressly agreed.

Any arrangements, understandings, or agreements regarding the Licensed Material not stated herein are separate from and independent of the terms and conditions of this Public License.

Section 8 – Interpretation.

For the avoidance of doubt, this Public License does not, and shall not be interpreted to, reduce, limit, restrict, or impose conditions on any use of the Licensed Material that could lawfully be made without permission under this Public License.

To the extent possible, if any provision of this Public License is deemed unenforceable, it shall be automatically reformed to the minimum extent necessary to make it enforceable. If the provision cannot be reformed, it shall be severed from this Public License without affecting the enforceability of the remaining terms and conditions.

No term or condition of this Public License will be waived and no failure to comply consented to unless expressly agreed to by the Licensor.

Nothing in this Public License constitutes or may be interpreted as a limitation upon, or waiver of, any privileges and immunities that apply to the Licensor or You, including from the legal processes of any jurisdiction or authority.

Creative Commons is not a party to its public licenses. Notwithstanding, Creative Commons may elect to apply one of its public licenses to material it publishes and in those instances will be considered the “Licensor.” The text of the Creative Commons public licenses is dedicated to the public domain under the CC0 Public Domain Dedication. Except for the limited purpose of indicating that material is shared under a Creative Commons public license or as otherwise permitted by the Creative Commons policies published at creativecommons.org/policies, Creative Commons does not authorize the use of the trademark “Creative Commons” or any other trademark or logo of Creative Commons without its prior written consent including, without limitation, in connection with any unauthorized modifications to any of its public licenses or any other arrangements, understandings, or agreements concerning use of licensed material. For the avoidance of doubt, this paragraph does not form part of the public licenses.

Creative Commons may be contacted at creativecommons.org.

Microsoft、Excel、Microsoft 365、Microsoft Edge、Microsoft Entra、Windows、Windows Mobile、および Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■第三者のソフトウェアについて

このマニュアルに含まれる第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



製品の第三者ソフトウェアに関する情報を知りたいときは、オンラインマニュアルサイトで「第三者ソフトウェアについて」を参照してください。

https://oip.manual.canon/

■著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

V_260403

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.
This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
https://openfontlicense.org

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE
The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS
"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components,

in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION
This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.